

第2次紀美野町長期総合計画
見直しのためのアンケート調査
【結果報告書】

令和3年 10月
紀美野町

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査対象者	2
3. 調査期間	2
4. 調査方法	2
5. 回収結果	2
II. 町民アンケート調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 紀美野町への評価について	8
3. 紀美野町の分野別の取り組みについて	29
4. 防災の取り組みについて	41
5. 回答者自身の活動や生活状況について	44
6. 紀美野町政全体について	55
III. 中学生アンケート調査の結果	73
1. 回答者について	74
2. 回答者の将来について	75
3. 紀美野町の印象について	77
4. どのようなまちを目指していきたいか	82

I . 調査の概要

1. 調査の目的

平成 29 年に策定した、本町のまちづくりの基本的な方向性と目指す将来像をしめす「第 2 次紀美野町長期総合計画」の見直しにあたり、紀美野町や町行政に対する住民の意見や評価、及びその変化を把握し、計画見直しの基礎資料とすることを目的として、紀美野町内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人を無作為に抽出し、アンケートを実施しました。

また、特に若い世代の方の意見とその変化を把握するため、町内の中学校 2 年生、3 年生を対象にアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象者

町民アンケート調査：紀美野町内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

中学生アンケート調査：紀美野町立中学校に在籍する 2 年生、3 年生全員

3. 調査期間

町民アンケート調査：令和 3 年 7 月 7 日（水）～令和 3 年 7 月 21 日（水）

中学生アンケート調査：令和 3 年 7 月 1 日（木）～令和 3 年 7 月 16 日（金）

4. 調査方法

町民アンケート調査：郵送配布・郵送回収。調査票にネット回答用の QR コードを添付し、インターネットを通じた回答も可能とした。

中学生アンケート調査：各学校を通じたの配付・回収

5. 回収結果

	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
町民アンケート調査	3,000	997	33.2%
中学生アンケート調査	79	60	75.9%

Ⅱ. 町民アンケート調査の結果

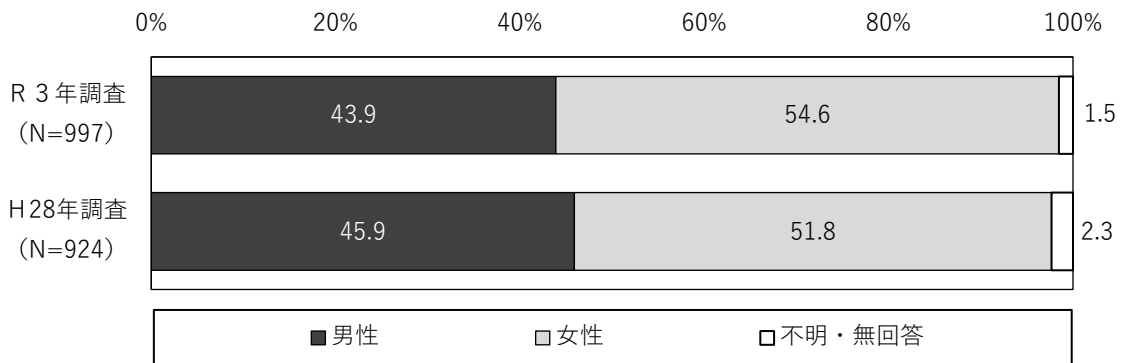
報告書の見方について

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの選択肢の回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から1つの回答を選ぶ方式の質問であっても、表記のパーセント値の合計が100.0ちょうどにならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表のいずれにおいても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢からあてはまるすべてまたは指定の個数の回答を選ぶ方式）の設問の場合、回答者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難だったものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文・図表中の設問の選択肢は簡略化した表記にしている場合があります。
- 平成28年に実施した前回調査（第2次長期総合計画策定時）との比較のため、基本的にいずれの回答についても、前回調査のグラフと、今回の調査のグラフを合わせて表記しています。前回調査は「H28年調査」、今回の調査は「R3年調査」と表記しています。

1. 回答者について

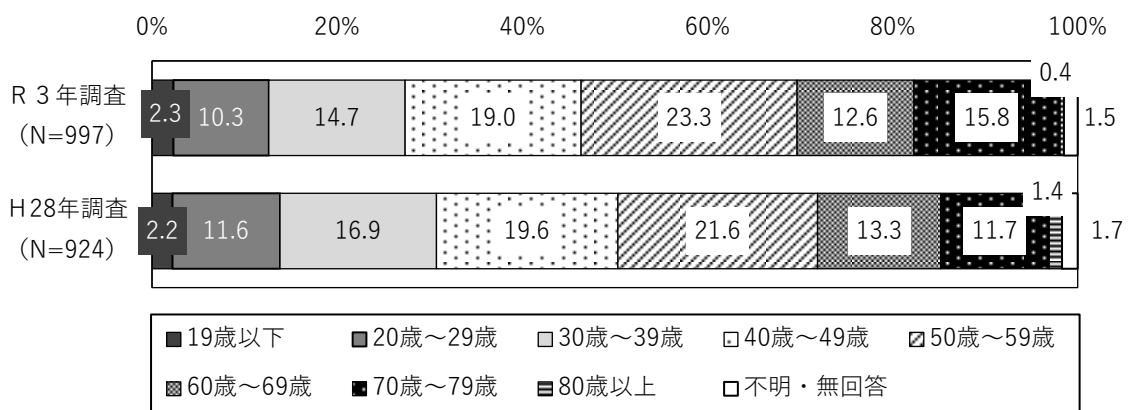
(1) 回答者の性別 [問1 あなたの性別。(1つに○)]

回答者の性別は、「男性」が43.9%、「女性」が54.6%となっています。



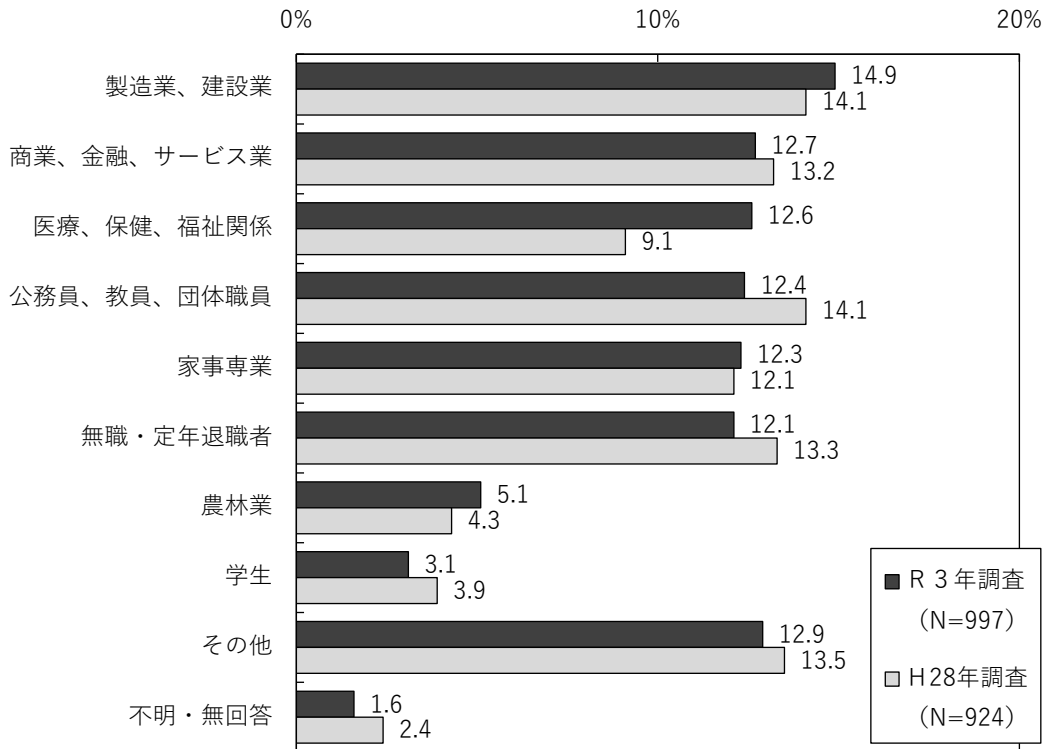
(2) 回答者の年齢 [問2 あなたの年齢。(1つに○)]

回答者の年齢は、「50歳～59歳」が23.3%で最も多く、次いで「40歳～49歳」が19.0%、「70歳～79歳」が15.8%となっています。前回調査と比べると、20歳代、30歳代が減少し、70歳代が増加しています。



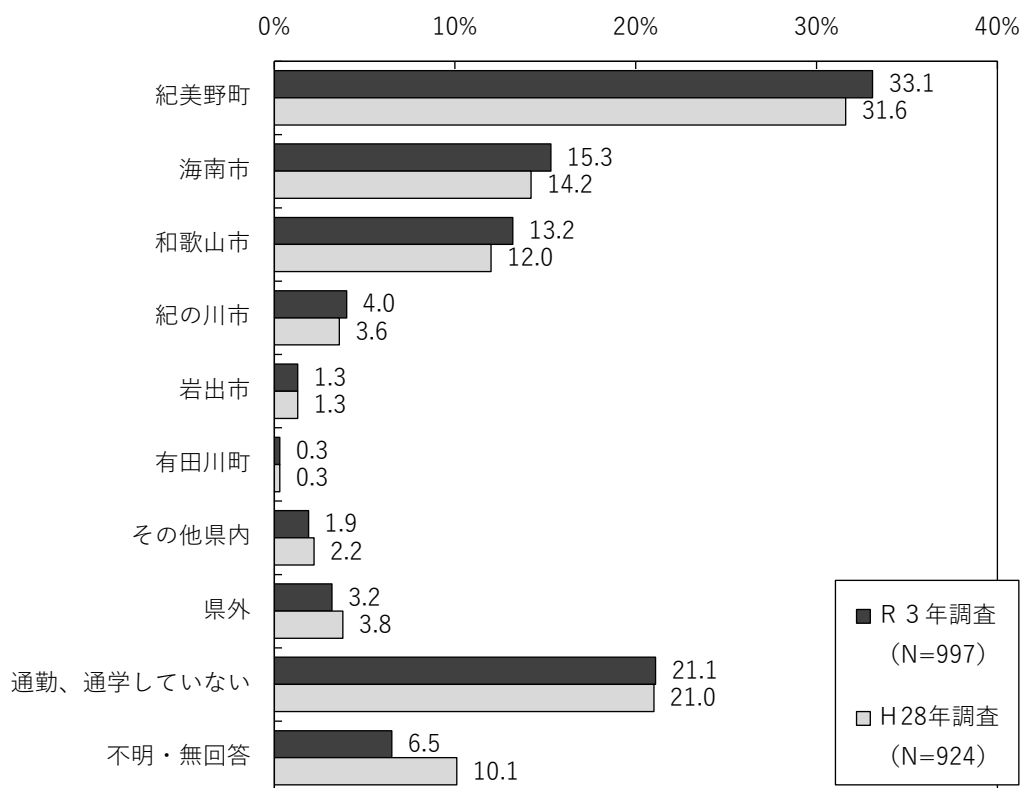
(3) 回答者の職業〔問3 あなたの職業。(1つに○)〕

回答者の職業は、「製造業、建設業」が14.9%で最も多く、次いで「その他」12.9%、「商業、金融、サービス業」が12.7%となっています。前回調査と比べると、「医療、保健、福祉関係」が増加しています。



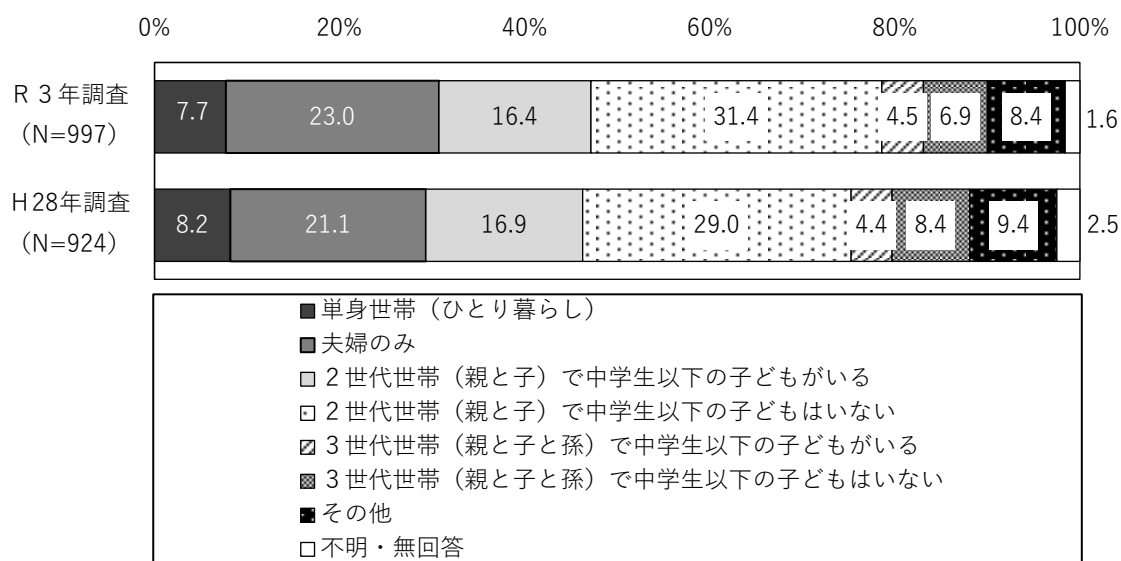
(4) 通勤・通学先〔問4 あなたの通勤・通学先。(1つに○)〕

回答者の通勤・通学先は、「紀美野町」が33.16%と最も多く、次いで「海南市」が15.3%、「和歌山市」が13.2%となっています。



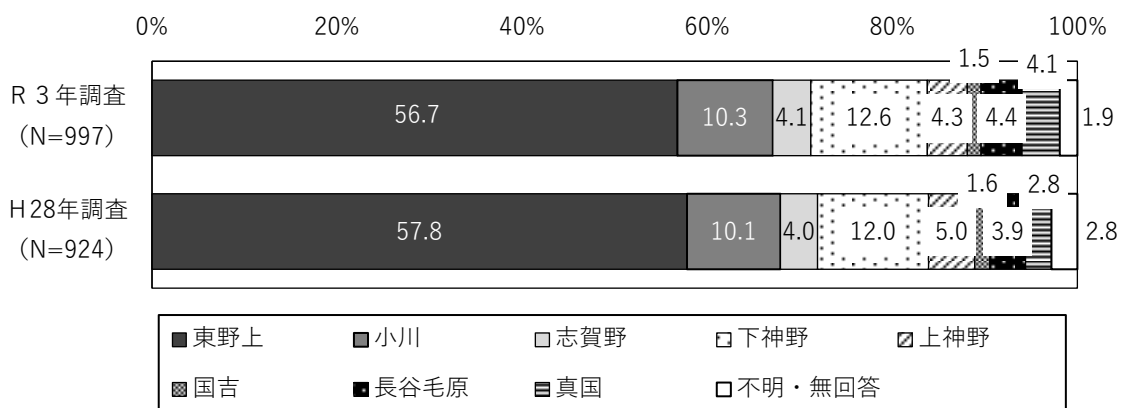
(5) 家族構成〔問5 同居されている家族の構成。(1つに○)〕

回答者の家族構成は、「2世代世帯（親と子）で中学生以下の子どもはいない」が31.4%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が23.3%となっています。



(6) 回答者の居住地域〔問6 あなたのお住まいの地域。(1つに○)〕

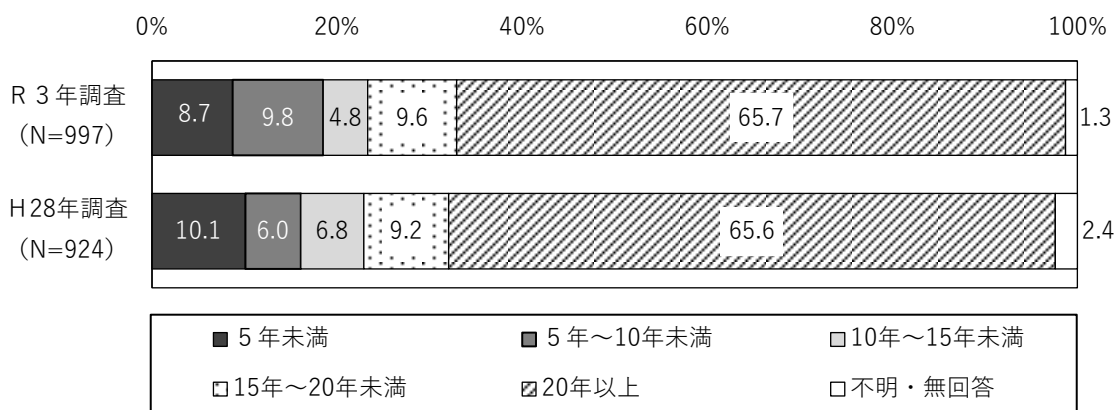
回答者の居住地域は、「東野上」が56.7%で最も多く次いで「下神野」が12.6%、「小川」が10.3%となっています。



(7) 紀美野町での居住年数

〔問7 あなたは、紀美野町にお住まいになって何年になりますか。以前に住んでいて、再び転居してきた場合は、再転居後の年数でお答えください。(1つに○)〕

紀美野町での居住年数は、「20年以上」が65.7%で最も多く、「5年～10年未満」が9.8%となっています。



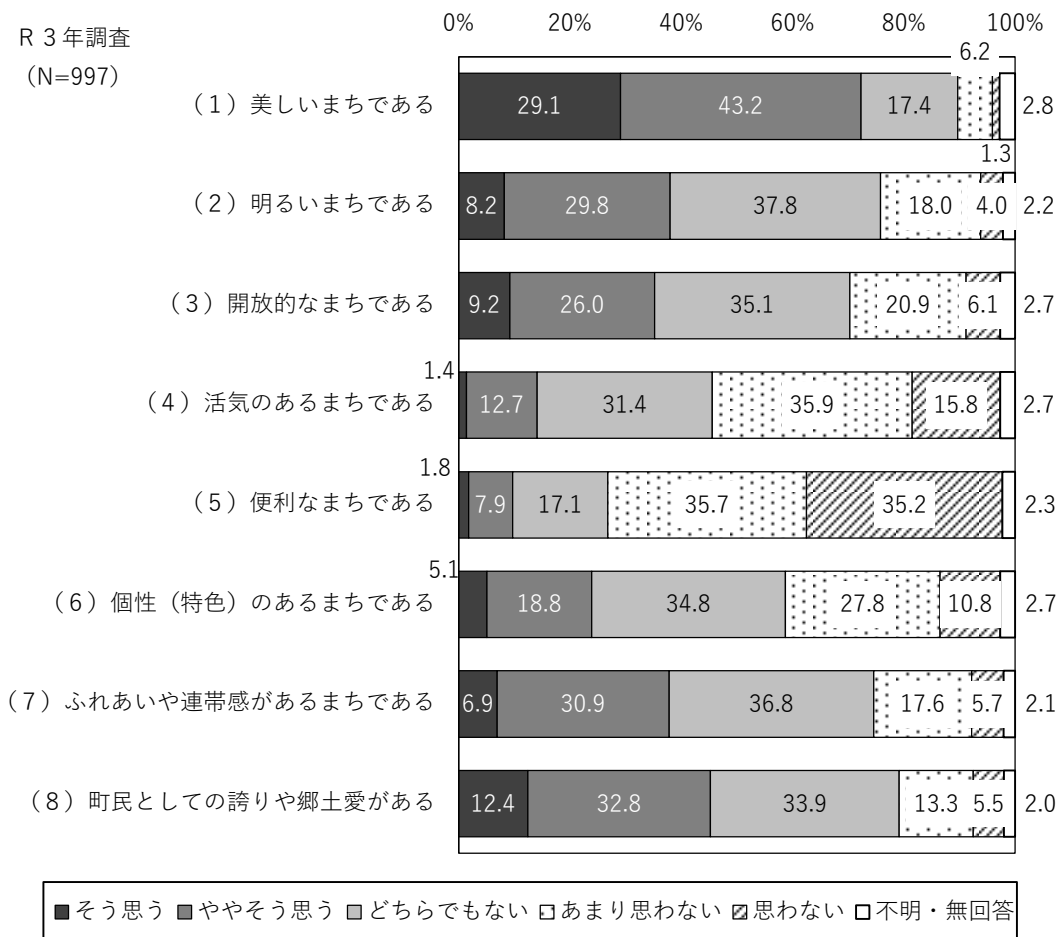
2. 紀美野町への評価について

(1) 現在の紀美野町はどのようなまちか

〔問8 あなたは、現在の紀美野町をどのようなまちだと思いますか。次の(1)～(8)の各項目について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に○をつけてください。〕

現在の紀美野町をどのようなまちだと思うかについて8つの項目別にみると、『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）の割合は、「(1) 美しいまちである」が72.3%で最も多く、次いで「(8) 町民としての誇りや郷土愛がある」が45.2%、「(2) 明るいまちである」が38.0%、「(7) ふれあいや連帯感があるまちである」が37.8%となっています。

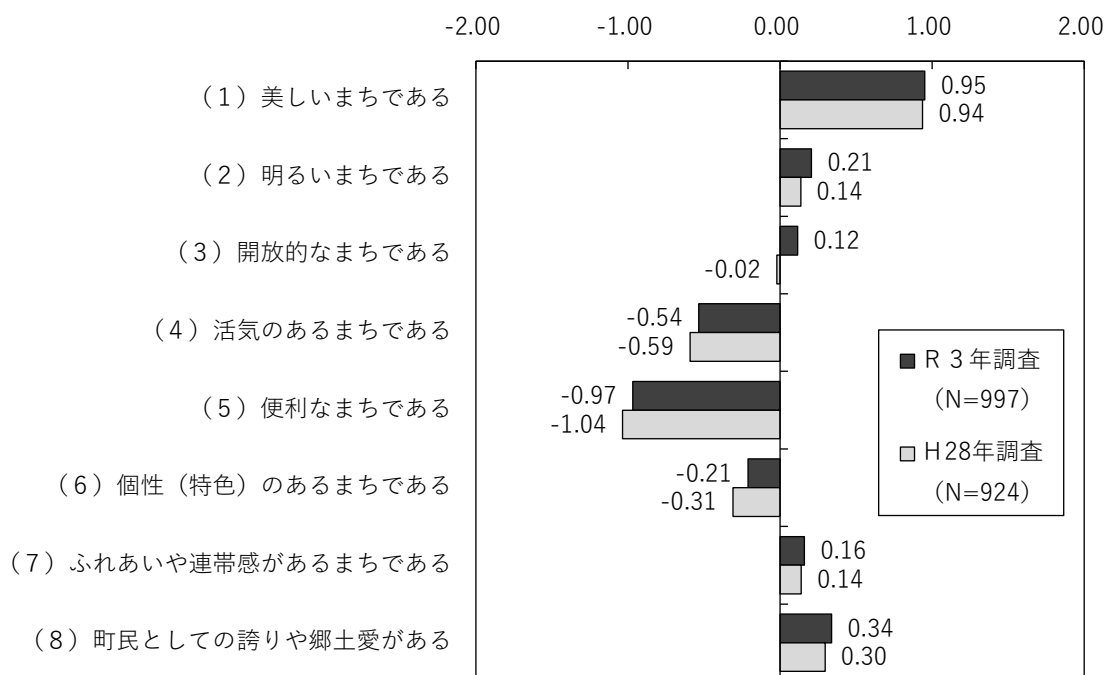
一方で、『思わない』（「思わない」と「あまり思わない」の合計）の割合は、「(5) 便利なまちである」が70.9%で最も多く、次いで「(4) 活気のあるまちである」が51.7%となっています。



◆得点化した前回調査との比較

現在の紀美野町をどのようなまちだと思うかについて、それぞれの項目の回答を「そう思う」2点、「ややそう思う」1点、「どちらでもない」0点、「あまり思わない」-1点、「思わない」-2点で得点化し、全回答者の平均を前回調査と比較しました。

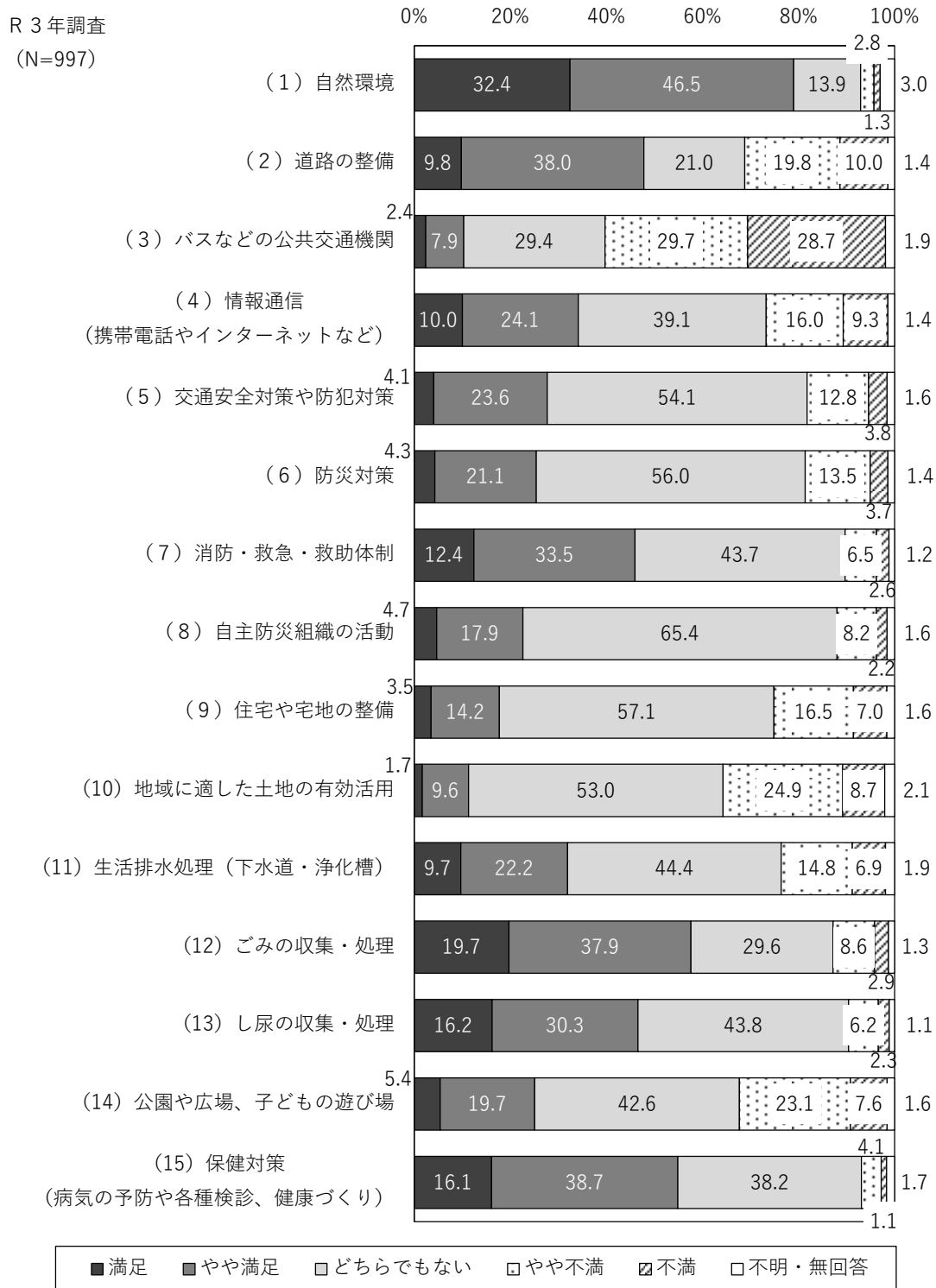
大きな変動はありませんが、「開放的なまちである」については肯定的な評価が増加し、平均がマイナスからプラスに転じています。



(2) 紀美野町が取り組んでいる施策に対する現在の満足度

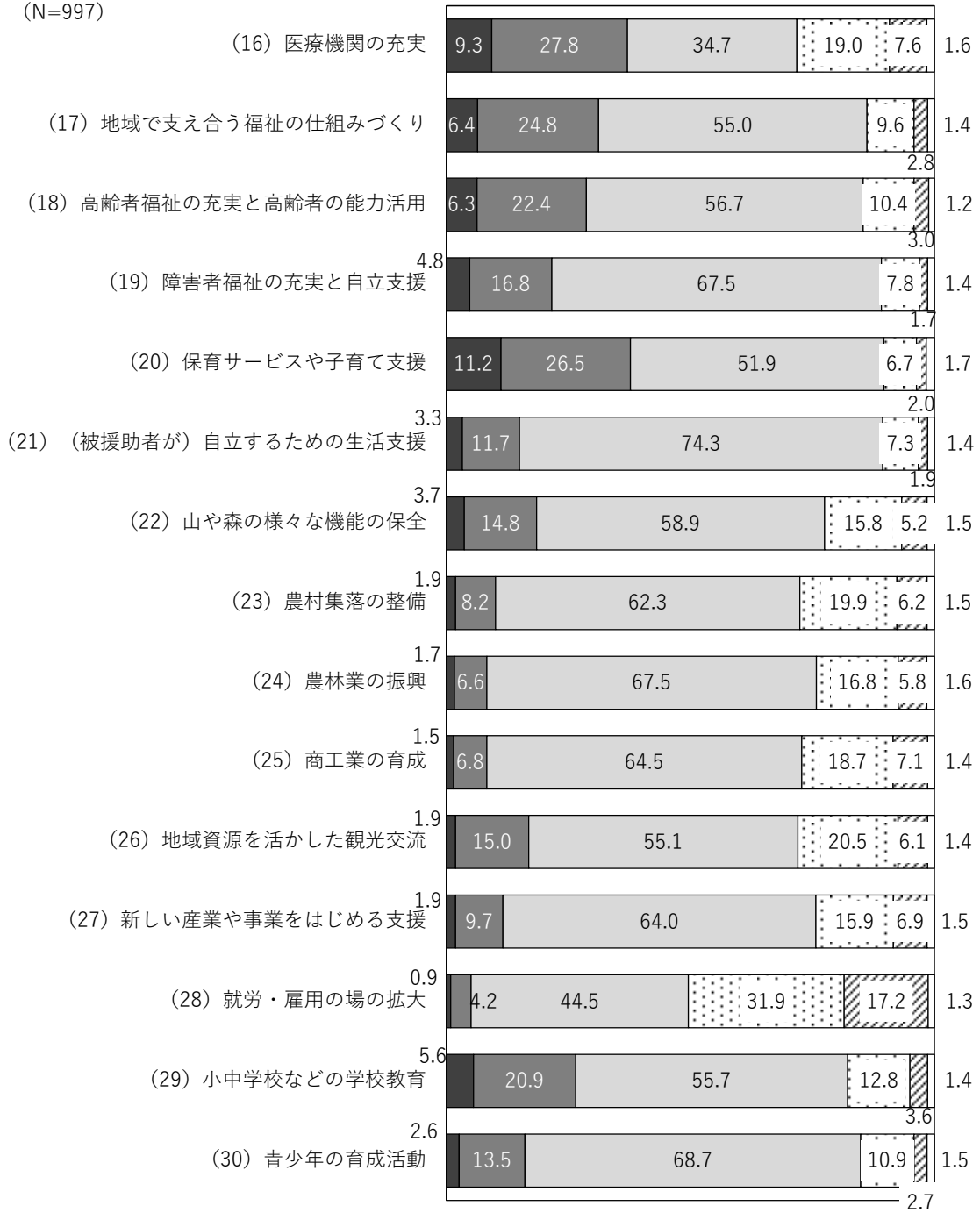
〔問9 紀美野町のまちづくりや暮らしの分野別の「現在の満足度」をお聞きます。次の(1)～(45)の各項目について、「1 満足」～「5 不満」のいずれかのうち、あなたの考えに合うものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。〕

紀美野町の施策に対する満足度については、「自然環境」「ごみの収集・処理」「保健対策（病気の予防や各種健診、健康づくり）」で『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）が多く、「バスなどの公共交通機関」「日常の買い物や娯楽」で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が多くなっています。

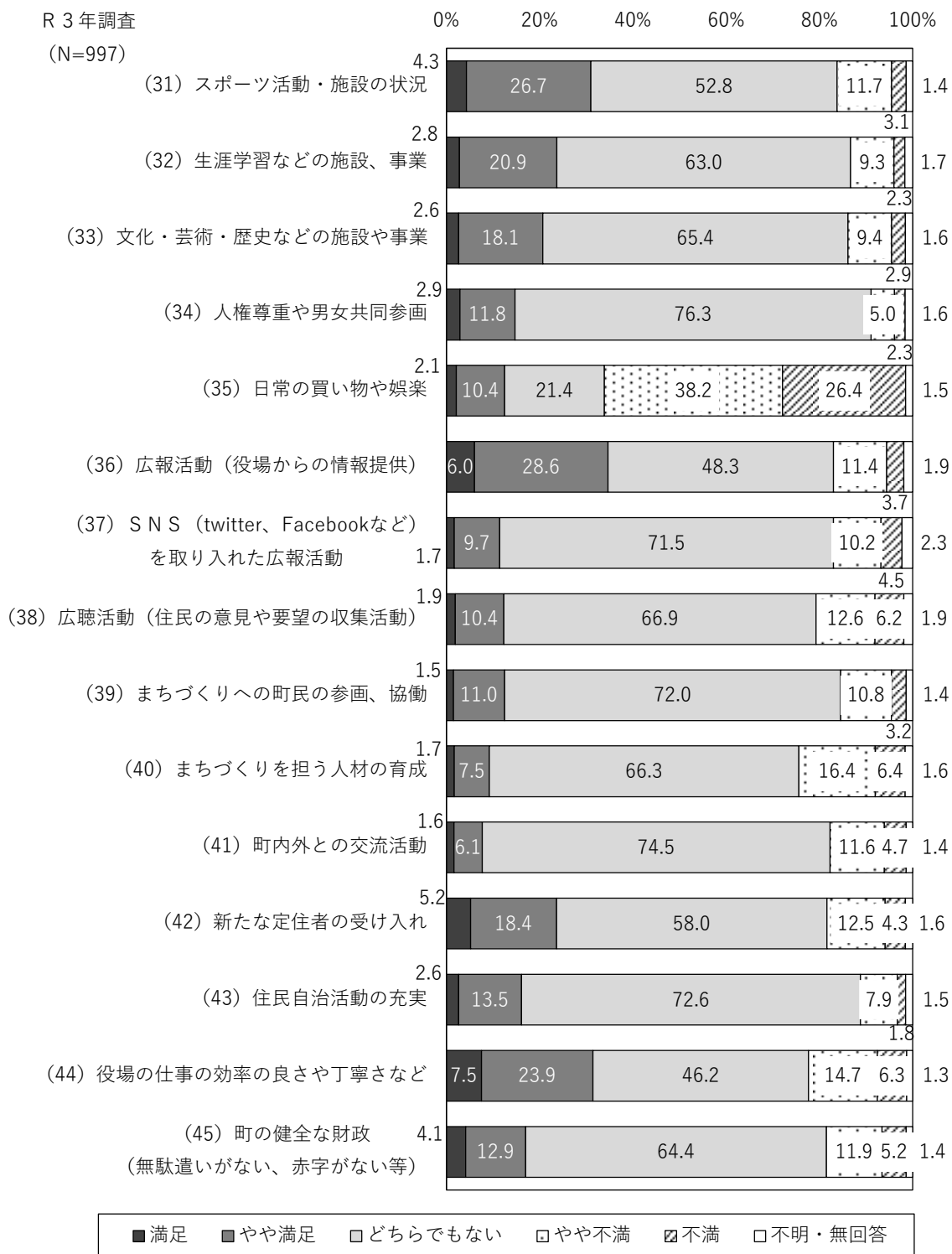


R 3年調査
(N=997)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



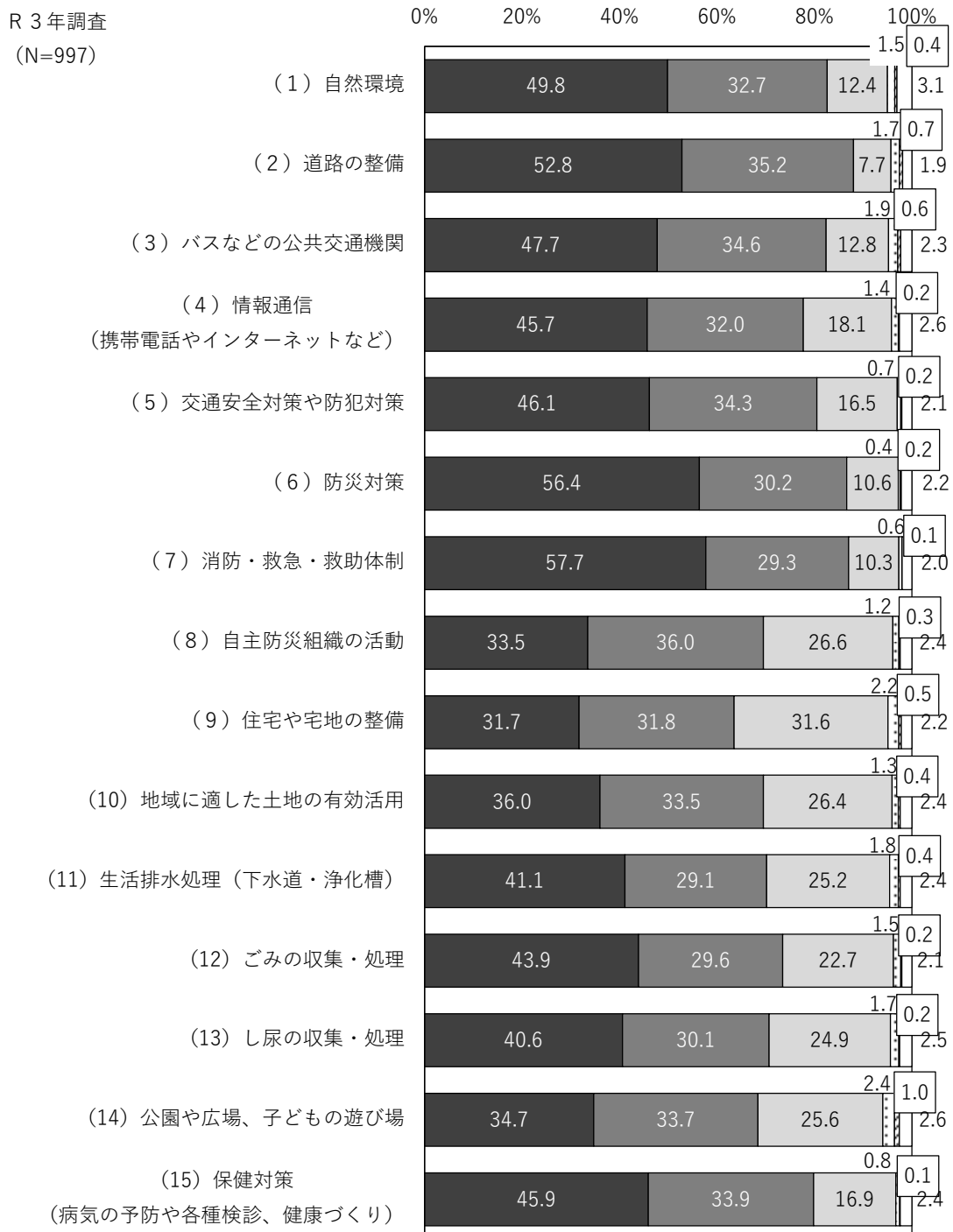
■満足 ■やや満足 □どちらでもない □やや不満 ▨不満 □不明・無回答



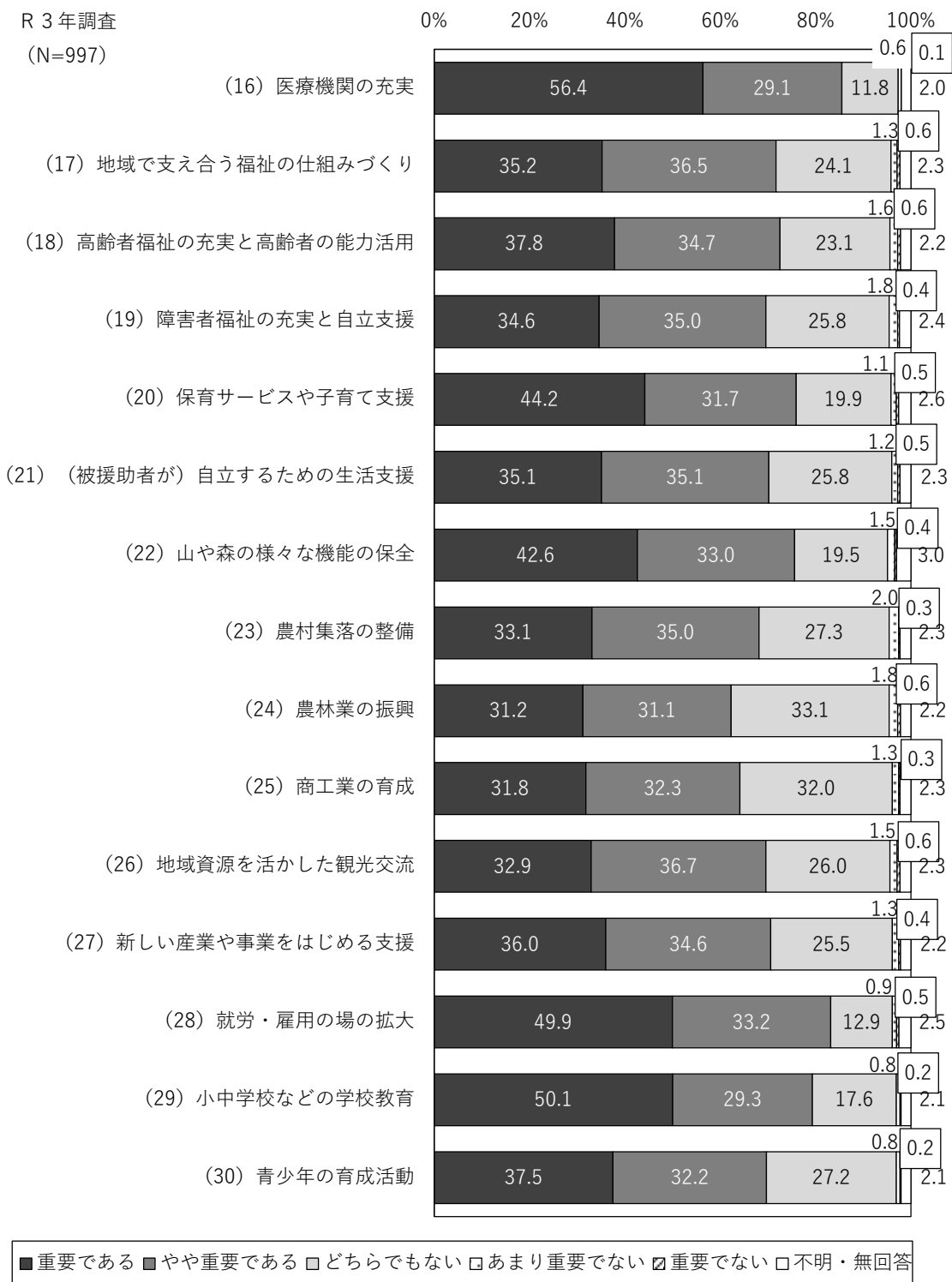
(3) 紀美野町が取り組んでいる施策に対する今後の重要度

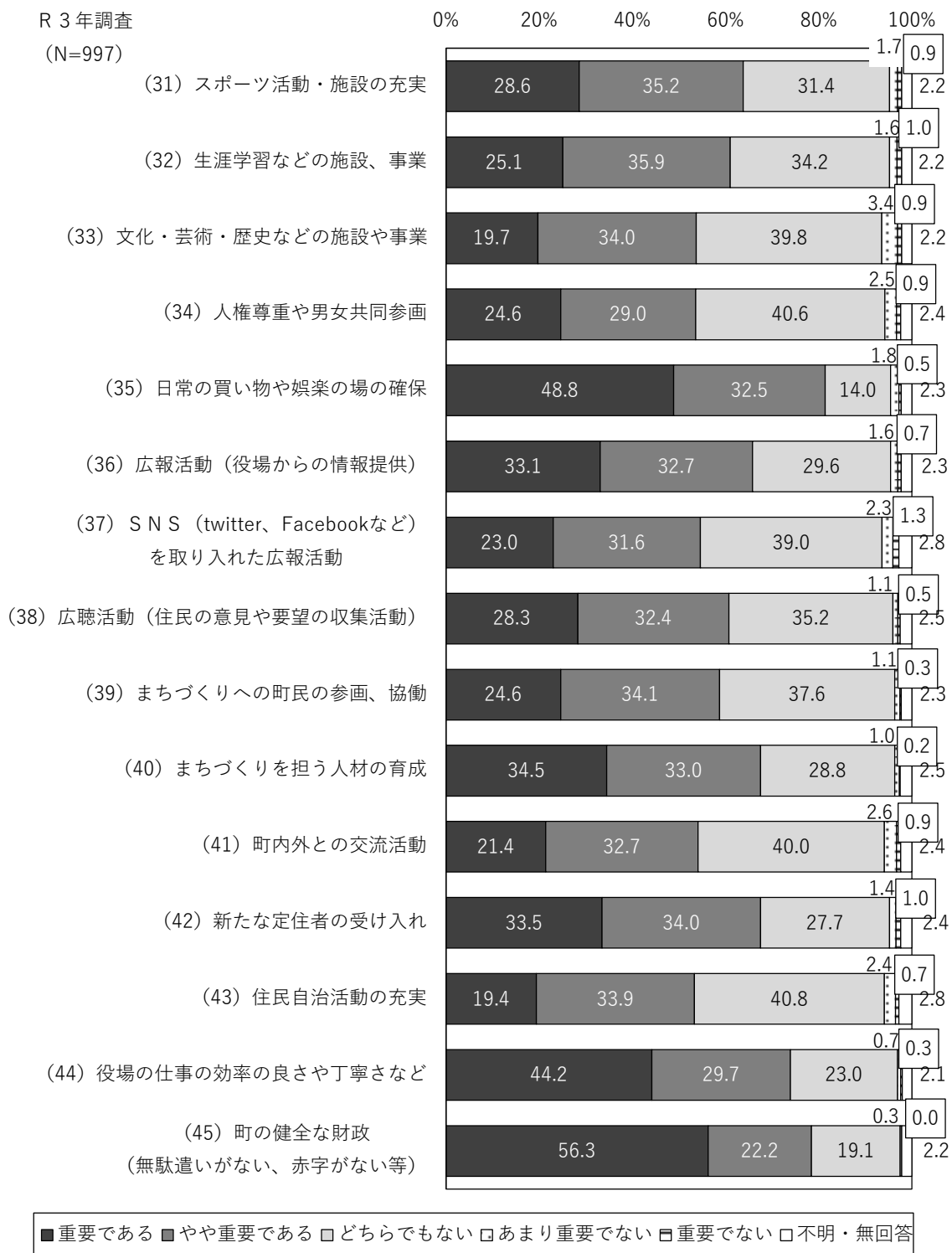
〔問10 紀美野町のまちづくりや暮らしの分野別の「今後の重要度」をお聞きします。次の(1)～(45)の各項目について、「1 重要である」～「5 重要でない」のいずれかのうち、あなたの考えに合うものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。〕

紀美野町の施策の今後の重要度についてみると、「消防・救急・救助体制」「防災対策」「医療機関の充実」「町の健全な財政」「道路の整備」「小中学校などの学校教育」で『重要』（「重要である」と「やや重要である」の合計）が5割を超えています。



■重要である ■やや重要である □どちらでもない □あまり重要でない □重要でない □不明・無回答





(4) 得点化した満足度と重要度からみた施策分野別評価の状況

紀美野町が取り組んでいる施策に対する満足度と重要度について、右の表の通りに得点化し、その平均を一覧にしました。前回調査でも同様の集計を行っており、得点の推移を一覧にしています。満足度については前々回の平成23年調査においても調査されているため、3時点での数値を示しています。

これにより、それぞれの施策分野別に見た住民ニーズの現状と推移や、住民の評価とその変化を確認することができます。

■得点化の方法

回答	得点
満足／重要である	+ 2
やや満足／やや重要である	+ 1
どちらでもない	0
やや不満／あまり重要でない	- 1
不満／重要でない	- 2

■施策分野別満足度得点と重要度得点

施策分野	満足度			満足度変化
	H23年	H28年	R3年	R3 - H28
(1) 自然環境	0.93	1.03	1.09	0.06
(2) 道路の整備	-0.60	0.22	0.18	-0.04
(3) バスなどの公共交通機関	-0.83	-0.82	-0.76	0.06
(4) 情報通信（携帯電話やインターネットなど）	-0.10	0.14	0.10	-0.04
(5) 交通安全対策や防犯対策	0.11	0.06	0.12	0.06
(6) 防災対策	0.07	0.09	0.09	0.00
(7) 消防・救急・救助体制	0.52	0.46	0.47	0.01
(8) 自主防災組織の活動	0.05	0.11	0.15	0.04
(9) 住宅や宅地の整備	-0.09	-0.20	-0.09	0.11
(10) 地域に適した土地の有効活用	-0.39	-0.38	-0.30	0.08
(11) 生活排水処理（下水道・浄化槽）	0.00	-0.01	0.13	0.14
(12) ごみの収集・処理	—	0.40	0.64	0.24
(13) し尿の収集・処理	—	0.37	0.53	0.16
(14) 公園や広場、子どもの遊び場	-0.33	-0.19	-0.08	0.11
(15) 保健対策（病気の予防や各種検診、健康づくり）	0.60	0.56	0.66	0.10
(16) 医療機関の充実	0.09	-0.04	0.12	0.16
(17) 地域で支え合う福祉の仕組みづくり	0.14	0.07	0.23	0.16
(18) 高齢者福祉の充実と高齢者の能力活用	0.04	-0.02	0.19	0.21
(19) 障害者福祉の充実と自立支援	-0.03	0.00	0.15	0.15
(20) 保育サービスや子育て支援	0.11	0.14	0.39	0.25
(21) （被援助者が）自立するための生活支援	-0.12	-0.07	0.07	0.14
(22) 山や森の様々な機能の保全	0.10	-0.08	-0.04	0.04
(23) 農村集落の整備	-0.32	-0.25	-0.21	0.04

(24) 農林業の振興	-0.24	-0.27	-0.19	0.08
(25) 商工業の育成	-0.49	-0.32	-0.23	0.09
(26) 地域資源を活かした観光交流	-0.39	-0.22	-0.14	0.08
(27) 新しい産業や事業をはじめめる支援	-0.49	-0.37	-0.16	0.21
(28) 就労・雇用の場の拡大	-0.97	-0.76	-0.61	0.15
(29) 小中学校などの学校教育	0.10	0.14	0.12	-0.02
(30) 青少年の育成活動	-0.03	0.06	0.02	-0.04
(31) スポーツ活動・施設の状況	0.17	0.24	0.18	-0.06
(32) 生涯学習などの施設、事業	0.07	0.14	0.13	-0.01
(33) 文化・芸術・歴史などの施設や事業	0.05	0.08	0.08	0.00
(34) 人権尊重や男女共同参画	0.03	0.06	0.08	0.02
(35) 日常の買い物や娯楽	-1.06	-0.75	-0.77	-0.02
(36) 広報活動（役場からの情報提供）	0.51	0.19	0.22	0.03
(37) SNS（twitter、Facebook など）を取り入れた広報活動	—	-0.16	-0.06	0.10
(38) 広聴活動（住民の意見や要望の収集活動）	-0.03	-0.17	-0.11	0.06
(39) まちづくりへの町民の参画、協働	0.01	-0.08	-0.03	0.05
(40) まちづくりを担う人材の育成	—	-0.24	-0.19	0.05
(41) 町内外との交流活動	-0.02	-0.15	-0.12	0.03
(42) 新たな定住者の受け入れ	0.04	0.01	0.08	0.07
(43) 住民自治活動の充実	0.10	0.01	0.07	0.06
(44) 役場の仕事の効率の良さや丁寧さなど	0.00	0.07	0.12	0.05
(45) 町の健全な財政（無駄遣いがない、赤字がない等）	-0.30	-0.17	-0.01	0.16

※「(12) ごみの収集・処理」、「(13) し尿の収集・処理」、「(37) SNS（twitter、Facebook など）を取り入れた広報活動」、「(40) まちづくりを担う人材の育成」については、平成23年調査では同様の項目が調査されていないため空欄となっている。

■施策分野別重要度得点の推移

施策分野	重要度		重要度変化
	H28年	R3年	R3 - H28
(1) 自然環境	1.16	1.34	0.18
(2) 道路の整備	1.33	1.40	0.07
(3) バスなどの公共交通機関	1.29	1.30	0.01
(4) 情報通信（携帯電話やインターネットなど）	1.02	1.25	0.23
(5) 交通安全対策や防犯対策	1.16	1.28	0.12
(6) 防災対策	1.29	1.45	0.16
(7) 消防・救急・救助体制	1.36	1.47	0.11
(8) 自主防災組織の活動	0.99	1.04	0.05
(9) 住宅や宅地の整備	0.91	0.94	0.03
(10) 地域に適した土地の有効活用	1.01	1.06	0.05

(11) 生活排水処理（下水道・浄化槽）	1.07	1.11	0.04
(12) ごみの収集・処理	1.12	1.18	0.06
(13) し尿の収集・処理	1.04	1.12	0.08
(14) 公園や広場、子どもの遊び場	0.96	1.01	0.05
(15) 保健対策（病気の予防や各種検診、健康づくり）	1.17	1.28	0.11
(16) 医療機関の充実	1.37	1.44	0.07
(17) 地域で支え合う福祉の仕組みづくり	1.01	1.07	0.06
(18) 高齢者福祉の充実と高齢者の能力活用	1.06	1.10	0.04
(19) 障害者福祉の充実と自立支援	1.02	1.04	0.02
(20) 保育サービスや子育て支援	1.20	1.21	0.01
(21) （被援助者が）自立するための生活支援	0.96	1.06	0.10
(22) 山や森の様々な機能の保全	0.95	1.20	0.25
(23) 農村集落の整備	0.87	1.01	0.14
(24) 農林業の振興	0.82	0.93	0.11
(25) 商工業の育成	0.88	0.96	0.08
(26) 地域資源を活かした観光交流	0.97	1.02	0.05
(27) 新しい産業や事業をはじめめる支援	0.96	1.07	0.11
(28) 就労・雇用の場の拡大	1.31	1.35	0.04
(29) 小中学校などの学校教育	1.21	1.31	0.10
(30) 青少年の育成活動	0.96	1.08	0.12
(31) スポーツ活動・施設の状況	0.78	0.91	0.13
(32) 生涯学習などの施設、事業	0.74	0.84	0.10
(33) 文化・芸術・歴史などの施設や事業	0.60	0.70	0.10
(34) 人権尊重や男女共同参画	0.62	0.76	0.14
(35) 日常の買い物や娯楽	1.15	1.30	0.15
(36) 広報活動（役場からの情報提供）	0.85	0.98	0.13
(37) SNS（twitter、Facebookなど）を取り入れた広報活動	0.51	0.75	0.24
(38) 広聴活動（住民の意見や要望の収集活動）	0.77	0.89	0.12
(39) まちづくりへの町民の参画、協働	0.74	0.83	0.09
(40) まちづくりを担う人材の育成	0.95	0.84	-0.11
(41) 町内外との交流活動	0.72	0.73	0.01
(42) 新たな定住者の受け入れ	0.91	1.00	0.09
(43) 住民自治活動の充実	0.69	0.71	0.02
(44) 役場の仕事の効率の良さや丁寧さなど	1.12	1.19	0.07
(45) 町の健全な財政（無駄遣いがない、赤字がない等）	1.30	1.37	0.07

満足度については、「自然環境」が最も高く、次いで「保健対策」「ごみの収集・処理」が続いています。満足度が低い項目として、「バスなどの公共交通機関」、「就労・雇用の場の拡大」、「日常の買い物や娯楽」などが挙がっています。上位、下位の項目に前回調査との変動はあまりありません。

■満足度上位5項目

平成28年調査	満足度得点
(1)自然環境	1.03
(15)保健対策	0.56
(7)消防・救急・救助体制	0.46
(12)ごみの収集・処理	0.40
(13)し尿の収集・処理	0.37

令和3年調査	満足度得点
(1)自然環境	1.09
(15)保健対策	0.66
(12)ごみの収集・処理	0.64
(13)し尿の収集・処理	0.53
(7)消防・救急・救助体制	0.47

■満足度下位5項目

平成28年調査	満足度得点
(3)バスなどの公共交通機関	-0.82
(28)就労・雇用の場の拡大	-0.76
(35)日常の買い物や娯楽	-0.75
(10)地域に適した土地の有効活用	-0.38
(27)新しい産業や事業をはじめの支援	-0.37

令和3年調査	満足度得点
(35)日常の買い物や娯楽	-0.77
(3)バスなどの公共交通機関	-0.76
(28)就労・雇用の場の拡大	-0.61
(10)地域に適した土地の有効活用	-0.30
(25)商工業の育成	-0.23

重要度については、「消防・救急・救助体制」が最も高く、次いで「防災対策」、「医療機関の充実」が続いています。重要度が低い項目として、「文化・芸術・歴史などの施設や事業」、「住民自治活動の充実」、「町内外との交流活動」などが挙がっています。前回調査との変動はあまりありません。

■重要度上位5項目

平成28年調査	重要度得点
(16)医療機関の充実	1.37
(7)消防・救急・救助体制	1.36
(2)道路の整備	1.33
(28)就労・雇用の場の拡大	1.31
(45)町の健全な財政	1.30

令和3年調査	重要度得点
(7)消防・救急・救助体制	1.47
(6)防災対策	1.45
(16)医療機関の充実	1.44
(2)道路の整備	1.40
(45)町の健全な財政	1.37

■重要度下位5項目

平成28年調査	重要度得点
(37)SNSを取り入れた広報活動	0.51
(33)文化・芸術・歴史などの施設や事業	0.60
(34)人権尊重や男女共同参画	0.62
(43)住民自治活動の充実	0.69
(41)町内外との交流活動	0.72

令和3年調査	重要度得点
(33)文化・芸術・歴史などの施設や事業	0.70
(43)住民自治活動の充実	0.71
(41)町内外との交流活動	0.73
(37)SNSを取り入れた広報活動	0.75
(34)人権尊重や男女共同参画	0.76

◆満足度得点の前回調査からの変化

満足度得点の前回調査からの変化量について、上位、下位それぞれ5項目を、前回調査と比較しました。変化量が大きいものについては、前回調査時点以降で満足度が増加しており、この間の取組みを評価する人が多かったことが考えられます。一方で、変化量が小さいものについては、この間の取組みを評価する人が少なかったり、否定的な評価を下す人が増えたことが考えられます。

今回の満足度変化上位5項目をみると、「保育サービスや子育て支援」「ごみの収集・処理」「高齢者福祉の充実と高齢者の能力活用」「し尿の収集・処理」といった、住民生活に密着した分野での満足度が上がっていることが示されています。

一方、下位項目をみると、前回調査で満足度変化上位5項目に入っていた、「道路の整備」「日常の買い物や娯楽」「情報通信」が入っており、前回調査時点で評価が上がっていた分、今回は評価が上がりなかったことがうかがえます。

■満足度変化上位5項目

平成28年調査	満足度変化 (H28-H23)
(2)道路の整備	0.81
(35)日常の買い物や娯楽	0.32
(4)情報通信	0.24
(28)就労・雇用の場の拡大	0.21
(26)地域資源を活かした観光交流	0.18

令和3年調査	満足度変化 (R3-H28)
(20)保育サービスや子育て支援	0.25
(12)ごみの収集・処理	0.24
(18)高齢者福祉の充実と高齢者の能力活用	0.21
(27)新しい産業や事業をはじめの支援	0.21
(13)し尿の収集・処理	0.16

■満足度変化下位5項目

平成28年調査	満足度変化 (H28-H23)
(36)広報活動	-0.33
(22)山や森の様々な機能の保全	-0.18
(38)広聴活動	-0.14
(41)町内外との交流活動	-0.13
(16)医療機関の充実	-0.13

令和3年調査	満足度変化 (R3-H28)
(31)スポーツ活動・施設の状況	-0.06
(2)道路の整備	-0.04
(4)情報通信	-0.04
(37)青少年の育成活動	-0.04
(29)小中学校などの学校教育	-0.02
(35)日常の買い物や娯楽	-0.02

◆重要度得点の前回調査からの変化

重要度得点についても同様に、前回調査からの変化量について、上位、下位それぞれ5項目を示しました。平成23年調査では、満足度に関する調査項目が含まれていなかったため、前回調査との比較はできません。重要度の変化量が上位であるということは、前回調査時点以降に、その分野の取り組みが重要だと感じる人が増加したということであり、下位であるということは、その分野の取り組みの重要だと感じる人が増えなかった、または減ったということを意味します。

上位の項目を見ると、「山や森のさまざまな機能の保全」「SNSを取り入れた広報活動」「情報通信」「自然環境」と、自然環境に関することや情報通信技術の活用に関することが上がっています。

一方下位項目では、「まちづくりを担う人材の育成」が唯一マイナスで、重要だと感じる人が減少していることが示されています。

■重要度変化上位5項目

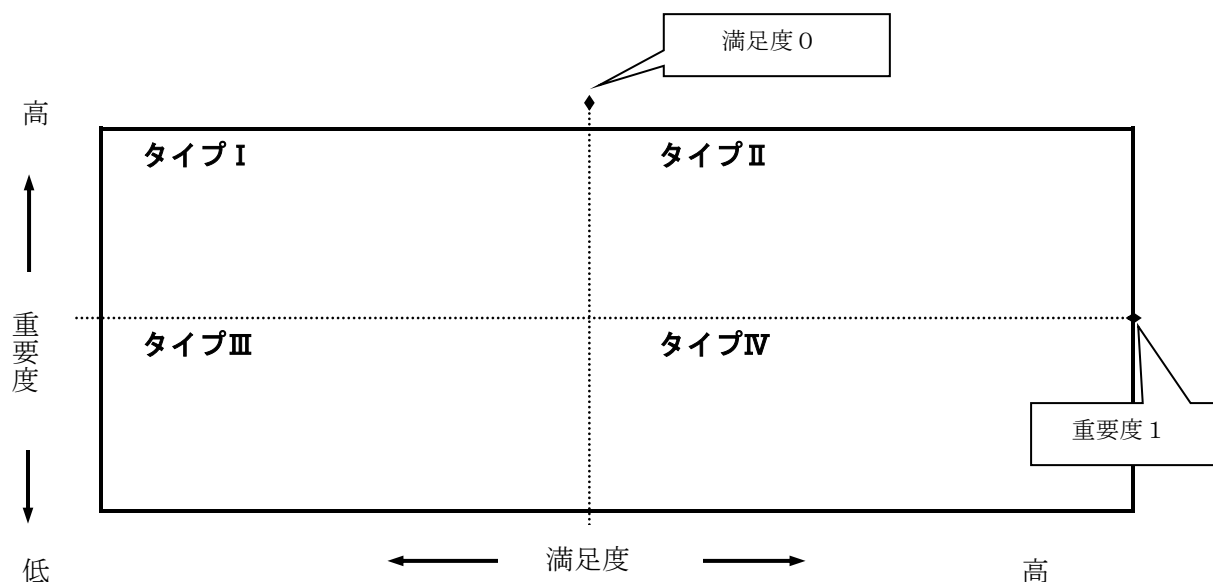
令和3年調査	重要度変化 (R3-H28)
(22)山や森の様々な機能の保全	0.25
(37)SNSを取り入れた広報活動	0.24
(4)情報通信	0.23
(1)自然環境	0.18
(6)防災対策	0.16

■重要度変化下位5項目

令和3年調査	重要度変化 (R3-H28)
(40)まちづくりを担う人材の育成	-0.11
(3)バスなどの公共交通機関	0.01
(20)保育サービスや子育て支援	0.01
(41)町内外との交流活動	0.01
(19)障害者福祉の充実と自立支援	0.02
(43)住民自治活動の充実	0.02

◆満足度得点と重要度得点による分類

「満足度0」、「重要度1」を基準として、各施策分野を4つのセグメントに分類しました。重要度の基準を「0」ではなく「1」としているのは、重要度については「重要ではない」という回答が全体として非常に少なく、重要度0が分類の基準に適さないためです。こうすることで、住民からみた各施策分野のニーズや位置づけを伺うことができます。



タイプI：タイプIは、満足度が低く、重要度が高くなっています。住民ニーズが高い一方で、施策が追いついていない分野と考えられ、今後の町の重点課題として、追加的な取組や施策の拡充の検討が求められるタイプです。

タイプII：タイプIIは、満足度が高く、重要度も高くなっています。高いニーズに対する取組がある程度評価されている分野と考えられ、継続的な取組が求められるタイプと言えます。

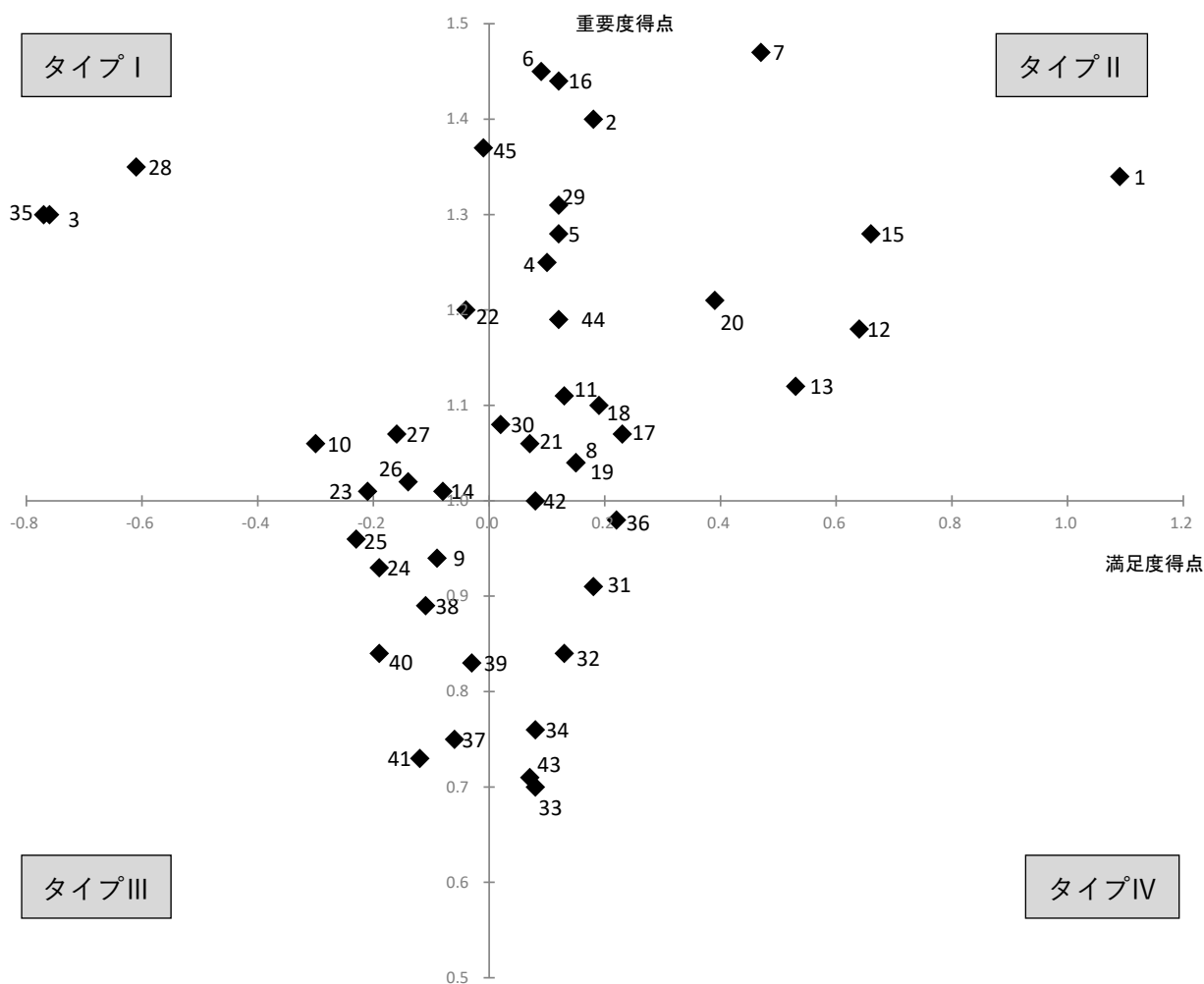
タイプIII：タイプIIIは、満足度が低く、重要度も低くなっています。住民の関心が比較的 low、住民ニーズからみた優先度が高くない、あるいは施策の重要性が住民に十分に伝わっていないと考えられます。

タイプIV：タイプIVは、満足度が高く、重要度が低くなっています。住民の評価としては、現状の取組である程度充足しており、追加的な取組や更なる充実を検討する上では優先順位が比較的低いと考えられるタイプです。

今回の調査結果に基づいて各タイプに含まれる主な施策分野をみると、以下の通りとなっています。

	含まれる主な施策分野	
タイプⅠ	(3) バスなどの公共交通機関 (10) 地域に適した土地の有効活用	(28) 就労・雇用の場の拡大 (35) 日常の買い物や娯楽
タイプⅡ	(1) 自然環境 (7) 消防・救急・救助体制	(12) ごみの収集・処理 (15) 保健対策 など
タイプⅢ	(24) 農林業の振興 (25) 商工業の育成	(40) まちづくりを担う人材の育成 (41) 町内外との交流活動 など
タイプⅣ	(31) スポーツ活動・施設の状態 (32) 生涯学習などの施設、事業	(33) 文化・芸術・歴史などの施設や事業 (34) 人権尊重や男女共同参画 など

■満足度得点と重要度得点による施策分野の分類

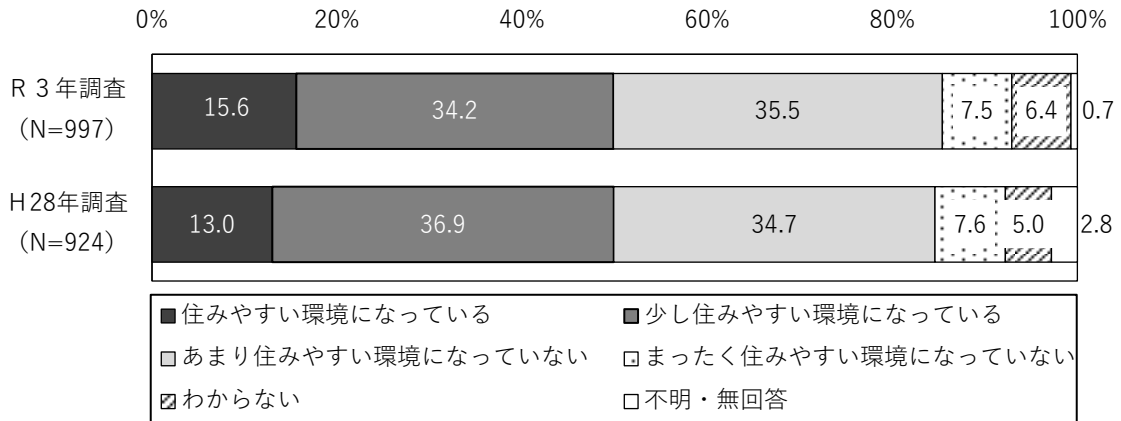


※上図の1～45の番号は、16ページから18ページの表の各施策分野に付された番号に対応しています。

(5) 居住する地域の住みやすさ

〔問 11 現在、あなたの住んでいる地域は、誰もが住みやすい環境になっていると思いますか。
(1つに○)〕

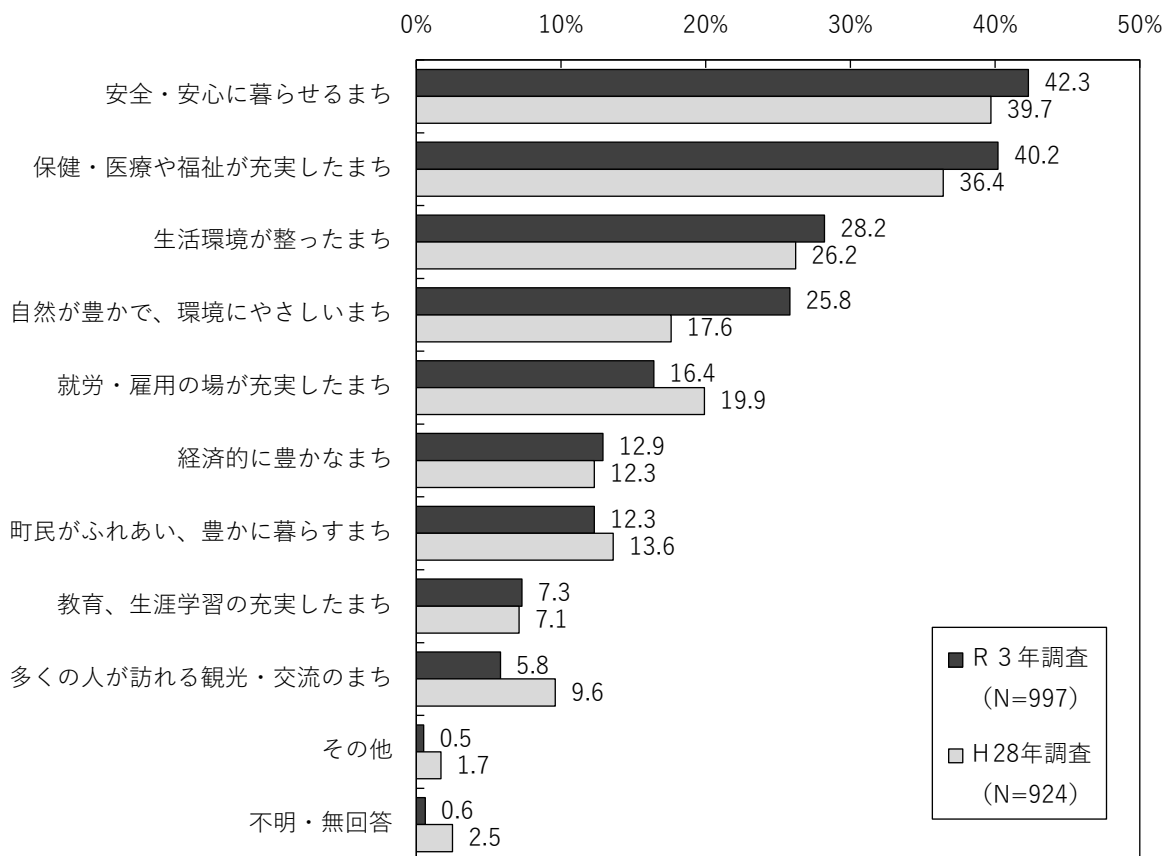
居住する地域は誰もが住みやすい環境になっていると思うかについてみると、「あまり住みやすい環境になっていない」が35.5%で最も多く、次いで「少し住みやすい環境になっている」が34.2%となっています。



(6) 将来の紀美野町への希望〈複数回答〉

〔問 12 あなたは、将来の紀美野町をどのようなまちにしていきたいと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。〕

将来の紀美野町をどのようなまちにしていきたいかについてみると、「安全・安心に暮らせるまち」が42.3%で最も多く、次いで「保健・医療や福祉が充実したまち」が40.2%となっています。前回調査と比べると、「自然が豊かで、環境にやさしいまち」が増加しています。また、回答数は少ないですが、「多くの人を訪れる観光・交流のまち」が減少しています。



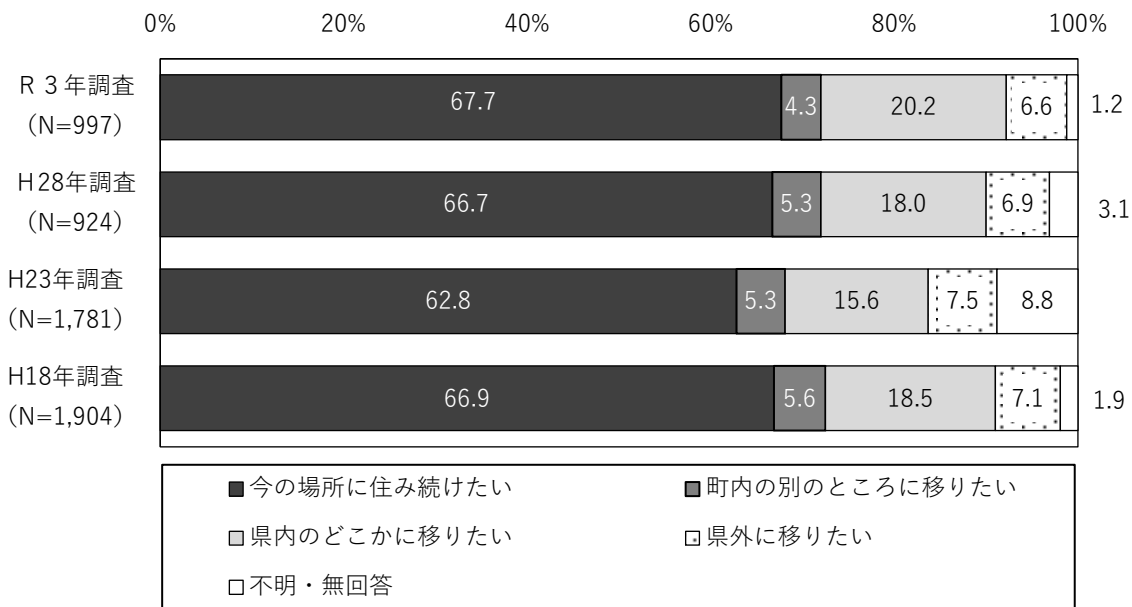
■その他回答

項目	件数
田舎のしぐらみがないまち	1
そもそも紀美野町が現在どうなりたいか、ビジョンが見えない	1
人が多い町	1
税金の安い町	1
干渉・精神的苦痛のないまち	1
財政がしっかりしているまち	1

(7) 今後の紀美野町での居住意向

〔問 13 あなたは、今後も紀美野町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)〕

今後も紀美野町に住み続けたいと思うかについては、「今の場所に住み続けたい」が67.7%で最も多く、次いで「県内のどこかに移りたい」が20.2%となっています。この設問は平成23年、平成18年の調査でも尋ねられているため、それらの結果を合わせて記載していますが、大きな違いはないものの、平成23年調査以降で「県内のどこかに移りたい」が増加しています。

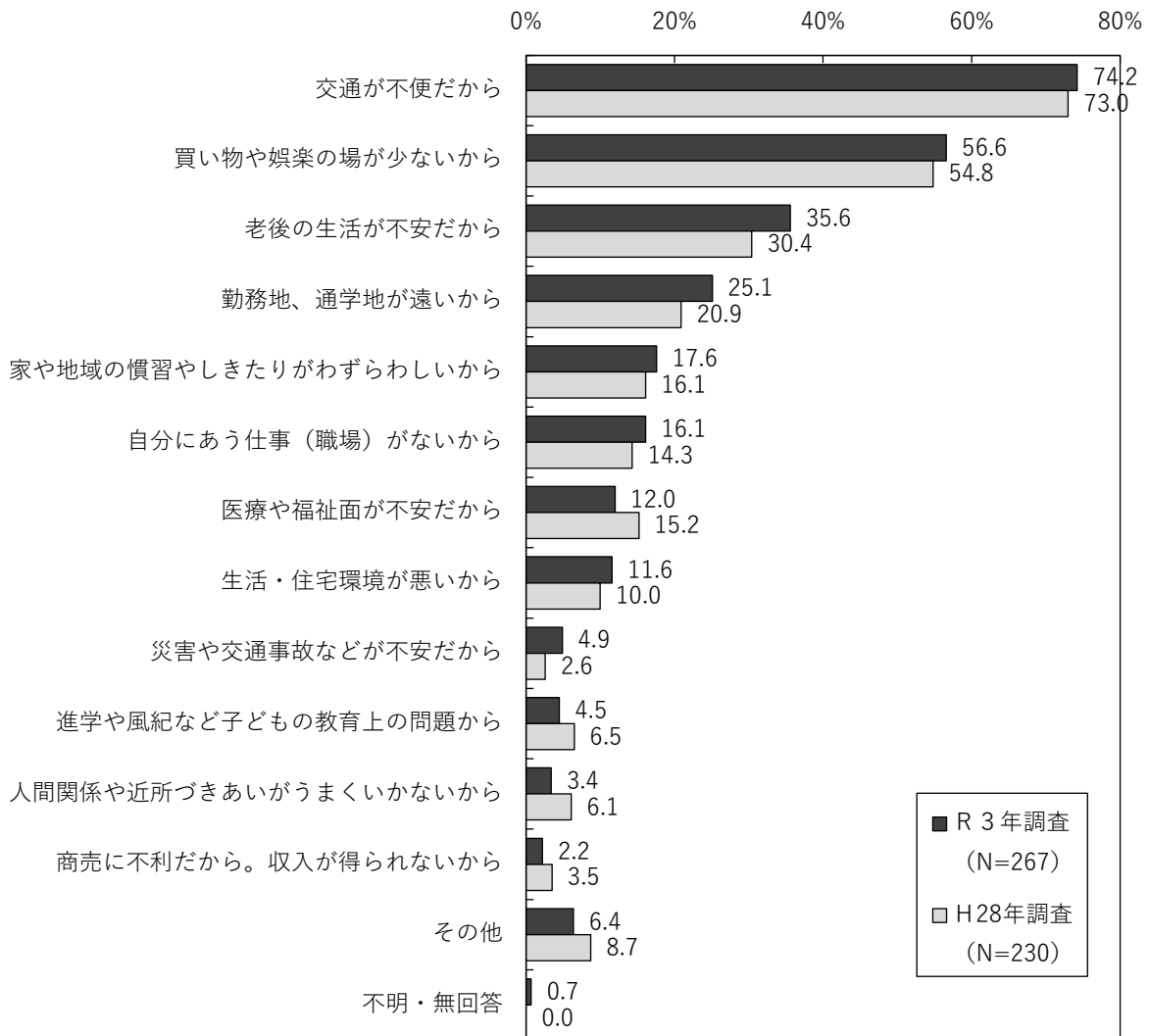


町外に移りたいと思う人（問 13 で「県内のどこかに移りたい」「県外に移りたい」を選択）

（8）町外に移りたいと思う理由〈複数回答〉

〔問 14 問 13 で町外に移りたいと答えた方にお聞きします。町外へ移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください〕

町外に移りたいと思う理由についてみると、「交通が不便だから」が74.2%で最も多く、次いで「買い物や娯楽の場が少ないから」が56.6%となっています。前回調査と比べると、「老後の生活が不安だから」「勤務地、通学地が遠いから」がやや増加しています。



■その他回答

回答	件数
世代を超えてのコミュニケーション・情報発信の方法が、やや乏しいように思います	1
地域のコミュニケーション（情報交換）が全くないような…	1
自分の意見や考え方を押し付けてくる人が煩わしい	1
携帯電話の電波が悪い	1
ダンプカーが危険な運転をしている、道がデコボコ、砂埃が酷い	1

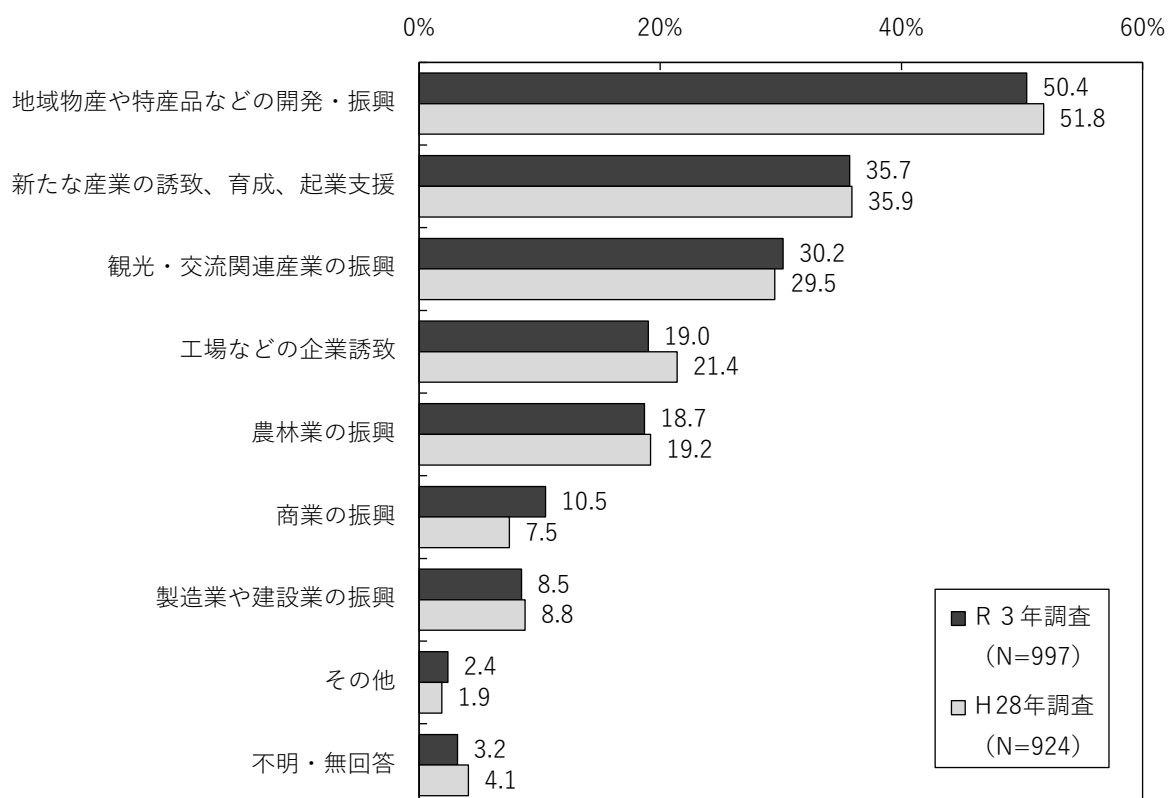
中学生の子どもがいるが、距離が長いので自転車通学だと不安。不審者の情報もあるし、トラックもたくさん通る。小学校はバスがあるが、中学校もバスの運用をしてほしい	1
区長のすることが多いから、仕事をしながら区長の役目は無理	1
介護保険料など、公共料金が高いから	1
ゴミ袋が指定の店でないと買えないので、夜遅くに買えない	1
人間関係が閉鎖的だから	1
将来の発展性が望めない	1
宅地（分譲地）が少ないので	1
結婚した時	1
ハザードマップに載っている水害の危険な場所で、毎年避難をしなければならない	1
今の土地が借地だから。自分の土地に家を建てたい。だが、自分には紀美野町の方が合っている…	1
海のそばで住みたいから	1

3. 紀美野町の分野別の取り組みについて

(1) 紀美野町の産業振興について特に力を注ぐべき分野〈複数回答〉

〔問 15 紀美野町の産業振興について、あなたは特にどの分野に力を注ぐべきだとお考えですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。〕

紀美野町の産業振興について特に力を注ぐべき分野では、「地域物産や特産品などの開発・振興」が50.4%で最も多く、次いで「新たな産業の誘致、育成、起業支援」が35.7%、「観光・交流関連産業の振興」が30.2%となっています。前回調査とほぼ同様の結果となっています。



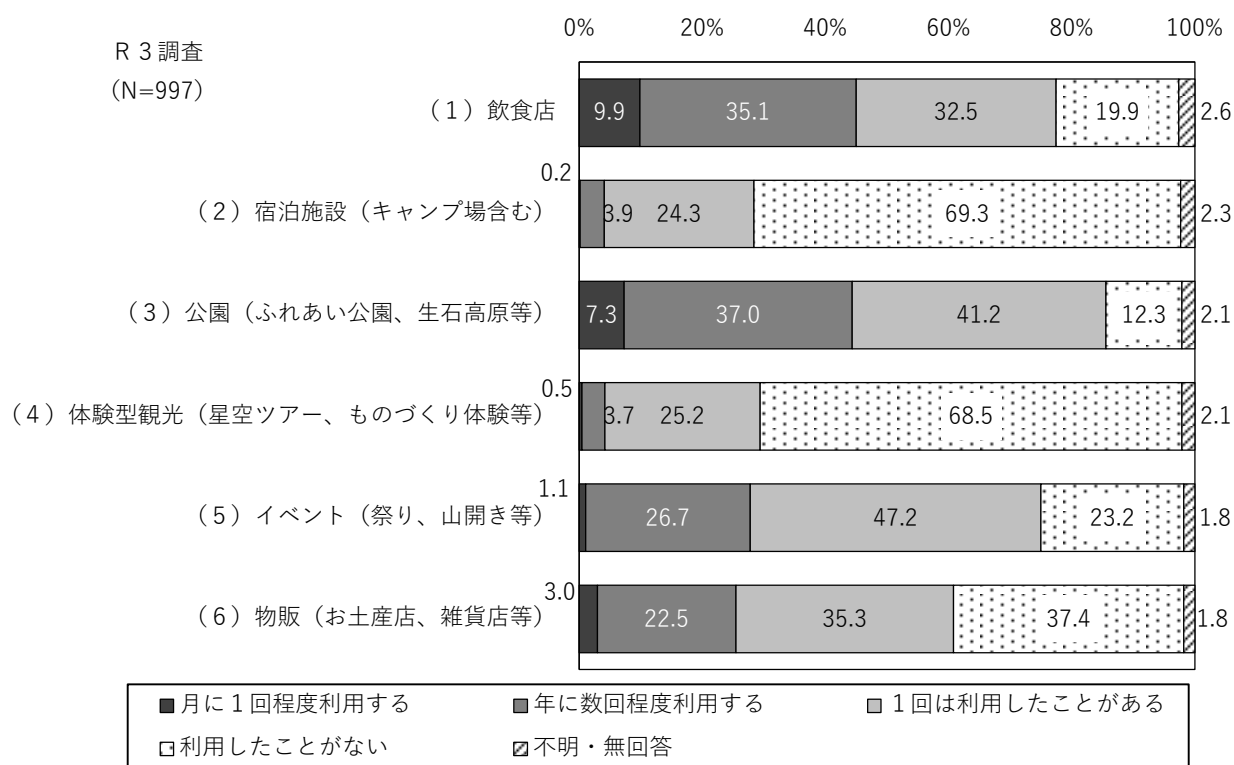
■その他回答

回答	件数
自然を活かしたまちづくり	2
自然環境の保全	2
無用になっている土地・家・山林を活用する知恵を、町外の各地から求めるべき	1
今地域で頑張っている方すべてに注目すること	1
健全な財政	1
住みたい町にする	1
医療や福祉、介護	1
自然をアピールする観光。山など、アスレチックみたいに	1
他の町では絶対はない、住民全員にとっての得になること	1
外国人移住受け入れ支援	1
犬や動物愛護	1
今のままで良い	1

(2) 紀美野町の観光施設等の利用状況

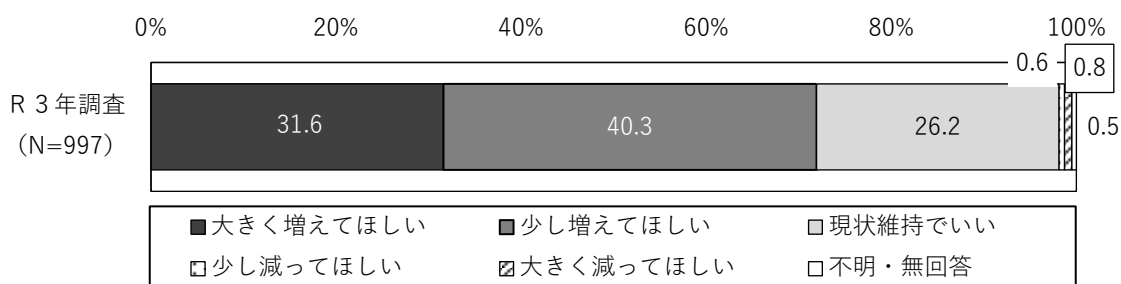
〔問 16 紀美野町の観光施設等をどのくらい利用しますか。次の(1)～(6)の各項目について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。〕

町民の紀美野町の観光施設等の利用状況をみると、「飲食店」「公園（ふれあい公園、生石高原等）」は1回以上利用したことがあるという回答が8割前後を占めています。一方で、「宿泊施設（キャンプ場を含む）」「体験型観光（星空ツアー、ものづくり体験等）」については、「利用したことがない」が7割近くとなっています。



(3) 観光客の増減への希望〔問 17 紀美野町への観光客は今後増えてほしいですか。(1つに○)〕

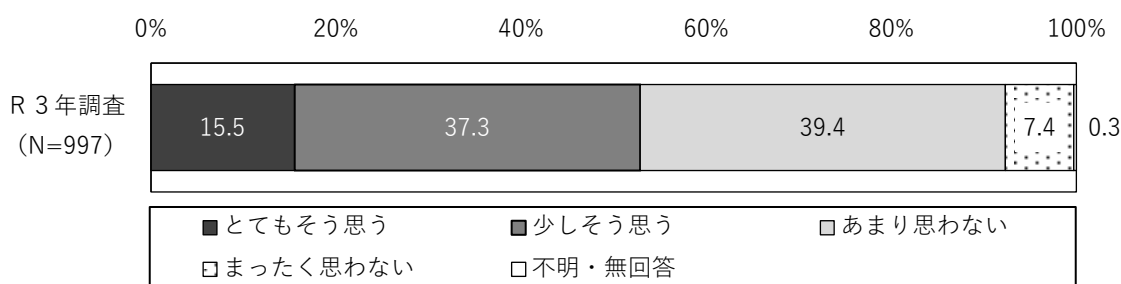
紀美野町への観光客については、「少し増えてほしい」が40.3%で最も多く、次いで「大きく増えてほしい」が31.6%となっています。「減ってほしい」という回答は少なくなっています。



(4) 観光客による地域の収入増への評価

〔問 18 紀美野町への観光客は飲食店や宿泊施設など、地域の収入増に貢献していると思いますか。(1つに○)〕

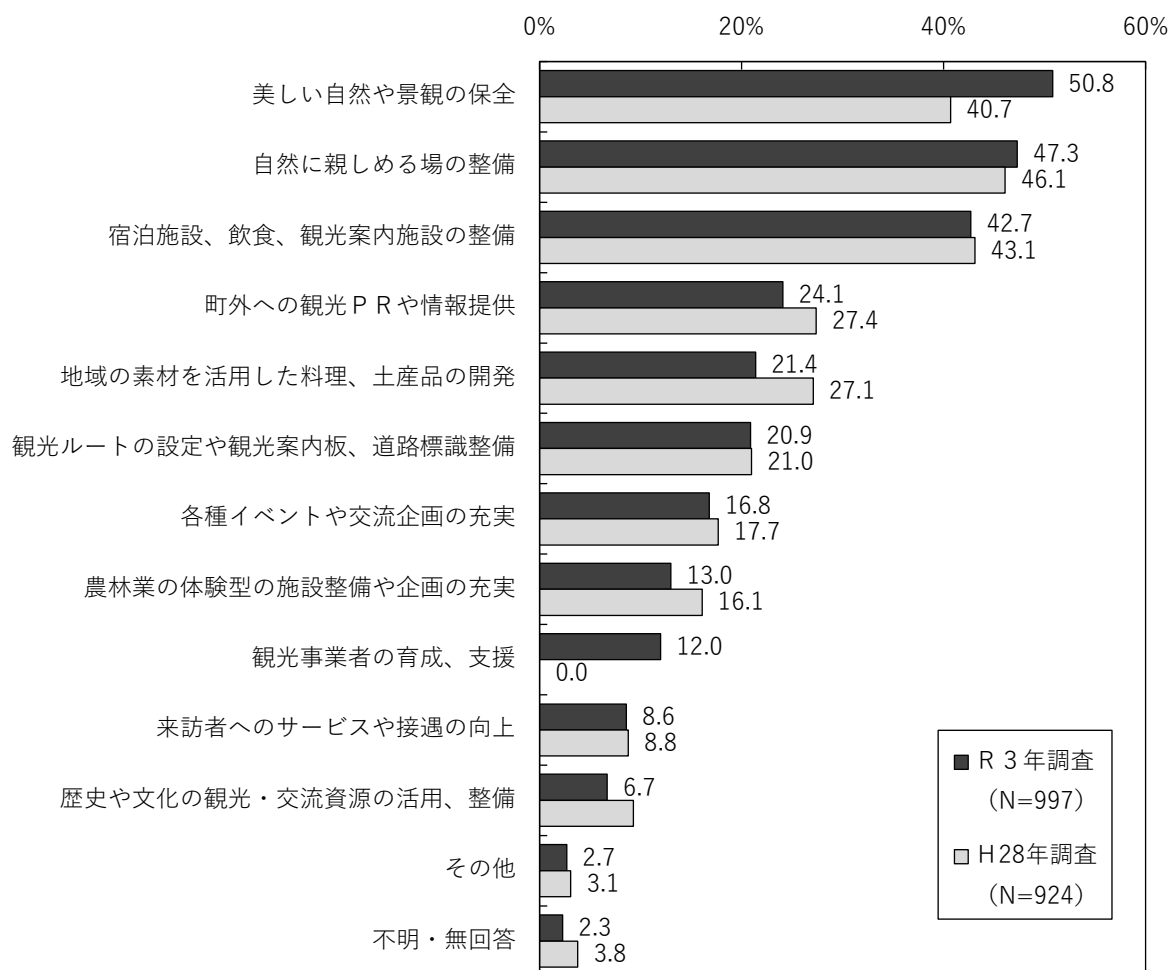
紀美野町への観光客が地域の収入増に貢献していると思うかどうかでは、「あまり思わない」が39.4%で最も多く、次いで「少しそう思う」が37.3%となっています。肯定的な評価と否定的な評価では、肯定的な評価（「とてもそう思う」または「少しそう思う」）がやや多くなっています。



(5) 紀美野町の観光・交流の振興に向けて重要なこと〈複数回答〉

〔問 19 紀美野町の観光・交流の振興に向けてどのようなことが重要とお考えですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。〕

紀美野町の観光・交流の振興に向けて重要なことについては、「美しい自然や景観の保全」が50.8%で最も多く、次いで「自然に親しめる場の整備」が47.3%、「宿泊施設、飲食、観光案内施設の整備」が42.7%となっています。前回調査と比べると、「美しい自然や景観の保全」が増加し、「地域の素材を活用した料理、土産品の開発」がやや減少しています。



■その他回答

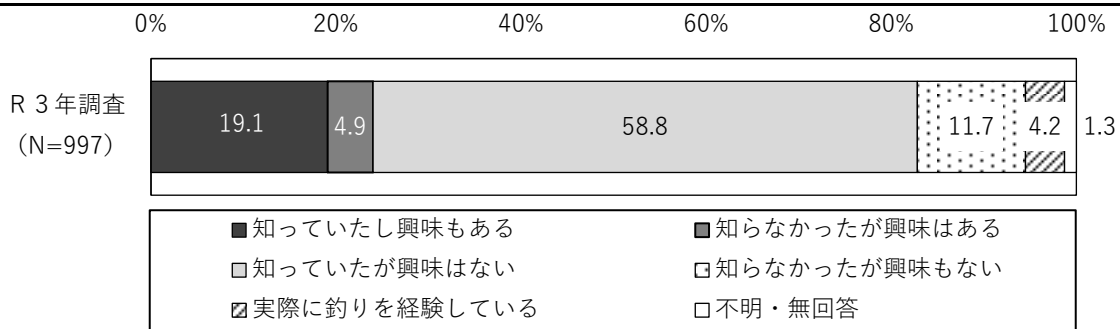
回答	件数
道路整備	6
交通網の整備	2
遊歩道の整備	1
都市との主要幹線道路整備	1
地元の人も常に利用して観光客も寄る様な公園と道の駅を一体して作る	1
*観光地にあるべき地域の駐車場の整備	1
*ゴミの不当投棄が多く、捨てられない工夫	

多くの人が増えれば、ごみが多くなるばかり。道路にポイ捨てが多い	1
「観光での町づくり」という発想は捨てて方向を変えること。他の町村をしっかりとみてください。紀美野まで来ますか。	1
観光に力を入れなくてもよい	1
アスレチックや大型遊具、キャンプ場を整備してほしい	1
グランピング	
たま電車まで人は来るのに、何故そこから紀美野に観光に来ないのか？	1
とにかく今あるものを活かせる知恵と、紀美野町で活用できる知恵を、町外の国内各地から集めてきて検討するべきだと思います	1
交流がないのでわからない	1
国内・国外にこだわらず、姉妹都市・友好都市提携	1
住人が川の上流で生ごみを流さないように取り組むべき	1

(6) 貴志川でのあまご釣りについて

〔問 20 貴志川で、アユ、あまご（上流部）釣りができることを知っていますか。また、川釣りに興味はありますか。（1つに○）〕

貴志川でのあまご釣りについての認知や川釣りへの興味については、「知っていたが興味はない」が58.8%で最も多く、次いで「知っていたし興味もある」が19.1%となっています。「興味がある」という回答は全体の24.0%となっており、「実際に釣りを経験している」の4.2%と比べると、6倍近い人が関心を持っています。

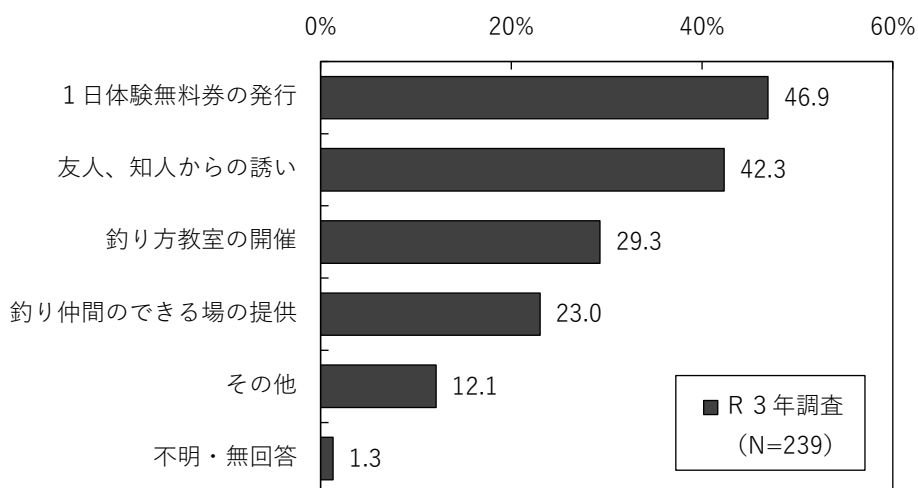


あまご釣りに興味がある人（問 20 で「知っていたし興味もある」「知らなかったが興味はある」を選択）

(7) 川釣りを始めようと思うきっかけ〈複数回答〉

〔問 21 問 20 で「興味がある」と答えた方にお聞きします。今後、川釣りを始めようと思うきっかけになる要因は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）〕

あまご釣りに「興味がある」と回答した人が、今後、川釣りを始めようと思うきっかけになる要因については、「1日体験無料券の発行」が46.9%で最も多く、次いで「友人、知人からの誘い」が42.3%となっています。



■その他回答

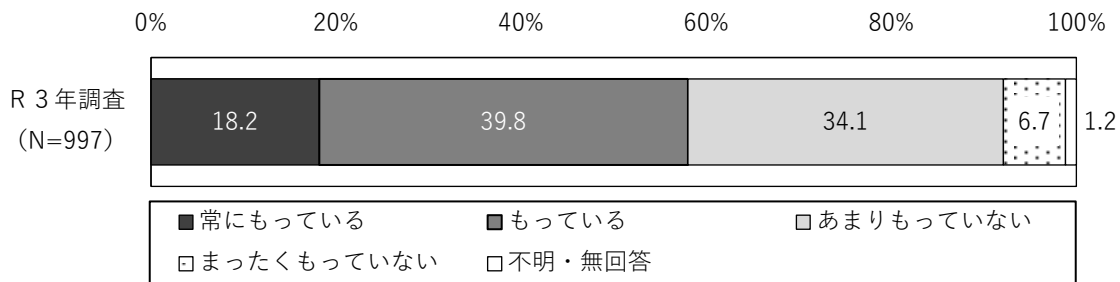
回答	件数
時間がない	4
川の整備	2

害獣駆除による豊かな川の環境づくりと、駐車料金を取ることによる環境整備（よそ者によるゴミ対策）	1
楽しく釣りのできる環境の整備	1
初心者でも行きやすい場の整備	1
釣れる場所や釣りを安全に行える場所を教えてもらえたら、一度やってみたい	1
子どもと一緒に体験など	1
鮎、アマゴのつかみ取り（"大きな"イベント）	1
道具の貸し出し、PR の仕方	1
道具や餌のレンタル、魚を調理してもらえる所	1
釣って食べる	1
タイミング	1
釣り歴 20 年だから	1
過去に楽しんでいたから	1
以前、鮎釣りをしていた	1
上記以外の釣り	1
興味があるが、目的の魚がない	1
貴志川上流で釣りができることを知らない人が多い。大体メジャーなところへ行くため	1
観光事業に必要	1
インターネット	1
生き物を観察したり、魚に関心や興味があること	1
もう少し若ければ	1

(8) 食育への関心

〔問 22 食育(生活の基礎づくりに役立つ、基本的な食事を学ぶ教育)に関心を持っていますか。
(1つに○)〕

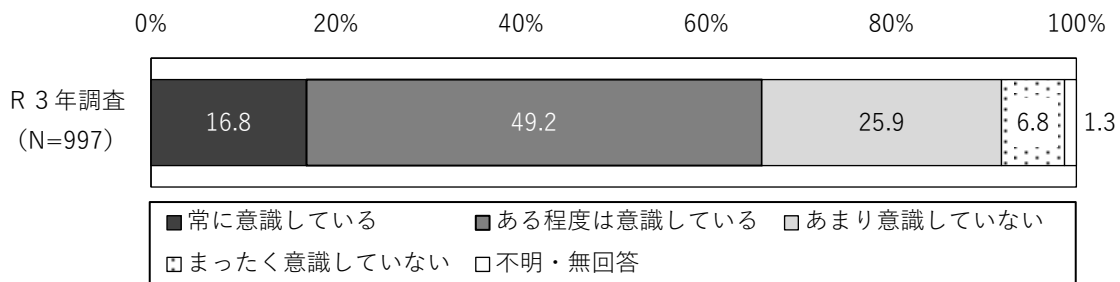
食育への関心については、「もっている」が39.8%で最も多く、次いで「あまりもっていない」が34.1%となっています。「常にもっている」と「もっている」の合計は58.2%で、半数以上が食育への関心をもっていると回答しています。



(9) 産地や生産者への意識

〔問 23 産地や生産者を意識して農林水産物や食品を選んでいますか。(1つに○)〕

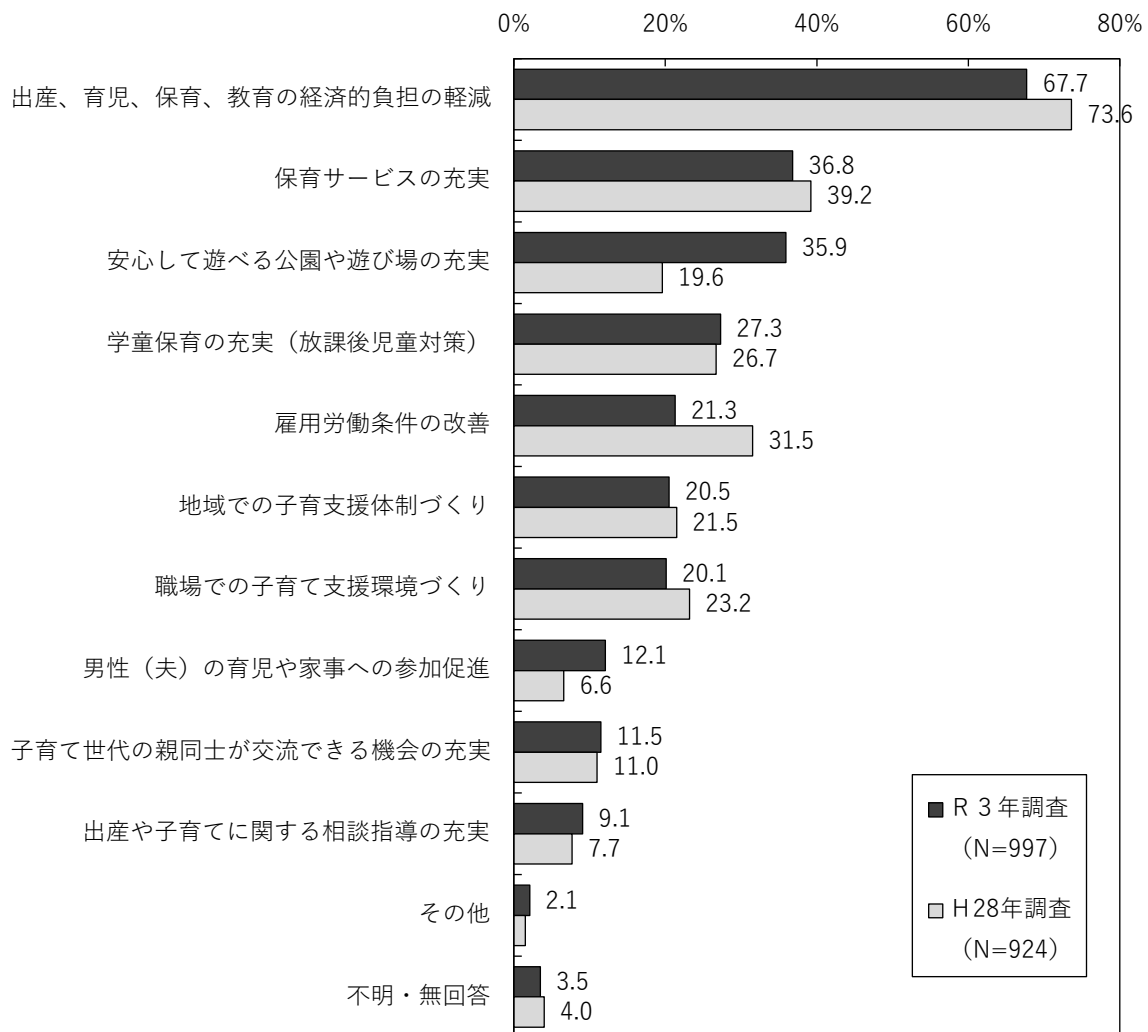
農林水産物や食品を選ぶ際に産地や生産者を意識しているかどうかについては、「ある程度は意識している」が49.2%で最も多く、次いで「あまり意識していない」が25.9%となっています。「常に意識している」と「ある程度は意識している」の合計は66.0%で、約3分の2が産地や生産者を意識していると回答しています。



(10) 子育てに対する支援策として今後力を注ぐべきこと〈複数回答〉

〔問 24 子育てに対する支援策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。
次の中から3つまで選んで○をつけてください。〕

子育てに対する支援策として今後力を注ぐべきことについては、「出産、育児、保育、教育の経済的負担の軽減」が67.7%で最も多く、次いで「保育サービスの充実」が36.8%、「安心して遊べる公園や遊び場の充実」が35.9%となっています。前回調査と比べると、「安心して遊べる公園や遊び場の充実」「男性（夫）の育児や家事への参加促進」が増加し、「雇用労働条件の改善」が減少しています。



■その他回答

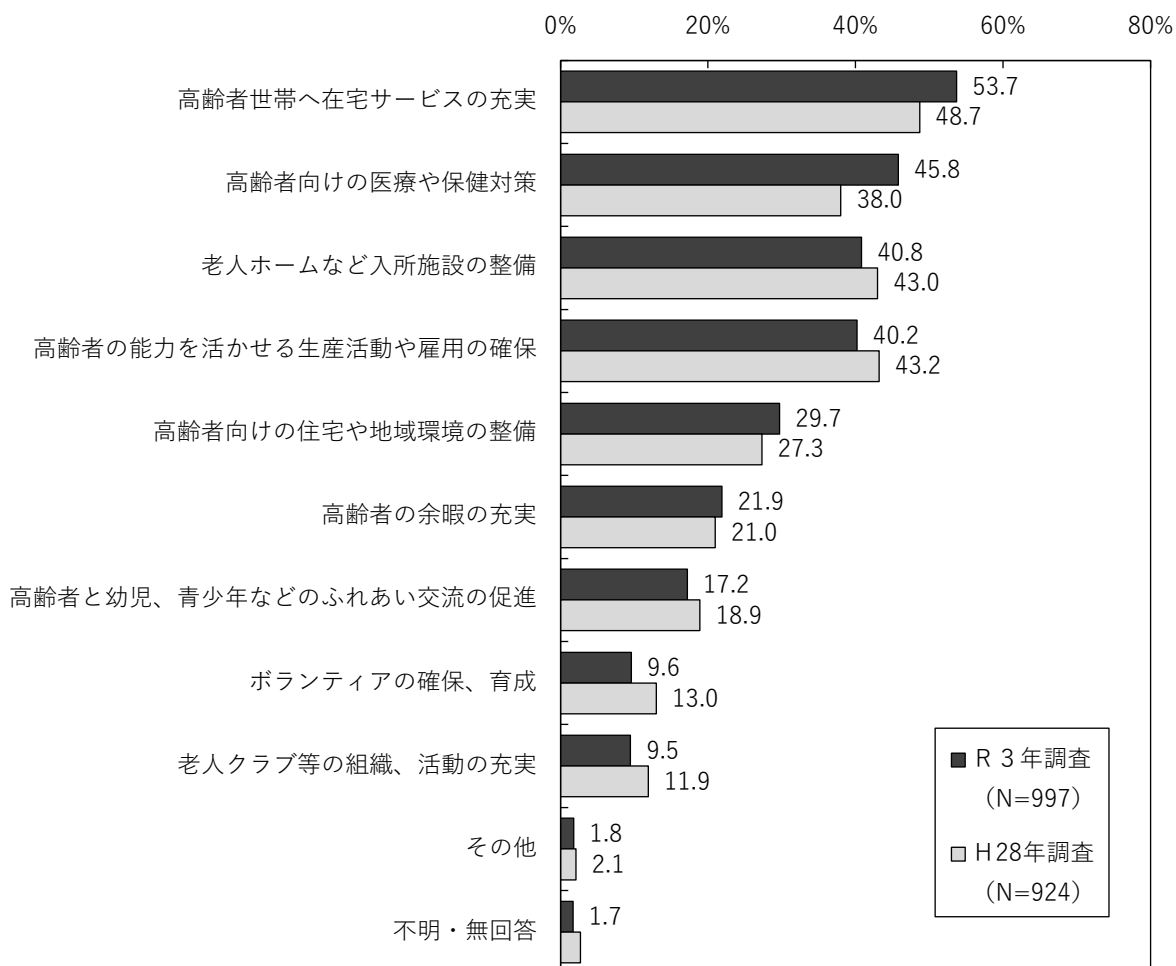
回答	件数
子育て世代の交流だけでなく、そこに親が子育てについて学べる、あるいは悩みを相談できる仕組みがあると思います	1
高校への通学費助成、公営塾など教育環境の充実	1
里帰り出産の支援	1
中学生の遠い場所のバス通学	1
家族（祖父母）との交流、助け、会話	1

子供の将来の活動への支援	1
安心して遊べる場所はもちろんいいと思うが、田舎で住んでいるからこそ、昔ながらの山や田んぼ、川での遊びがいいかなと思う	1
子供の将来の活動への支援	1
老人だが子供は国の宝です	1
病児保育	1
町内に小児科の設立	1
保育士に対する手当	1
子育て支援する前に、紀美野町で子どもを産んでもらえるようにしてほしい	1
親教育。支援しすぎないようにする。自立できない。	1
親のモラル向上・教育、社会生活の常識を教育	1
働いていない母親が毎日保育所へ預けるのはおかしい。そんな人間のために保育所はあるんですか？	1

(11) 高齢者の福祉と生きがいを高めていくために今後力を注ぐべきこと〈複数回答〉

〔問 25 高齢者の福祉と生きがいを高めていくために、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。〕

高齢者の福祉と生きがいを高めていくために今後力を注ぐべきことについてみると、「高齢者世帯へ在宅サービスの充実」が53.7%で最も多く、次いで「高齢者向けの衣料や保健対策」が45.8%、「老人ホームなど入所施設の整備」が40.8%となっています。前回調査と比べると、「高齢者世帯へ在宅サービスの充実」「高齢者向けの衣料や保健対策」がやや増加しています。



■その他回答

回答	件数
(病院・買い物への) 交通手段の充実	2
自力で生活できるように、コミュニティバスをオークワ・コメリ・セイムズあたりまで乗っていけるようにしてほしい	1
容易に買い物ができる環境	1
家族との交流	1
地域で社会参加できるようなコミュニティづくり	1
生きがいは自分でさがすもの	1

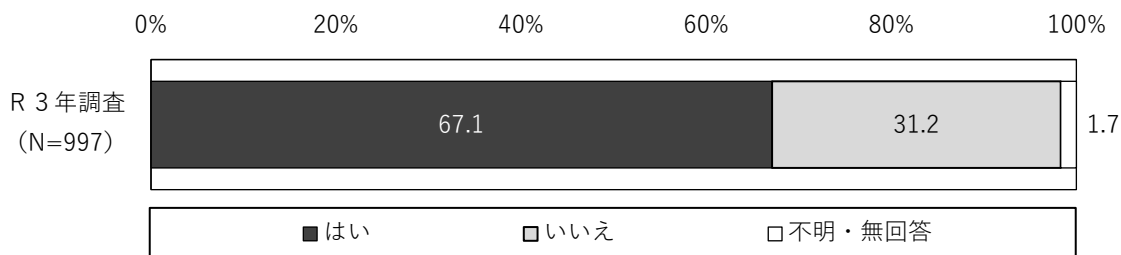
生涯教育に関心を持っていただく機会を増やせるのも良いかと思います。ご高齢の方に限らず若いうちから。	1
高齢者の身体機能に合わせたジムや脳トレできるようなジムがあってもいいのでは？ 高齢者専用の身体的脳トレ的ジム、銭湯付き	1
健康寿命を延ばしていけるような意識改革や取り組み	1
年をとっても健康でいられるように、スポーツや体操を日常的に生活に取り入れるのが当たり前、という意識を啓発することが大事	1
安価で入所できる老人ホーム整備	1
3世代同居の促進	1
老人ホームのスタッフの車の運転が酷い。迷惑	1
力入れすぎ	1

4. 防災の取り組みについて

(1) ハザードマップの閲覧状況

〔問 26 平成 31 年に土砂災害ハザードマップ、令和 2 年に洪水ハザードマップを全世帯にお配りしていますが、ご覧になりましたか。(1つに○)〕

全世帯に配布された土砂災害ハザードマップ、洪水ハザードマップを見たかどうかについては、「はい」が 67.1%、「いいえ」が 31.2%となっており、約 3 割が配布されたハザードマップを見ていないと回答しています。

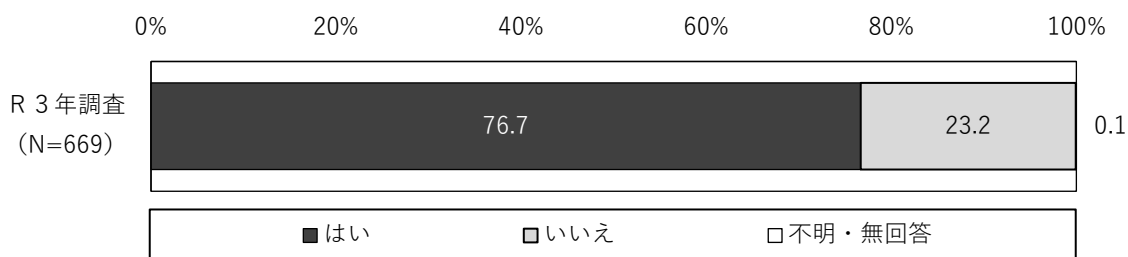


ハザードマップを見た人 (問 26 で「はい」を選択)

(2) 災害時の避難行動の確認について

〔問 27 問 26 で「はい」と答えた方にお聞きます。災害時に自身の避難行動をハザードマップで確認したことがありますか。(1つに○)〕

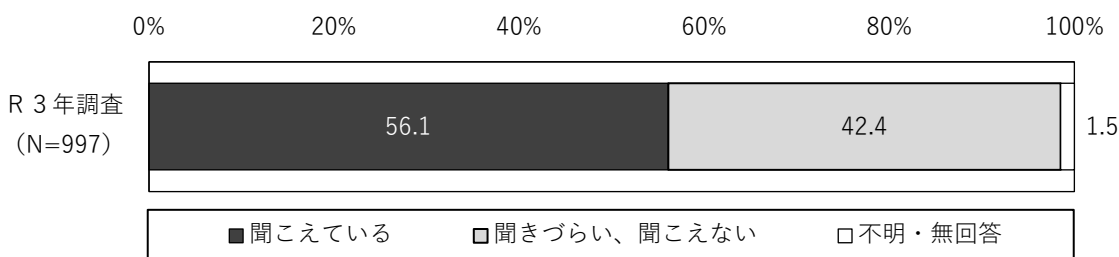
ハザードマップを見た人が、災害時に自身の避難行動をハザードマップで確認したかどうかについては、「はい」が 76.7%、「いいえ」が 23.2%となっています。



(3) 防災行政無線の受信状況

〔問 28 令和 2 年に防災行政無線をデジタル化し放送していますが、放送内容について聞き取れますか。(1つに○)〕

デジタル化されて放送している防災行政無線の放送内容を聞き取れるかどうかについては、「聞こえている」が56.1%、「聞きづらい、聞こえない」が42.4%となっています。

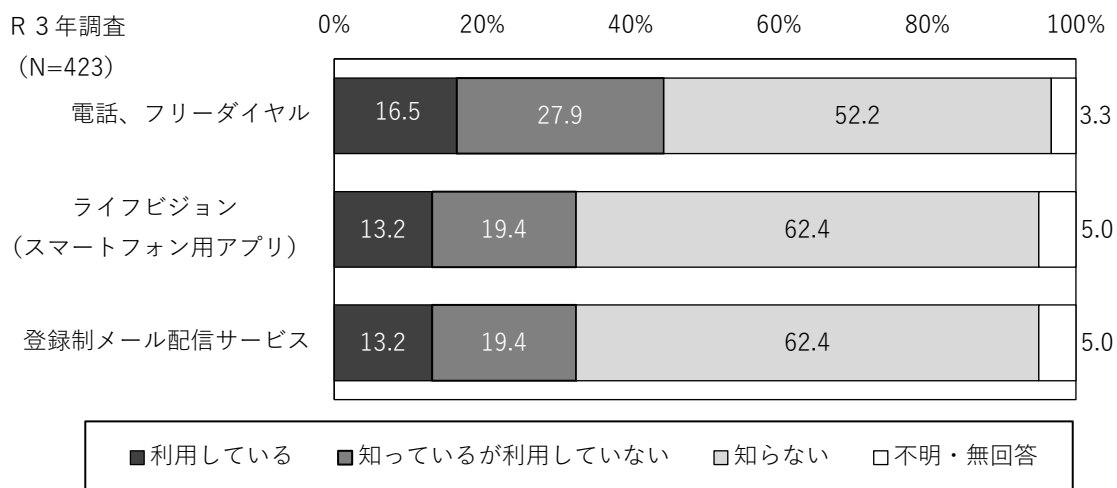


防災行政無線が聞きづらい、聞こえない人 (問 28 で「聞きづらい、聞こえない」を選択)

(4) 防災行政無線の内容確認手段の利用状況

〔問 28 で「聞きづらい、聞こえない」と答えた方にお聞きします。町では聞き取りにくい方のために放送内容を確認する方法を下記のとおり用意しています。それぞれあてはまるものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。〕

防災行政無線が聞きづらい、聞こえない人の、放送内容を確認する方法の利用状況については、「利用している」が最も多いのが「電話、フリーダイヤル」の16.5%となっています。いずれの手段も「利用している」は10%台にとどまっております、「知らない」が半数を超えています。

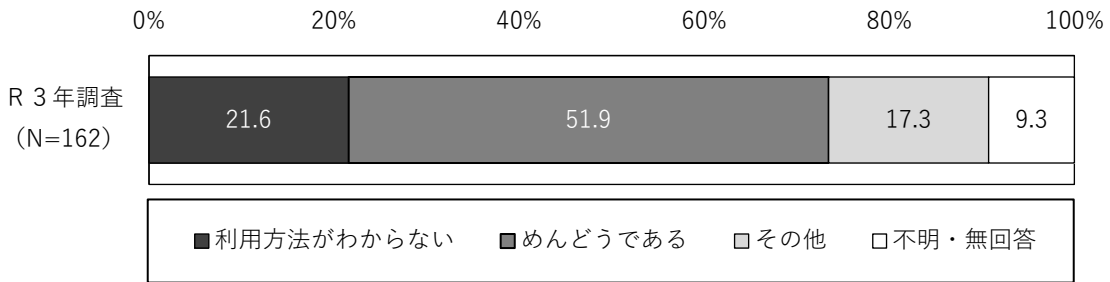


防災行政無線の放送内容を確認する手段を知っているが利用していない人（問 29 で「知っているが利用していない」を選択）

（５）防災行政無線の内容確認手段を利用していない理由

〔問 30 問 29 で「聞き取りにくい方のために放送内容を確認する方法」を「知っているが利用していない」と答えた方にお聞きします。利用していない理由は何ですか。（1つに○）〕

防災行政無線が聞きづらい、聞こえない人の、放送内容を確認する方法を利用していない理由については、「めんどうである」が51.9%で最も多く、次いで「利用方法がわからない」が21.6%となっています。



■その他回答

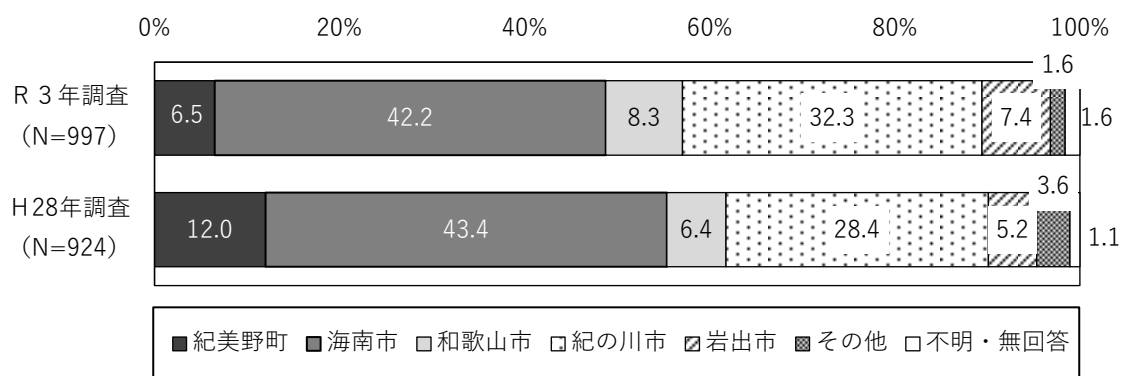
回答	件数
他の方法（メール・アプリ等）を利用している	5
パソコン・スマートフォンなど所有していない	2
繋がらない、繋がりにくいことがある	3
テレビ等で確認している	2
必要がない、必要性を感じない	2
必要なら紀美野町役場ネットで見ると	1
内容によって、必要であれば何度も放送を聞いて確かめる	1
はっきり聞こえないが、大体わかるので	1
窓を開けると何とか聞こえるため	1
家族が聞いてくれるから	1
最近知ったばかりで、利用まで至っていない	1
あまり重要でない事が多い	1
何の放送かわからない	1
いちいち見ない	1
高齢者には無理がありそう。できる人、できない人があるから	1
耳が不自由	1

5. 回答者自身の活動や生活状況について

(1) 日常の買い物をする場所

〔問 31 あなたが主に日常の買い物をされる場所はどこですか。(1つに○)〕

日常の買い物をする場所については、「海南市」が42.2%で最も多く、次いで「紀の川市」が32.3%となっています。前回調査と比べると、「紀美野町」が減少しています。



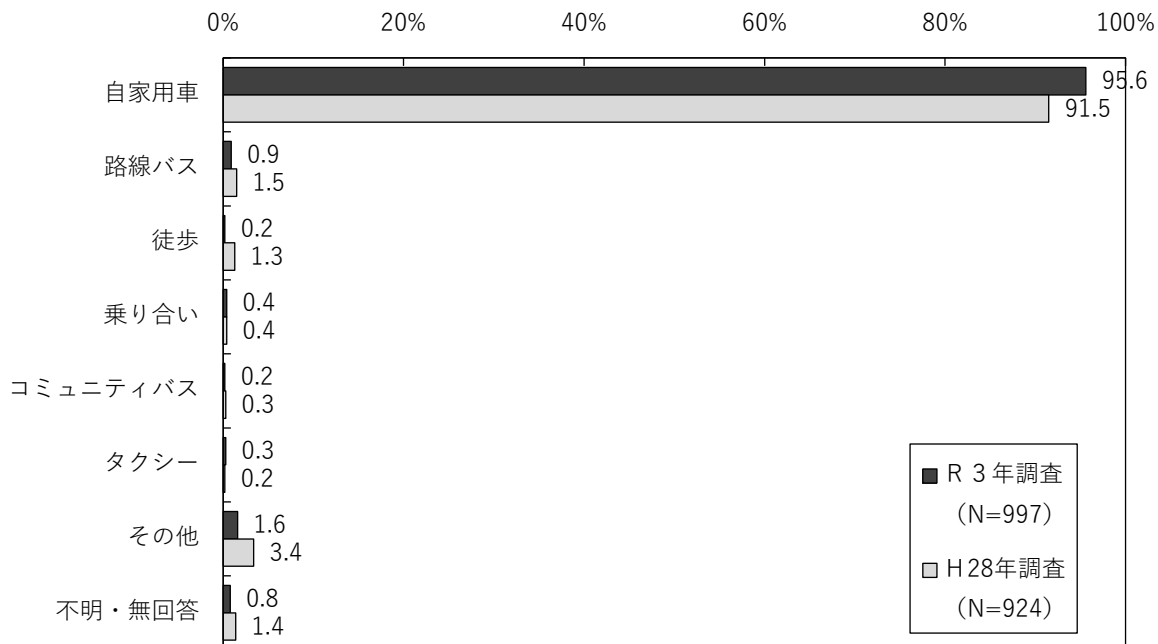
■その他回答

回答	件数
かつらぎ町	7
貴志川町	2
橋本市	2
海南市、紀の川市、岩出市を同程度	2
インターネット	2
大阪	1
移動販売	1
日常の買い物はしない	1

(2) 買い物に行く際の交通手段

〔問 32 日常の買い物に行く場合の交通手段は主に何ですか。(1つに○)〕

買い物に行く場合の交通手段については、「自家用車」が 95.6%で最も多くなっています。前回調査と比べると、回答数は少ないですが、「路線バス」「徒歩」「その他」が減少し、「自家用車」が増加しています。



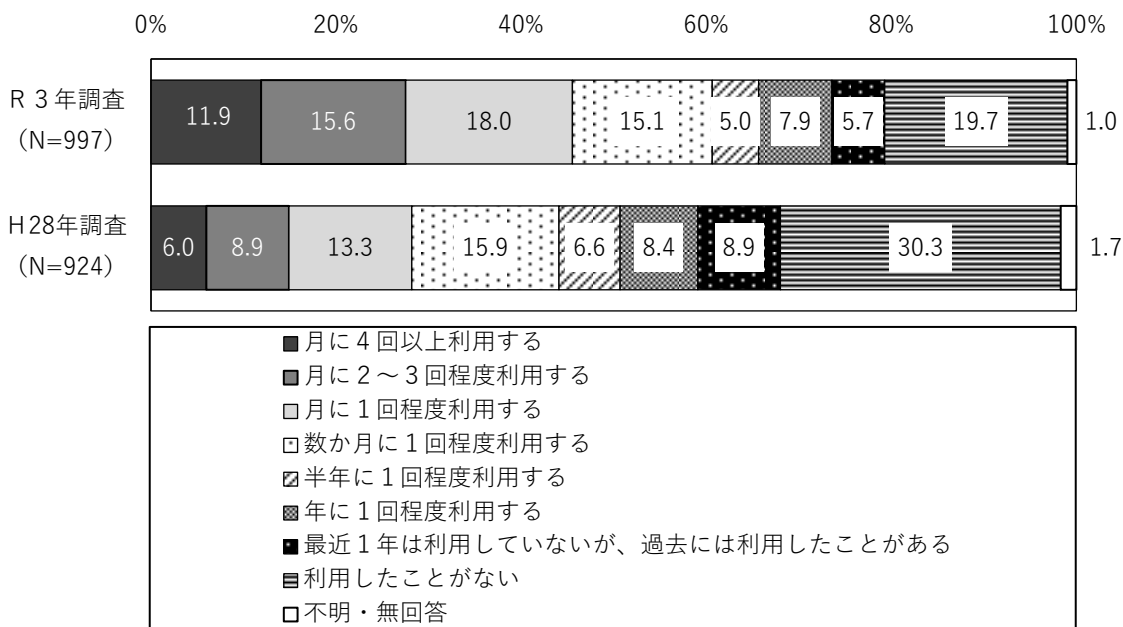
■その他回答

回答	件数
バイク・原付	7
自転車	6
買物に行かない	1

(3) 買い物で通販やインターネットを利用する頻度

〔問 33 日常の買い物をするときに、通販やインターネットを利用しますか。(1つに○)〕

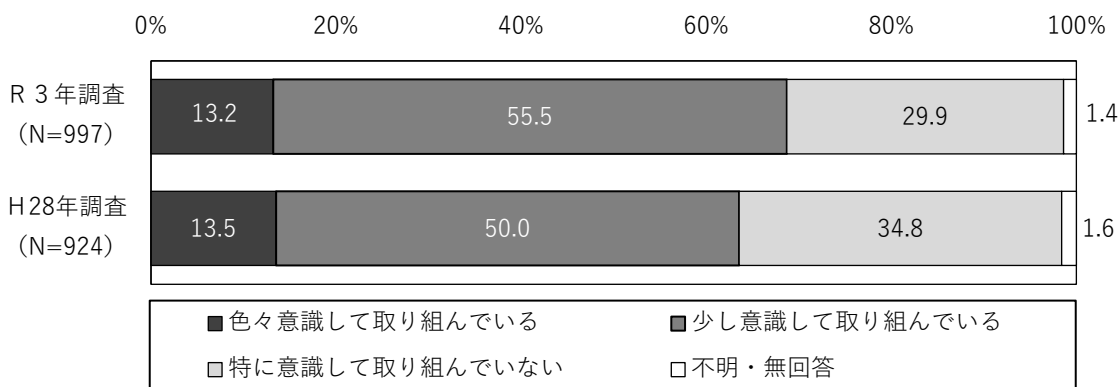
買い物で通販やインターネットを利用する頻度については、「利用したことがない」が 19.7%で最も多く、次いで「月に1回程度利用する」が 18.0%となっています。前回調査と比べると、「利用したことがない」が減少し、月に1回以上利用する人が増加しています。



(4) 環境を守るための日常生活の中での意識

〔問 34 あなたは、環境を守るため、日常生活の中で何か意識して取り組んでいますか。(1つに○)〕

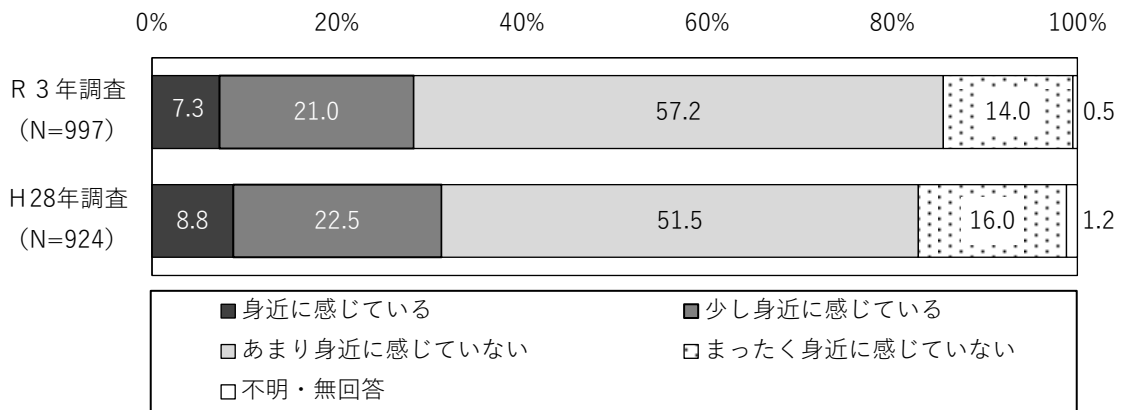
環境を守るために日常生活の中で意識して取り組んでいるかどうかについては、「少し意識して取り組んでいる」が 55.5%で最も多く、次いで「特に意識して取り組んでいない」が 29.9%となっています。前回調査と比べると、意識して取り組んでいる人がやや増加しています。



(5) 紀美野町の歴史や文化への感じ方

〔問 35 あなたは、紀美野町の歴史や文化を身近に感じていますか。(1つに○)〕

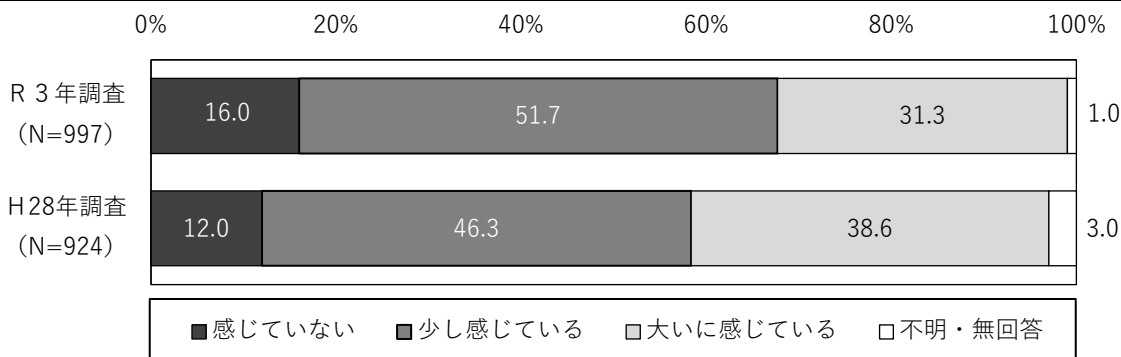
紀美野町の歴史や文化を身近に感じているかどうかについては、「あまり身近に感じていない」が57.2%で最も多く、次いで「少し身近に感じている」が21.0%となっています。前回調査と比べると、「あまり身近に感じていない」がやや増加し、身近に感じているという人がやや減少しています。



(6) 老後の不安

〔問 36 あなたは老後（または現在の生活）に不安を感じていますか。（1つに○）〕

老後（または現在の生活）に不安を感じているかについては、「少し感じている」が51.7%、「大いに感じている」が31.3%になっており、8割以上の回答者が老後に不安を感じています。

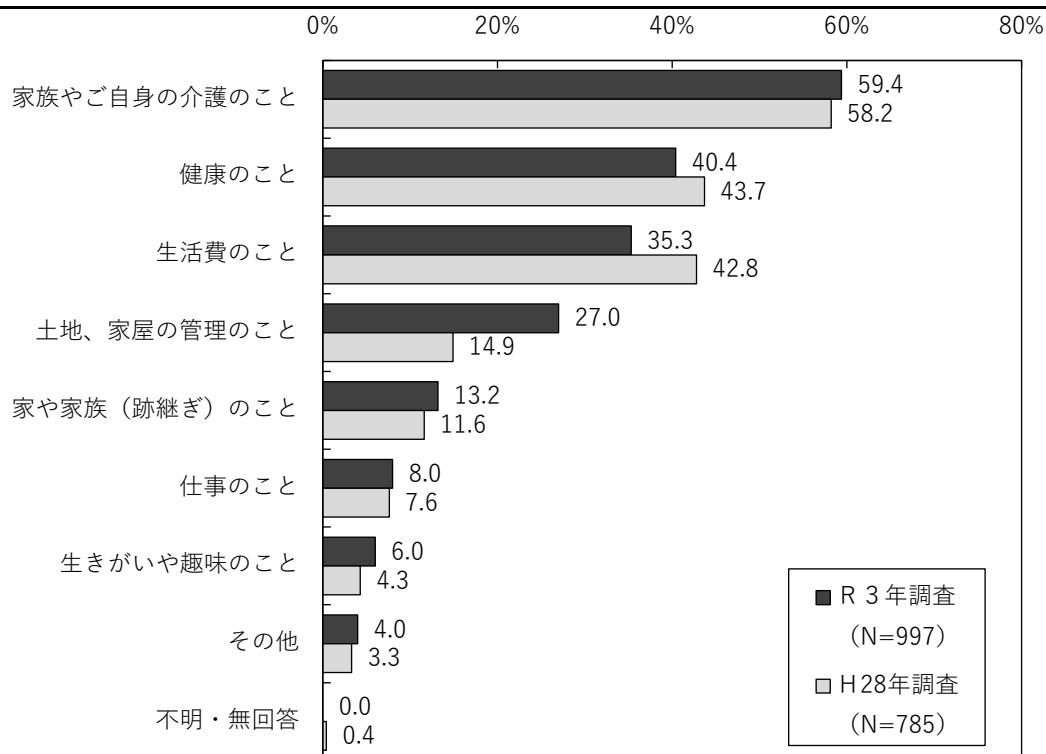


老後（または現在の生活）に不安を感じている人（問 36 で「少し感じている」「大いに感じている」を選択）

(7) 老後の生活で不安に思うこと〈複数回答〉

〔問 37 老後の不安を感じていると答えた方にお聞きします。どのようなことを不安に思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。〕

老後の生活で不安に思うことについては、「家族やご自身の介護のこと」が59.4%で最も多く、次いで「健康のこと」が40.4%、「生活費のこと」が35.3%となっています。前回調査と比べると、「土地、家屋の管理のこと」が増加し、「生活費のこと」がやや減少しています。



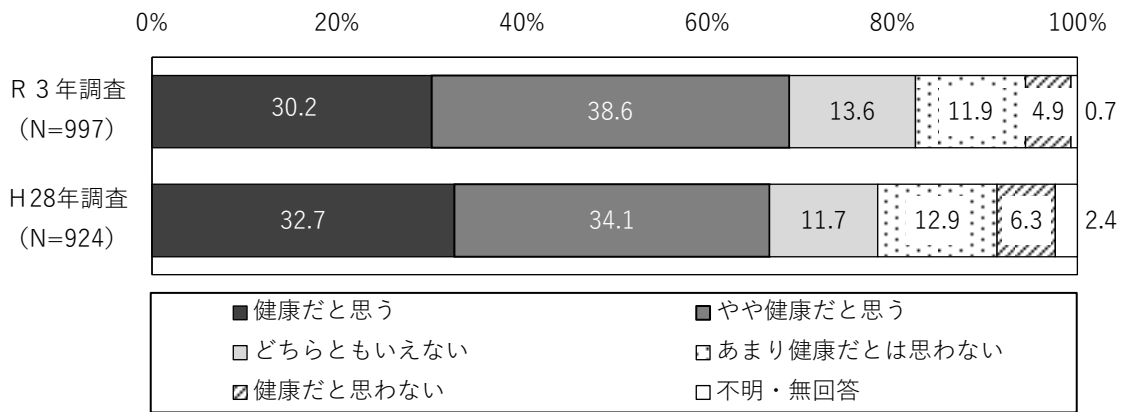
■その他回答

回答	件数
移動手段・交通手段	10
車に乗れなくなった時の交通手段、生活困難	6
車（自家用車・免許）がないと生活できない	6
買い物・生活必需品の入手	4
自然災害	1
生活環境	1
年金がどれだけあるのか	1
孤独死	1
年金がどれだけあるのか	1
孤独死	1
結婚できないと、一人で老いていくという不安	1
猪だらけになっていそう	1

(8) 健康状態

〔問 38 あなたは、自分自身が健康だと感じていますか。(1つに○)〕

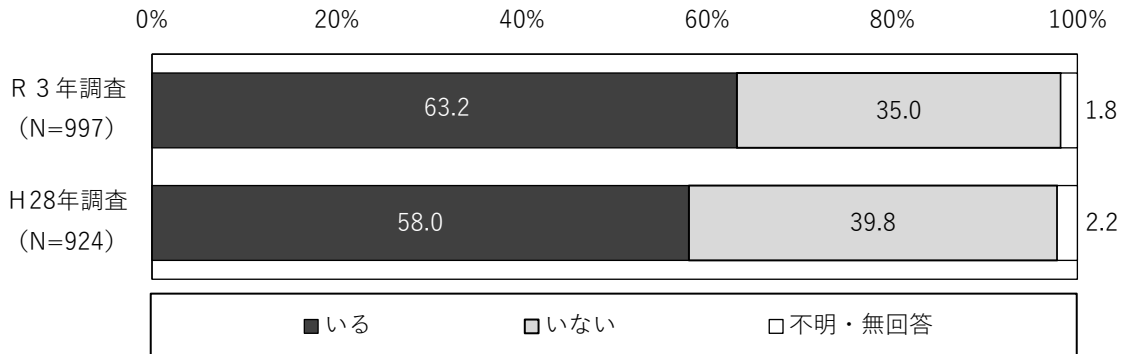
自分自身が健康だと感じているかについては、「やや健康だと思う」が 38.6%で最も多く、次いで「健康だと思う」が 30.2%となっています。



(9) かかりつけ医の有無

〔問 39 あなたは、現在、身近にかかりつけ医はいますか。(1つに○)〕

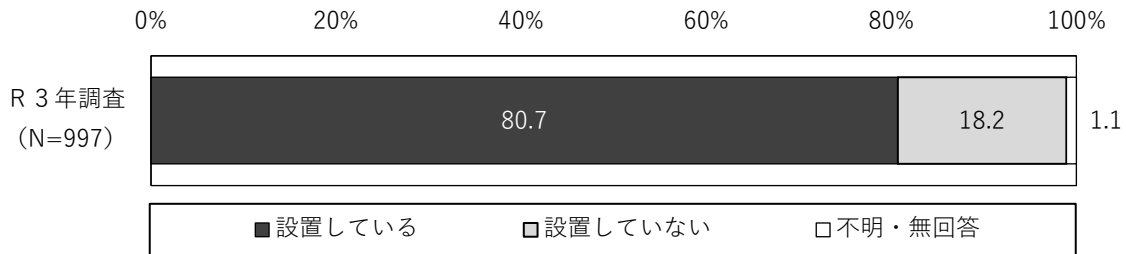
かかりつけ医の有無については、「いる」が 63.2%、「いない」が 35.0%となっています。



(10) 住宅用火災警報器の設置状況

〔問 40 お住いの住宅に住宅用火災警報器は設置されていますか。(1つに○)〕

自宅に住宅用火災報知機を設置しているかどうかについては、「設置している」が80.7%、「設置していない」が18.2%となっています。

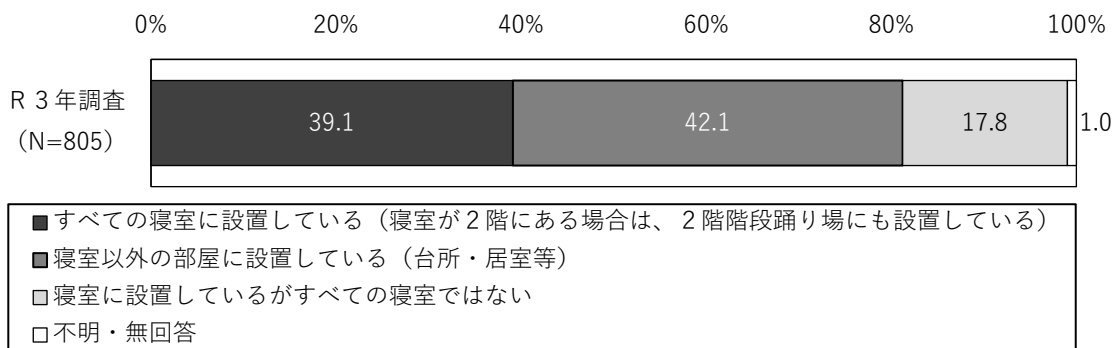


住宅用火災報知機を設置している人 (問 40 で「設置している」を選択)

(10) 住宅用火災警報器の設置場所

〔問 41 問 40 で「設置している」と答えた方にお聞きします。設置している場所はどこですか。(1つに○)〕

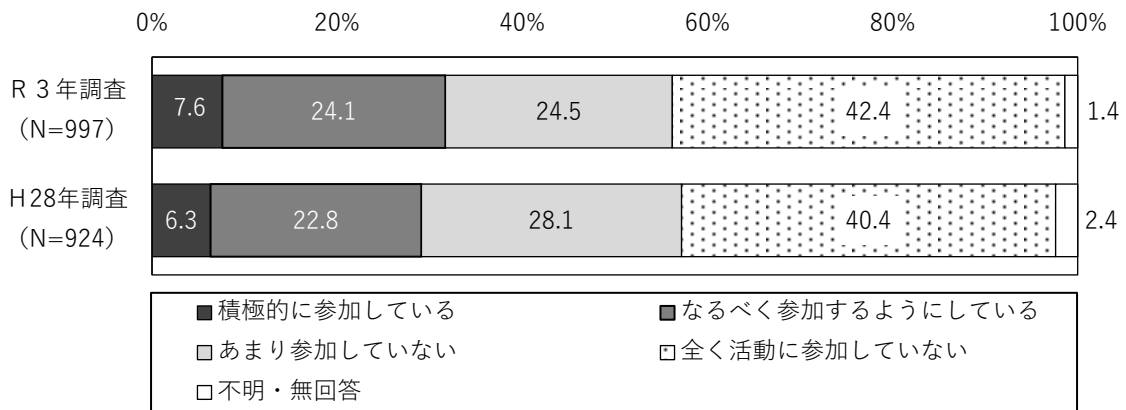
自宅に住宅用火災報知機を設置している人の設置場所については、「すべての寝室に設置している (寝室が2階にある場合は、2階階段踊り場にも設置している)」が39.1%、「寝室以外の部屋に設置している (台所・居室等)」が42.1%となっています。



(11) まちづくり活動への参加状況

〔問 42 あなたは、自治会活動、NPO、ボランティアなどのまちづくり活動に参加していますか。
(1つに○)〕

自治会活動、NPO、ボランティアなどのまちづくり活動への参加状況は、「全く活動に参加していない」が42.4%で最も多く、次いで「あまり参加していない」が24.5%、「なるべく参加するようにしている」が24.1%となっています。



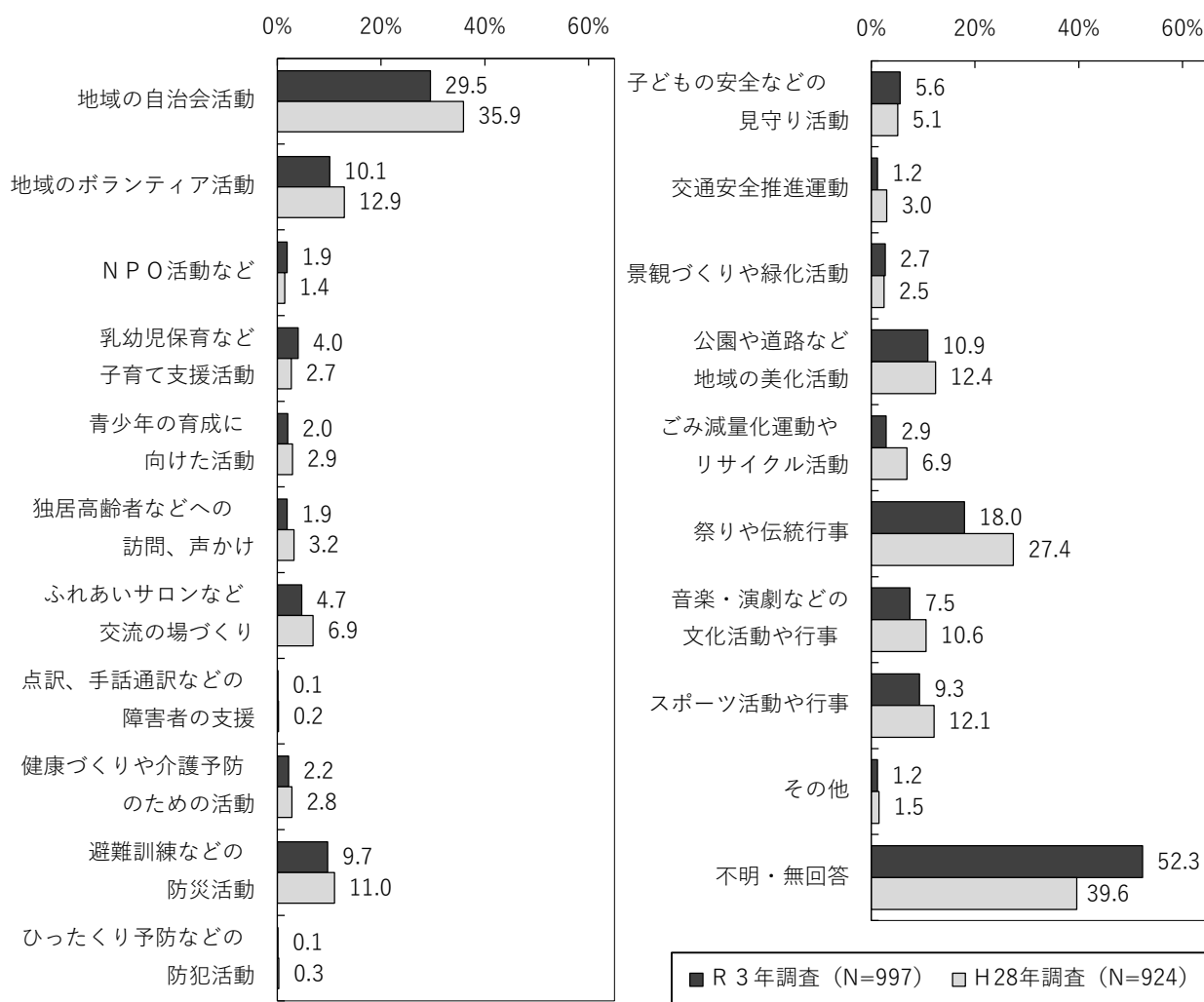
(12) 最近1年間に参加したことがある活動と今後参加してみたい活動〈複数回答〉

〔問 43 あなたが最近1年間に参加したことがある活動はどれですか。また、今後参加してみたい活動はどれですか。あてはまる番号すべてを以下にご記入ください。〕

参加したことがある活動については、「地域の自治会活動」が29.5%で最も多く、次いで「祭りや伝統行事」が18.0%となっています。前回調査と比べると、回答が減少している項目が多い一方で、「不明・無回答」が増加しており、いずれの活動にも参加していない人が増加していることがうかがえます。参加したことがある活動の減少には、新型コロナウイルス感染症対策の影響も考えられます。

今後参加してみたい活動については、「祭りや伝統行事」が13.6%で最も多く、次いで「音楽・演劇などの文化活動や行事」が11.6%となっています。前回調査と比べると、「不明・無回答」が増加しており、参加してみたい活動のない人が増加していることがうかがえます。

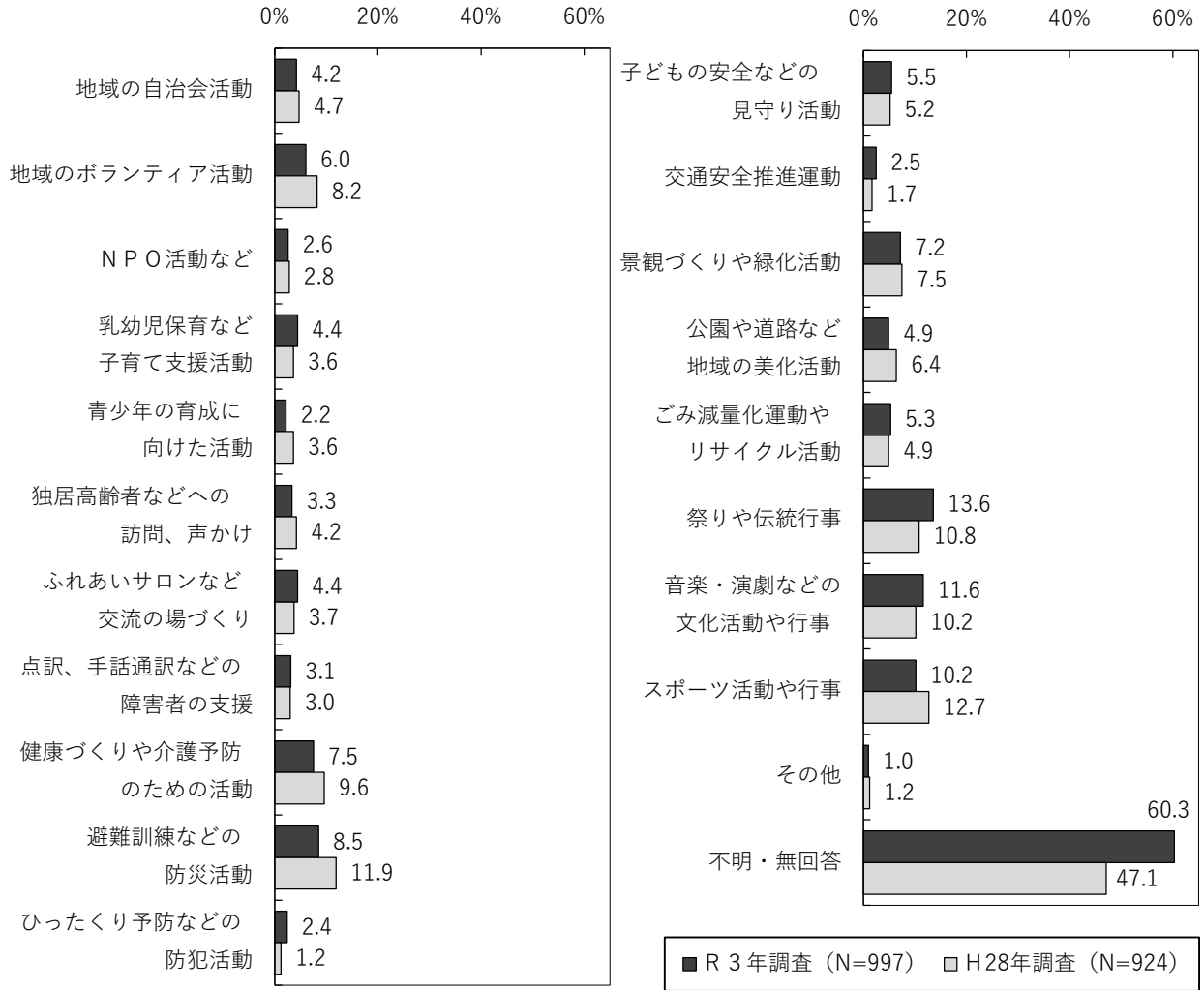
■参加したことがある活動



■その他回答

回答	件数	回答	件数
デイグループ (障害者)	1	JA 部会の活動	1
きみのアーティスト	1	外来生物捕獲・駆除	1
消防団	1	まごころ弁当	1
地区内の道づくりや祭り事の手伝い	1	コロナ等で1年間にはない	1

■ 今後参加してみたい活動



■ その他回答

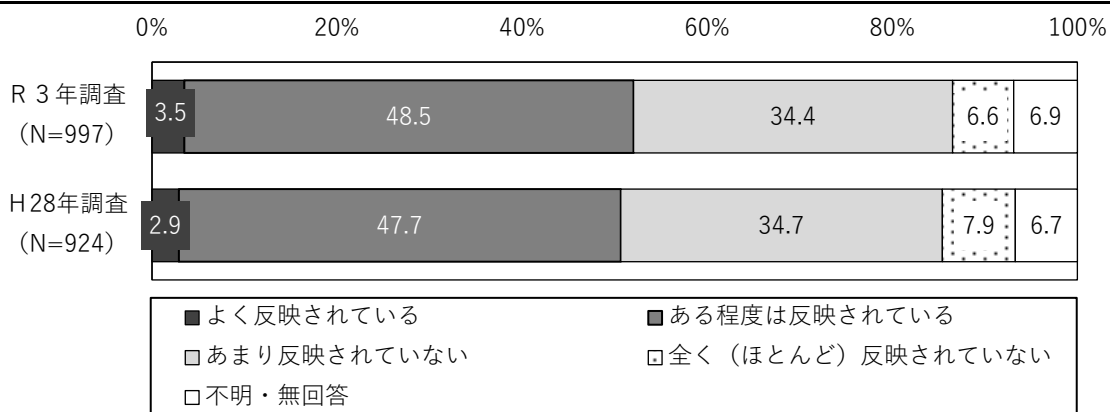
回答	件数
デイグループ（障害者）	1
救急（心臓マッサージの仕方など）	1
外来生物捕獲・駆除	1
エホバの証人の宗教奉仕活動	1

6. 紀美野町政全体について

(1) 町民の意向の町政（まちづくり）への反映

〔問 44 あなたは、町民の意向が町政（まちづくり）にどの程度反映されているとお感じですか。
（1つに○）〕

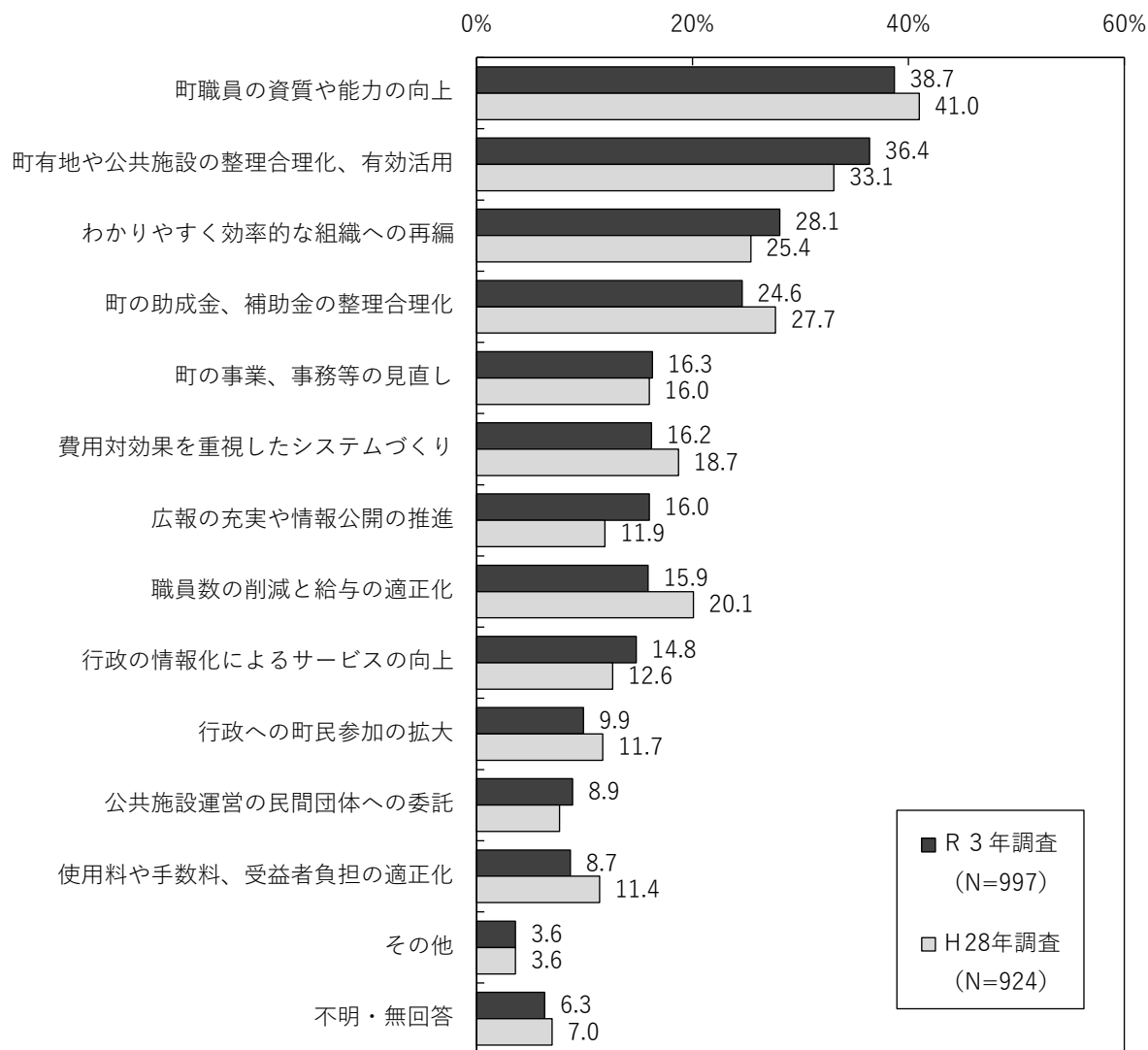
町民の意向が町政（まちづくり）に反映されているかについては、「ある程度は反映されている」が48.5%で最も多く、次いで「あまり反映されていない」が34.4%となっています。



(2) 紀美野町の行政運営を改革していくうえで重点をおくべき項目〈複数回答〉

〔問 45 あなたは、紀美野町の行政運営を改革していくうえで、重点をおくべき項目は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで、番号に○をつけてください。〕

紀美野町の行政運営を改革していくうえで重点をおくべき項目についてみると、「町職員の資質や能力の向上」が38.7%で最も多く、次いで「町有地や公共施設の整理合理化、有効活用」が36.4%となっています。前回調査から大きな変動はありませんが、「広報の充実や情報公開の推進」がやや増加し、「職員数の削減と給与の適正化」がやや減少しています。



■その他回答

回答	件数
町議会の議員定数見直し、削減	3
届出や申請などの書類の簡素化促進、住民の負担・時間を軽減	1
子育て支援の充実、学童保育	1
もっと公園をつくったり、道路の整備などをして、家が建てられるように土地を確保していく。子育てしやすい環境を作って、人を集めること	1

移住移民・難民受け入れ体制構築	1
下水道の整備	1
空き家・空地、道路整備	1
スーパーやコンビニを美里方面に増やす	1
旧美里側にも公園などの施設を作してほしい	1
地域間の公平性	1
中学生の遠い場所のバス通学	1
スポーツ公園体育館を直してほしい。壁ボロボロ。使い方悪い団体を指導してほしい	1
デジタル化	1
今後 20 年程度先までの財政収支の健全化	1
ダンプカーの往来による道路の悪化や泥はね被害を防ぐため、ダンプカー用の道を整備すべき	1
行政運営（特に窓口業務）に、民間業者（特に派遣）を入れるのはやめていただきたい	1
紀美野町に適した条例の制定	1
町外に PR する「力」と、町外の知恵を収集、活用できる「体質」を身につけていくこと	1
保守的ではない考え方	1
お金の使い方を勉強してほしい	1
新卒の採用活動	1
現在の努力を維持して続けていただければと考えます	1
役場の人たちはいつも親切です。ありがとうございます。	1
行政運営については勉強不足で答えられません	1
町職員のボランティアへの参加	1
仕事の出来ない（やる気が無い）職員の減給、降格、退職勧告	1
町職員は紀美野町在住のこと！給与削減はせずに、積極的に町民が潤う行政アイデアを出し、推進するように！	1
町会議員の基礎人間教育の向上のための教育	1
町会議員のレベルアップ	1

(3) 町が取り組むべき改革についての意見〈自由回答〉

〔問 46 人口が減少する中、持続可能な行政運営（まちづくり）を進めるために、様々な分野で見直しを進める必要が出てくると考えられます。必要性が低いと感じられる制度や施設の廃止など、町が取り組むべき改革についてご意見があればお書きください。〕

紀美野町が取り組むべき改革について、自由回答形式で計 245 件の意見がありました。主な意見は以下の通りです。

■①町内の施設について【50 件】

複数意見の集約	件数
町の魅力・特色を示す施設の整備	5
かじか荘の運営の見直し	5
町役場の統合・支所の廃止	5
生徒数の少ない学校の統廃合	4
天文台の運営の見直し	4
休校・廃校となっている学校施設の有効活用	3
学校の統廃合の見直し	3
施設経費の見直し、削減	3
既存施設の再利用・有効活用	3
主な意見	
持続困難な施設も出てくると思うが、他の町にない施設(天文台やみさとホール等)は、他の町との差別化のためにも残し、素晴らしい施設があることを対外的にもアピールして、少しでも存続可能な施設にしてほしい。	
休校になっている学校を利用できるようにすればよい。古き良き建物も多く、上手く二次利用できれば、人が集まる施設に生まれ変わる	
みさと天文台が学術的な意味で重要であったとしても、年間費用を考えると収益を上げるべき宣伝等が必要	
議会報告誌等に「道の駅」構想について載っているが、新しく作るより「ふれ合い公園内の売店、かじか荘、山の家おいしの売店」を今より一層に投資する方がよい。かじか荘の下の川辺は水もきれいで、夏場だけ川床を作り料理を提供してはどうか	
新しいものを創り出すことよりも、今あるものをどうするか考えることが大切。町営住宅も新しく建てるより古民家や空き家をリノベーションするなど。	
施設の老朽化などで利用できないのならば、廃止するのではなく、利用しやすくして地域の拠点になるようにしてほしい	

■②町行政のあり方について【32 件】

複数意見の集約	件数
町会議員の仕事の見直し・定数削減	10
町職員の資質向上	5

町職員の削減	3
町職員の町内居住	3
主な意見	
町の人口から考えて、町議員の数が多い。積極的に具体的な取り組み内容を書面で示している党もあるが、他の議員はどのような活動をしているのかわからない。シェイプアップする必要があると考える	
優秀な町職員の育成について、定員の見直しは当然で、優秀な人材確保する。特に課長級の人材が不足している。課長がしっかりすれば部下も育成し、町行政も活性化する。	
町内の制度や施設はあまり把握していない。まちづくりを進めるために、地域づくりをよくしていかなければならない。町職員に制度を質問しても、相談にのってもらえない時がある。職員の資質の向上や町民の生活をよく知ってほしい。	
団体補助金を廃止にする、使っていない施設や土地が借地の場合は返却、夏まつり等のイベントは辞める、総花的な施策ではなく、一つに集中する	
新たな定住者が流出するのを防ぐためにも、すでにあるようなコンビニでの住民票の発行といった行政のIT化を進めるべきである。本アンケートも Web から回答できて助かった。	
人口減に見合った効率的な運営により、質の高い小さな町づくりビジョンを進めてほしい。町政にお金がかかると意識を改め、町民個人個人が課題と思っていることを掘り下げていく取り組み（ボトムアップ）が必要で、世代が変わっていく時代に新しい発想で「住民が楽しく暮らせる町」を目指すことが未来に繋がると考える	
御祝・表彰は、町や人の為に尽力した人が対象であり、自分や家族のために頑張り、長寿した人への祝は不要。敬老会は、高額で歌手を呼び実施や祝の品について、考え直す必要がある。	

■③人口問題や若者の定住について【24件】

複数意見の集約	件数
若者の住みよいまちづくりの推進	6
子どもの教育や体験活動の充実	4
合併・廃止に伴う人口減少の問題	2
主な意見	
人口増加を目的とした大胆な施策を打ち出すか、少ない人口でも生産性のある施策を実施することはできないか。もっと若い人が声を挙げて活動していけるような町づくりがよい	
海南市や岩出市へも近く、住宅地の整備を行いベッドタウンとして住みやすい環境を整え、若い世代が住みよい町として取り組むべきだ	
紀美野町の今と昔の違いを感じる。高齢化が進むのは仕方が無いが、これほどまでに若い世代が少なくなるとは思っていなかった。子どもの頃に紀美野町で育ったことを誇らしく思っていると、若い時に街中に出て帰って来ると思う。減少するばかりの子ども数だが、いろいろな体験をさせてあげる企画があってもよいと思う	
人口減少を食い止めるべく、空き家や空き地の利用を行い、町外からの定住を支援する。保育所の利用をはじめ、高校までの医療費無料や中学までの給食費無料など、子育て世代にやさしい町であることをアピールすべき。引き続き小中学校の学力向上にも取り組んでほしい。	

廃止することばかり考えずに、人口を増やすことを考えてほしい。減少するからと色んなことを無くしていくと、余計に人口が減る。
人口が減少するのは出生率が低い上に死亡する人が多いから仕方がない。まずは税金の無駄遣いを無くし、町民への負担を少なくするようにしてほしい
人口減少対策も大事だが、コロナ禍で自然や田舎暮らしを考える人も増えている。紀美野町の福祉・教育・医療の充実を他府県にアピールし、移住支援を積極的に取り組んでほしい。

■④福祉・医療（子育て支援・高齢者支援）について【23件】

複数意見の集約	件数
子育て支援の充実	6
高齢者福祉の充実	4
主な意見	
若い世代の定住を促すためにも、子育てしやすい環境整備に取り組むべき。具体的には、共働き夫婦のサポート（3歳～12歳の子ども）、学童や延長保育などは手厚いと感じているので、維持を願う。習い事や学校（保育園）への送迎サポート（紀の川市のそらまめサポートのような制度づくり）。共働きゆえに、興味のある習い事に参加できない、学習や経験格差があってはならない。有料でもサービスを利用したい	
子育て支援に関して保育料や医療費無料はよいが、支援のばら撒きに見えてしまう。何でも無料は有効な施策とは思えない。長い目で見て、未来の町が繁栄しているような地域に根を張る施策があればよい	
ひとり親世帯が多いのに、収入により制限が多い。子ども数が多い家庭では子育てが大変なのに、収入だけで判断しないでほしい	
国は在宅介護を推奨するが、ヘルパーに常時見てもらえるわけでない。若い人は共働きで子どもを育てるしかなく、親の介護どころではない。紀美野町には公共の老人ホームは一つしかなく、その施設も古くなってきた。各市町から負担してもらい、快適に過ごせるようにしてほしい	
今いる町民だけに意見を聞いても、持続可能なまちづくりは不可能に近い。例えば、高齢者向けサービス等の事業はニーズに対してかかる時間等の負担があり、地域住民が主体となって行うべき。	
これから紀美野町は今以上に高齢化が進んでいく。住み慣れた町で最期を過ごせるように福祉関係に力を入れて行くべきではないか。また家族を介護する人もいる。そんな方に働きやすい環境が必要ではないか。	
平均寿命でなく健康寿命を延ばし、個人が自立した生活を送ることが重要	
町の医療検診は休日開催が殆どで、参加できない	

■⑤産業・就労について【19件】

複数意見の集約	件数
若者の働く場の確保	7
企業誘致の推進	6
農業、関連産業の充実	5

主な意見
道路整備は充実してきているので、若者が働きやすい場所（企業誘致等）を積極的に提供してほしい。そのことにより、若者の定住・子育てしやすさに繋がる
少子高齢化が進む中、高齢者を優先した施策よりも、将来を担う 20 代～50 代の現役世代が住み続けられるまちづくりを行うべき。企業誘致などで使われていない土地や施設を有効活用し、町内での雇用を増やすなどしなければ、紀美野町はそのうち高齢者ばかりの町になると思う。
就職先が無いために、若い人は他県へ出て行く。農業体験型のリーダーを育成し、自然を活かす若者が活動しやすい町にしてほしい。働く場が無い
景観保護に力を入れ、商業を盛り上げ就労できる場所の増加を目指すべき
定年後の雇用（役場関係）を辞め、若者が紀美野町で働けるようにする。生活が安定できる条件を提示し、若者が希望を持って留まる町になってほしい

■⑥道路・交通手段について【19件】

複数意見の集約	件数
コミュニティバス、公共バスの見直し・充実	9
道路の整備	4
カーブミラーや「対向車に注意」の看板の設置	2
主な意見	
道路の整備、交通機関の充実。主要な場所は十分だが、車幅が狭い所も多い。コミュニティバスもバス停まで遠く本数も少なく、利用しづらい。自分で運転ができなくなった時のことを考えると、通院や買い物の便利な場所へ転居するかもしれない	
コミュニティバスの利用者が減っている。利用の少ないルートはタクシー制に変更してほしい。高齢者はその日の体調により事前連絡は難しく、できるだけ意向に沿うようにしてほしい。タクシー券では制限もあり、幅広く活用できるように希望する	
バスによる交通機関の充実。運転免許証返納後、買い物や通院の手段を考えてほしい。充実すれば高齢者も運転免許証返納し、交通事故も減る	
平成大橋から山田ダムまでの道路整備がされているが、その先の整備がされていない。トンネルを開通させ、紀の川市の竹房橋へ出ることが出来れば、工場誘致などの施策もできるのではないか。	
職場や店、交通機関が不十分である。町を盛り上げるため、若者が興味を持つような店やイベントやボランティア活動があるとよい。交通機関が不十分なため、住民や観光客が不満に思う	
子ども達の通学路が危ない	

■⑦住環境について【14件】

複数意見の集約	件数
ダンプ・トラックの通行が多い	3
公園の整備	2
自然を生かしたまちづくり	2

主な意見
ダンプカーが多く、高齢者が怖がっている
自然豊かなで都会には無い素晴らしい場所で、商店があり生活に困らず、子育てしやすい町づくりが必要
ゴミの収集は地域によって異なり、名前を記入させるのはおかしい。毎日の生活に必要な活動を制限されると、住みにくさを感じて町外に出て行く人も増える。限りある町の税収で何が毎日の生活に繋がっているのかを考え、生活に関する取り組みについて役立ててほしい
道にゴミが増えている。年に1回の掃除する規模が小さくなっている。子どもから高齢者まで参加して掃除したい

■⑧住宅問題・空き家問題について【12件】

複数意見の集約	件数
老朽化した空き家の対策の必要	4
若者・家族向け住宅の整備	3
主な意見	
多数の空き家があり、雑草に覆われ崩れそうな家屋がある。町でも家主に積極的に問い合わせを行い、何らかの対策を早急に講じてほしい	
空き家・空地の管理を厳しくしてほしい。道路に瓦が落下し、危険な所がある	
家族で住むきれいなアパートや一軒家の賃貸が少ない。土地も売りに出ているところが少ない。結局、知り合いがいてないと家を建てていない。	
若い家族が安く住める町営住宅を建設し 若い世代を確保。	
人口を増やすことが大事だと思う。紀美野町に住んで良かったと思える町づくりを考えてほしい。若い人が家を建てた場合、10年間固定資産税を無しするなど、住みやすい場を作ってほしい	

■⑨住民参加・地域活動について【11件】

主な意見
働き盛りの人を含め、町民と意見交換する。みんなで町づくりできるとよい
町政にお金がかかるという意識を改め、町民個人個人が課題と思っていることを掘り下げていく取り組み（ボトムアップ）が必要で、世代が変わっていく時代に新しい発想で「住民が楽しく暮らせる町」を目指すことが未来に繋がると考える
住む場所に愛着を持っている人が多く、行政サービスの効率化を求めて提供場所や方法を集約しすぎるのはよくないと感じている。地域の人に行政サービスに地域住民を参加させる仕組みで、カバーできない部分のサービスを地域に任せることも必要かと思う。
町内の様々な団体が行なっている活動を、町民が知り、活動に参加していくことが必要かと。そのために、情報を集約した掲示板のようなものが整備されると、町内の活気も上がるのではないのでしょうか。

■⑩防災について【8件】

主な意見
防災無線が聞こえないのでアプリを入れているが、必要な情報が入ってこない。ホームページなどでわかりやすく、常にチェックできるアラームなどを入れてほしい
町内面積は広大で住宅は分散していることから、30年後を踏まえて、分散から地域集約により災害に強い町づくりをすることが、持続可能な町政に必要であると考えている
洪水ハザードマップの浸水区域に集会場があり、避難所として使えない。集会場や児童館は、浸水しない区域に建設してほしい
防災無線の内容が届いていない世帯が多い。インターネットやメールを利用した発信も大事だが、かつらぎ町のように希望者に防災ラジオを配布するなどの取り組みも考慮してほしい。

■⑪観光・交流について【6件】

主な意見
自然豊かで魅力ある場所はたくさんあるので、観光に力を入れてほしい。山に囲まれているのに、グランピング施設などアスレチックする場所が和歌山県には無い
観光パンフレットを無駄に出版せず、商工会など他団体と連携し、充実した内容のものを作ればよい。役場だけでなく、もっと協力・連携できればよい
自然や文化、特産品など紀美野町ならではのものを尊重して町の良さをアピールしたり、観光に活用してゆくのが良いと思う。

■⑫その他【27件】

主な意見
どのような制度、施設があるのかわからない（5件）
アンケートをきっかけに「ふるさと納税」について調べると良い物が多数あり、今後は利用しようと思う。町民は肉や果物があることと知らず他県に納税しているので、町民向けの広報があってもよい
前回のアンケート結果や意見について、どう対応されているか不明瞭なため、今回も有効に活用されるのか気になる。アンケートを実施するならば、こんな意見が集まり、どう対応したかの報告があれば、行政を信頼できる。またアンケートの設問は外部委託せず、紀美野町の事情を理解している人が作る方がよい
小さな町は人口が急速に減少し、町での新しい取り組みは望まない。補う施策が必要と思われる。税の負担にならない生活が望ましい
紀美野町の歴史や財産を保持・保管できる体制、子孫に語り継げるように。最近では統合に動いている美里中学校や神野中学校の校歌の楽譜保管も同じこと
メガソーラーや風力発電について、新たに山林を切り崩してまで作る必要はない

(4) 紀美野町のまちづくりへの意見〈自由回答〉

〔問 47 あなたは、紀美野町が将来どのようなまちになることを望みますか。あなたの希望や、今後のまちづくりで特に取り組むべき施策などについて、ご意見があればお書きください。〕

紀美野町のまちづくりへの意見について、全体で 393 件の意見がありました。主な意見は以下の通りです。

■①人口減少の克服、移住・定住の促進【54 件】

複数意見の集約	件数
若者・子育て世代の移住・定住	25
少子高齢化・人口減少の解消	14
住宅確保の支援	6
若者が夢を持てるまち	2
関係人口の増加	2
U ターンしやすいまちづくり	2
主な意見	
若者が増えて和気あいあいとする町になるといい。人が増えることで店を開くことができ、交通機関を充実させることに繋がる。コロナが落ち着いたら、夏祭りやイベントが増えれば、若者も喜ぶと思う。町内から出て行った人達、町外に住んでいた高齢者がまた住みたい、紀美野町で暮らしたいと思える町になればいい	
若者が住み続けられるような町を望む。雇用の拡大、公共交通機関の充実など。観光客は増えているイメージなので、新しく住む人・住み続けてもらえる取り組みを願う	
このままでは紀美野町は無くなる。若者の移住・定住を促進し、活躍できる場を提供し続けること。若者を育成し、リーダーシップを発揮できるような環境整備しなければ、未来は無い	
若い世代の安定的な居住ができる場所（分譲地）などの開発。和歌山市や岩出市の通勤、関西空港や大阪へのアクセスにおいて立地的がよく、その強さを活かして、若者定住に向けた分譲地開発を行えばいい	
町外からの訪問者、関係人口が多いまちになってほしい。	
子どもが定年後、町に帰って来られる町づくり	
住んでいる地域は少子高齢化過疎化が進んでおります。今同年代の住民は他にいません。自分が年を取ったとき、ほとんど誰も住んでいないのではないかと不安に思うことはあります。	
紀美野町で育った若者たちが、それぞれ健康的な夢を持ち自由に他の地域に出てゆき、知識や知恵をその中で吸収し成長して、あるものは成功しあるものは夢破れても、帰れる場所受け入れてくれる場所として、『ふるさと紀美野町』があると思えるような町。失敗しても改めて自分の背中を押してくれるような紀美野町になればいい。	

■②住みやすい町づくり【44 件】

複数意見の集約	件数
商業施設の増加・買い物のしやすさ	19

住みやすい町	5
住宅地の確保	3
医療の充実	3
利便性のよい町	3
主な意見	
町内の人気が気軽に買い物をできるスーパーの存在や交通の便の問題を解決する必要があると考える。	
自家用車が無くても、食料品や生活必需品が手に入る商業施設を旧野上、旧美里に各2か所作る。紀陽銀行やガソリンスタンドが無くならないようにするなど、これ以上、人口が減る要因を作らない	
食料品の購入は海南市か紀ノ川市へ車で行き、野菜は紀美野町で購入している。全て紀美野町で揃うといい	
町民が生活しやすい町として、働く場所の他にも病院や買い物に行きやすい環境づくりが必要。	
家を持たない若者達が、紀の川市や海南市で家を新築している現状を考えるべき	
野上厚生病院をかかりつけ医とし、信頼している。最近患者が少なくなっているように感じる。コロナワクチン接種では厚生病院の受付数が少なく、残念に思った。地域医療に不安を感じている	
利便性の良い町を望む。外灯が少ないので設置してほしい	
観光×エコで注目を集められる町になるために、公共交通の整備・ゴミ処理から再利用・農作物や森林資源の地産地消など、積極的に取り組んでほしい	

■③豊かな自然を生かしたまちづくり【41件】

複数意見の集約	件数
自然・景観を損なう開発への反対	9
景観の維持	5
河川の維持	4
自然と商業化（利便性）の両立	4
自然を生かした移住促進	3
主な意見	
何もない田舎、素朴な景色が美しく保たれた町であってほしい。そこが町の一番魅力かもしれない。風景が変わるような開発事業はいらぬ。のんびりと懐かしい雰囲気、つい行きたくなるような町がいいと思う	
小川地区の太陽光発電事業は反対。今まで置き去りにになっている。小川地区から生石高原の山頂については、紀美野町の資源であり、梅本川の川沿いの竹林や景観は透き通った梅本川が見えてこそ喜ばれる場所となる。竹林や雑木などを整備してもらえると嬉しい	
和歌山市や大阪から手軽な距離で星空を眺められる街として、夜空の景観を保護するような条例はぜひとも制定してほしい。	
いつまでも自然豊かな紀美野町を望んでいる。きれいな川を守り、昔のようにいろいろな魚が戻り、元気な川になってほしい	

自然の豊かさを感じながら、住民が住み続けられる利便性も必要
都会で暮らしていた人が、紀美野町の自然豊かな環境に興味を持ち、移住したいと思える町にすることが大切
人口減少で10年先の近所を思う時、何をどうすればよいのか？子ども達もたまたま帰郷すると、自然や食事に喜び心を豊かにして帰る。生まれ育った場所は癒されるようだ。親亡き後も帰れる場所があるとよい

■④産業の活性化や就労の場の拡大【38件】

複数意見の集約	件数
企業誘致の推進	11
農林業の進行	7
若者の働く場の拡大	6
特産品の販売、産業振興	3
高齢者の働く場の拡大	2
子どもが戻ってこれるような働く場の確保	2
主な意見	
若者の就職する場が無く、県外や町外に出て行く。高齢者や子育てする人を支えるサポートはあるが、働き盛りの人をサポートする場が少ない。広い土地を利用して企業を呼べたら、紀美野町に残る人は増えるのではないか	
農業後継者の高齢化、小規模農業による非効率、専業にならないなどが原因として農業が衰退し、農地が荒地となっている。あと10年も経てば、町内の農地は激減すると予測でき、町の衰退に拍車をかける。耕作放棄地を集合的に低額または無償で借受、現在の耕作を引き継ぎ、中大規模に効率化・高収入を達成するために、町内の若者や中高年の労力を活用できる専門者を組み入れた農業法人を町主導で作り上げてはどうか。シルバー人材センターの農業版である。	
若者が町内で働くことができ、活気ある町になってほしい	
高齢者が安心して暮らせる町であってほしい。緊急時に即対応できるネットワークの確立。また雇用の場があれば社会と繋がりを持ち、活力が得られるはず。自然を活かしたキャンプ場や川釣り、自然体験の場等を充実させ、観光客へのおもてなしを地域の高齢者が適材適所に携われたらいい。年金とプラスαの収入で老後も安心して暮らせる良いモデルになれば、後の世代に繋がっていく	
野菜や果物を道の駅で販売できる施設がないため、良いものは全て海南市に流出。地元の人が買いに行くという変なことになっている。なぜ地元で販売所が無いのか不思議に思う	
美味しい店や可愛い雑貨店がたくさんあり、もっとPRしてほしい。いろんな店が集まってマルシェなどしてもらえたら参加する	

■⑤道路・交通機関の充実【38件】

複数意見の集約	件数
(高齢者の)車の運転ができなくなった時の交通手段の確保	11
バスの充実	10

道路の整備	12
交通の便の改善	4
公共交通の充実	2
主な意見	
道路整備は必要。天文台を永く活躍させるためには、道路を早く整備する必要がある。道路こそ生活の向上、まちづくりの原点である	
小川宮前の道がデコボコ過ぎるので困っている。また小川宮横の生石山からの道は一旦停止にも拘らず、減速せずに降りてくる車が多い。標識などで分かりやすくしてほしい	
高齢化が進む中、町内で買い物ができるようになってほしい。運転免許証を返納すれば生活面で不便になる。小型のバスなどで細かく運行を行い、病院やスーパーなどに行けるようにしたらよいのではないか。	
高齢になり車の運転ができなくなり、一人暮らしになっても家族や知人の手を借りずに買い物や通院できるサービスがあり、出かけたいときに外出できる交通手段があればいい。(年金生活でも負担にならない料金で利用できるもの)	
交通手段の充実を望む。朝夕はバスの本数を増やし、料金も半額になれば利用者は増える。バスチケットを配れば、これまで利用しなかった人も乗るのではないか。交通手段さえ整えば、不便に思うことは無い	
高齢になっても住み続けることができるように、病院や買い物などの外出ができるように、乗合タクシーなどの交通援助をしてほしい	
紀美野町から高校へ通うのは遠い。海南駅までのバス代が片道 520 円で高く、親は送迎が大変。バスの時間も 1 時間に 1 本で不便。紀美野町から海南市までのスクールバスか、高校卒業まで割引にしてほしい。高校進学と共に、町外に引っ越す人もいる。何でも町外に行かなければ暮らせない	

■⑥行政サービス・町職員の資質の向上【35 件】

複数意見の集約	件数
町職員の資質向上	5
感染症対応への評価	3
住民との連携	3
行政対応の改善の要望	3
健全財政の確保	2
公平なサービスの確保	2
窓口対応への不満	2
主な意見	
町内に居住し、産業育成への高い関心や興味を持ち、実行できる優秀な職員を育てるべき。そのために学習・研修させる制度を望む	
町職員が行ってきた活動に限界が生じ、何一つ高評価が得られていない。困ってから町民に相談するのではなく、町のことを思い精力的に活動する人材を育成することを切望する。	
プレミアム商品券はいいと思う。コロナワクチン接種案内も迅速だった。障害者の医療費無料も	

助かっている
住民を巻き込んだ施策展開をしなければ、人口減少により職員数も少なくなる中で、今後の行政運営は厳しいと感じる。
役場付近や人口の多い地域だけでなく、どの地域にも満遍なくサービスが行き渡るようにすべき。廃校舎の活用や業者委託など、町営管理も行き届いていない。老朽化する前に取り組んでほしい
小さな町であるが移住者の受け入れや、早い時期からの小学校にタブレット端末を導入するなど新しい取り組みを行っていて、住みやすい町だと思う。行政には住民の困りごとに寄り添い、今後も必要な支援を実施することを望む

■⑦地域活動・住民参加の促進【32件】

複数意見の集約	件数
住民の意見の反映	6
移住者が入りやすい地域づくり	6
地域活動への参加やボランティアの拡大	5
地域活動への不満	4
主な意見	
紀美野町の良い所は残してほしいので、アンケートをもとに住民の意見を取り入れ、活かしてほしい。住民と話し合いながら、活気ある町になることを願う	
地区によっては移住者(よそ者)や新しい取り組み(というか自分が関わってない新しいこと)に対して好意的でない態度の方もいるようなので、町として、紀美野町は新しくなっていないといけないんだという姿勢をアピールしてほしい。	
昔から住んでいる・新たに住んでいる人同士が顔見知りになる関係であってほしい。高齢者が多いので、自宅や施設で最後まで暮らせるような町がよい。少しぐらいなら徘徊しても見守れるような。ボランティア・ご飯配達・介護サービスなど、毎日誰かの目が届く暮らしができるように。	
高齢化が進む中で、空き家・空地の有効活用。元気な高齢者の経験や知識を活かし、畑づくりや郷土料理などを下の世代や町外の人に伝え、地域社会に参加する。若者と協力して町の活性化に繋がれたらよい	
今できることは、各地域活動が活発になることで、急速な人口減少がなだらかになると思っている。各地区で町おこしに頑張っている団体に対して、きめ細かい支援と連絡を密にすることが必要ではないか。誰しも生まれ育った地域には愛着を持ち、手が付けられるうちに対処することが急務である	
住みたい場所に住めなくなる状況を何とか避けてほしい。不便さは覚悟のうえで、地域住民の行政サービスへの参加を促し、自治的に維持できることを目標に仕組みづくりをしていくべきではないかと思う。	
住民が自分の地域に誇りを持ったまちになることを望みます。移住希望者を増やすために、紀美野町の魅力を発信してほしい。田舎暮らし(農業など)をしたい人、都会に働きに出たい人、それぞれで住み良い地域が異なるはずなので、目的に応じた暮らし方を見える形でアピールしてほしい。	

■⑧子育て支援・教育の充実【29件】

複数意見の集約	件数
子どもの遊び場の充実	7
子どもの笑い声が聞こえるまちづくり	3
子育て支援サービスの充実	3
通学路等の安全の確保	2
特色ある教育の推進	2
図書館の充実	2
主な意見	
<p>子どもに対する施策や設備が少ない。本庁にも支所にもプレイルームや設備的なものが見当たらない。また屋内の子どもの遊び場がない。子どもが少ないから必要ないのではなく、子どもが少ないからこそ必要なことはある。「子育て支援」は公的な施設や制度の導入よりも、小さな思いやりや配慮ひとつで変わる。子どもが紀美野町を好きと思えるまちであり続けてほしい</p>	
<p>安全第一で子ども達が楽しく暮らせる町。可能ならば、通学路にガードレール等を設置してほしい。また子ども達が遊べる公園等も増やしてほしい</p>	
<p>3歳未満児の保育料が無償化は助かっている。時短勤務では保育料を稼ぐことで精一杯で、子どものための貯蓄ができないのが一般的だが、紀美野町は他にも子育て施策が充実している。今後も継続することで、若い世代の人口増加に繋がるのではないかと。</p>	
<p>子育て支援が充実しているので町外にPRし、子育て世代が町に来てくれたら嬉しい。いろいろな施設のPRをしてほしい。良い町になることを願う</p>	
<p>特色ある教育ができる小中学校があれば、若い世代（子育て世代）の移住者を増やせるのではないかと</p>	
<p>福祉、教育が充実し、安心して暮らせるまちづくりを希望する。個人的な希望としては、有田や海南のような大きな図書館（飲食店や物販がある複合施設）があれば、活気づくと思う。本が好きだが今の図書館は使ってみたくてあまり思わないので町外に借りに行っている。</p>	

■⑨観光・交流の活性化【24件】

複数意見の集約	件数
集客力のある飲食店等の活用	3
新しい観光施設の整備・誘致	3
みさと天文台・生石高原等の資源の活用	2
観光の振興に反対	2
主な意見	
<p>紀美野町内には素敵なカフェやベーカリーがあり、よく利用している。紀美野カフェロードに賛成している。お洒落で美味しい物があり美しい町。できれば軽井沢や那須高原のような上品で人が集まる場になればいい</p>	
<p>自然豊かな町なので観光資源を活かし、癒しの空間を提供する。休日にバカンスを楽しめる施設を建てる。観光客が来て住みよい町に繋がり、移住してもらえる町になってほしい。海外に情報発信をし、紀美野町に来る環境をつくる</p>	

みさと天文台・生石高原等、関西でも誇れる施設・資源を有効活用していない。アクセスの整備や情報発信し、人の交流を活発にする
観光客が増え、マナーが悪くゴミを置いて帰る人が多い。毛原地区においては人口減少もあり、清掃できる人も少なくて汚く感じる。観光客を呼び込むならば有料駐車場を作り、清掃人の配置などが必要
① 紀美野町のセールスポイントを決めて取り組む ② 高齢者の知恵を若者に継承する取り組み ③ 町のPRへの取り組みは良いと感じる ④ 小さな可愛い店もあり、自然もあるが認知度が低いのが残念
観光で人を呼べるかもしれないが、交通状況の悪化や変な人が増えるなど、町民の安全が保たれるか心配。

■⑩福祉・高齢者支援の充実【22件】

複数意見の集約	件数
高齢者施設・住宅の整備	4
地域での高齢者の見守り・訪問	2
高齢者が安心して暮らせる町	2
主な意見	
長谷毛原地区のデイサービスの再開。国吉、長谷毛原地区に自立～軽介助までの高齢者が住めるサービス付き高齢者住宅や生活支援ハウスの設置。	
高齢者の孤独死問題もあり、地域で声かけや見守り、宅配弁当サービスなどの提供もよいと思う	
高齢になっても安心して暮らせること	
元気な高齢者も多く、活躍できる場が増えてほしい	
心や体に問題があり、意欲はあっても満足に動くことができない人が安心して暮らせる町になってほしい。	
高齢者や障害者が明るく生き生きと自立し、そして、ふれあいを大事に 人権や福祉を充実したまちづくり	
高齢者がインターネットを使えるようにするための仕組みが必要。そうすれば車に乗らなくても買い物ができる（日常的にネットを使い、詐欺に合わないための勉強会も必要）	

■⑪防災、安心・安全なまちづくり【12件】

複数意見の集約	件数
安心・安全な町	5
河川の改修・氾濫対策	5
主な意見	
全世代が安心安全で暮らしやすい町になることを望む	
ハザードマップでは川沿いの多くの地域が危険地帯になっている。毎年、避難準備が発令されている。町として河川敷の土や砂などの撤去や補強を早く進めてほしい。氾濫被害をどうすれば小さくできるか専門家と町・町民が話し合い、安全安心に暮らせる町、子ども達が家に戻れる町に	

なることを望む
移住促進や空き家斡旋といっても、土砂崩れや河川氾濫の恐れがある場所へ移住するとは思えない。先に防災対策が必要
①災害に強い町になってほしい（自助により、対応できる町） ②人・行政に頼りすぎ

■⑬その他【24件】

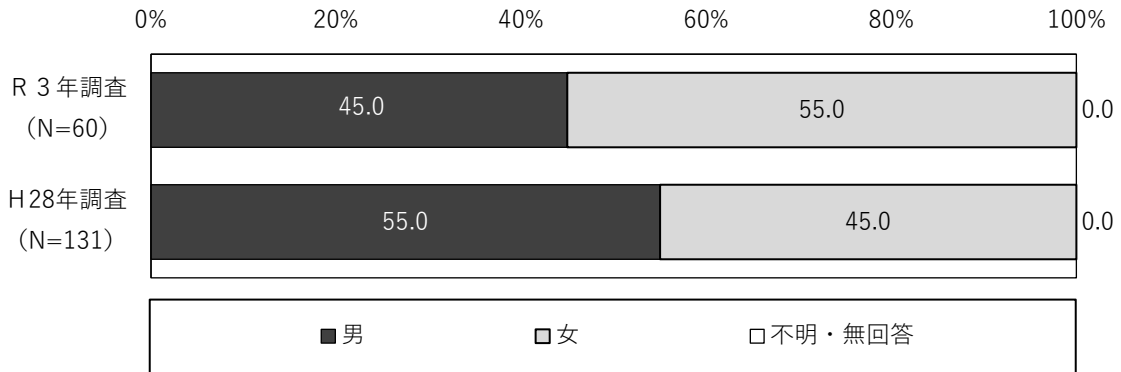
複数意見の集約	件数
伝統・文化の継承	3
休校・廃校者の活用	2
癒しのある町	2
いずれ町から移住すると思う	2
主な意見	
町の伝統（寺・神社の祭典）を大切にしてほしい・子どもの教育、高齢者、みんなが気持ちよく生活できる町になってほしい	
休校・廃校になった園や校舎跡地を有効活用してほしい。道の駅などができれば、雇用に繋がる住みたいとまでいかなくとも、たまに訪れたいくなるような魅力的で癒しのある町になって欲しいです。	
幸福度の高い町（自然環境・住み心地・豊かさ）	
心が豊かになるまちづくり	
望みはあまり無い。観光客で収益は得ているが、ずっと住むことは考えていない。子どもが高校や大学を機に、便利な場所への移住は仕方がないと考えている	

Ⅲ. 中学生アンケート調査の結果

1. 回答者について

(1) 性別〈単数回答〉〔問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)〕

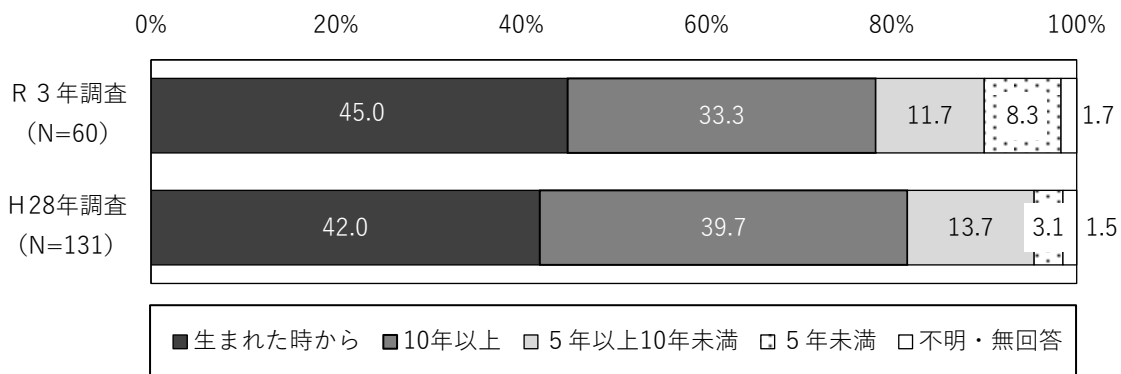
性別については、「男」が45.0%、「女」が55.0%となっています。



(2) 居住年数

〔問2 あなたは紀美野町に住むようになって何年になりますか。(1つに○)〕

居住年数については、「生まれた時から」が45.0%で最も多く、次いで「10年以上」が33.3%となっています。前回調査と比べると、「5年未満」がやや増加しています。

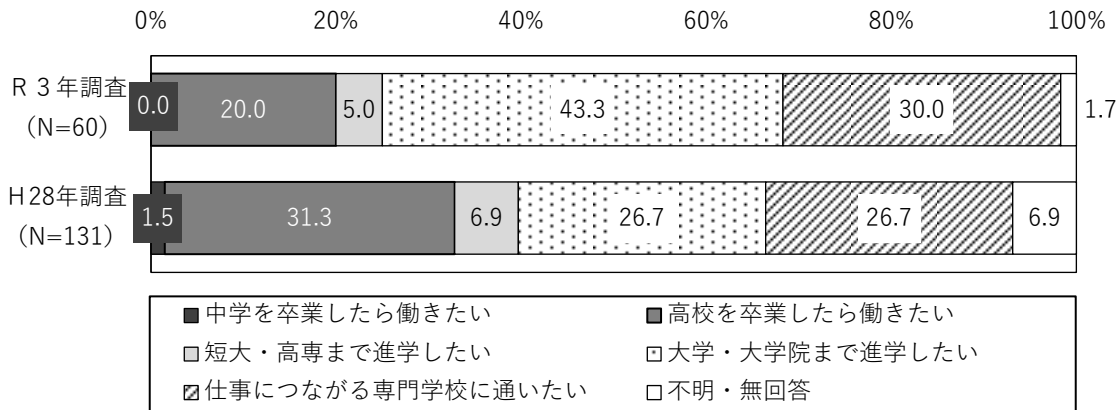


2. 回答者の将来について

(1) 進学についての考え

〔問3 あなたは自分の進学についてどう考えていますか。(1つに○)〕

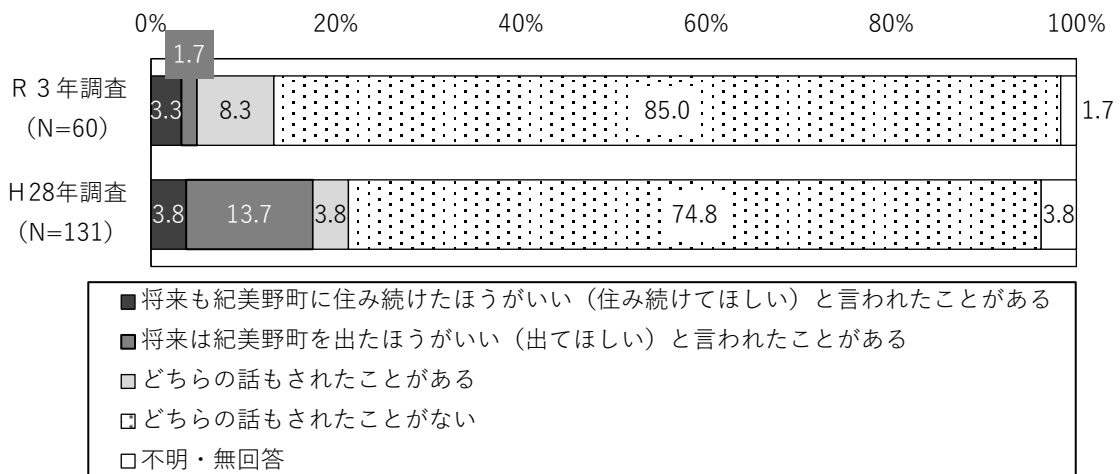
進学についての考えについては、「大学・大学院まで進学したい」が43.3%で最も多く、次いで「仕事につながる専門学校に通いたい」が30.0%となっています。前回調査と比べると、「大学・大学院まで進学したい」が増加し、「高校を卒業したら働きたい」が減少しています。



(2) 町への居住についての家族からの話

〔問4 あなたは自分の家族から次のような話をされたことがありますか。(1つに○)〕

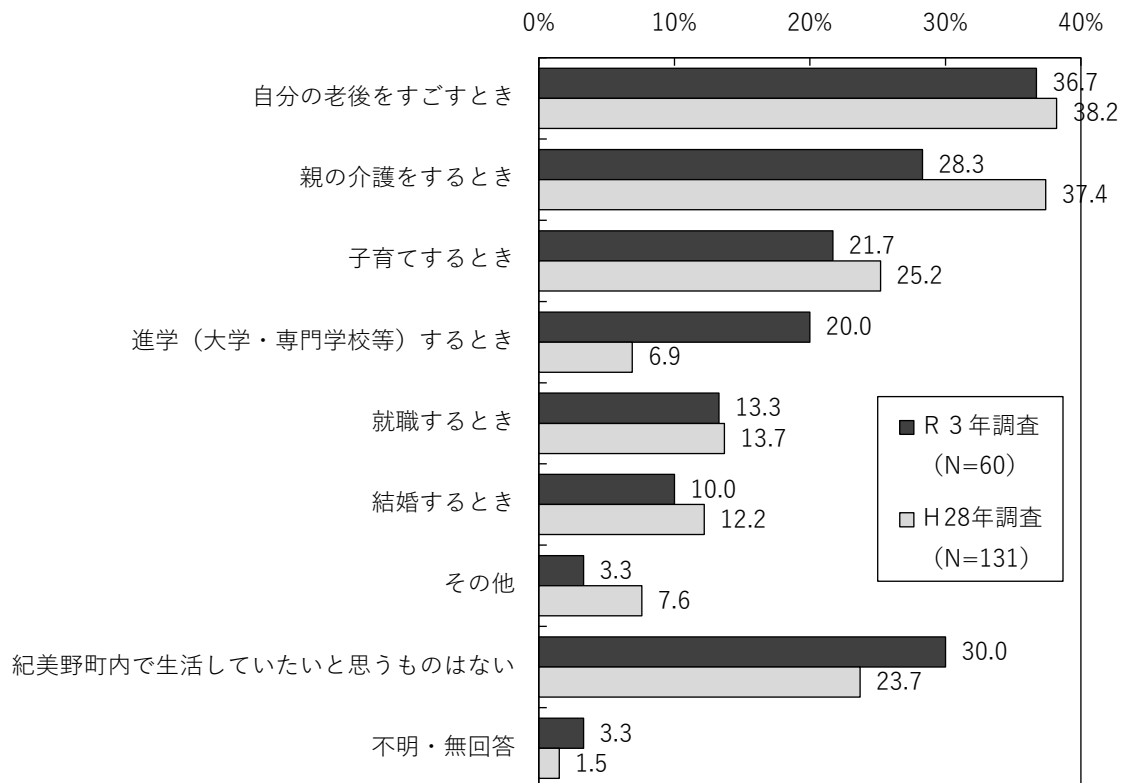
自分の家族から将来の紀美野町への居住について話をされたことがあるかについては、「どちらの話もされたことがない」が85.0%で最も多くなっています。前回調査と比べると、「どちらの話もされたことがある」が増加し、「将来は紀美野町を出たほうがいい(出てほしい)と言われたことがある」が減少しています。



(3) 紀美野町内で住みたいと思うとき〈複数回答〉

〔問5 以下のときで、あなたが紀美野町内で住みたいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)〕

紀美野町内で住みたいと思うときについては、「自分の老後をすごすとき」が36.7%で最も多く、次いで「親の介護をするとき」が28.3%、「子育てするとき」が21.7%となっています。また、「紀美野町内で生活していきたいと思うものはない」が30.0%となっています。前回調査と比べると、「進学（大学・専門学校等）するとき」「紀美野町内で生活していきたいと思うものはない」が増加し、「親の介護をするとき」が減少しています。



■その他回答

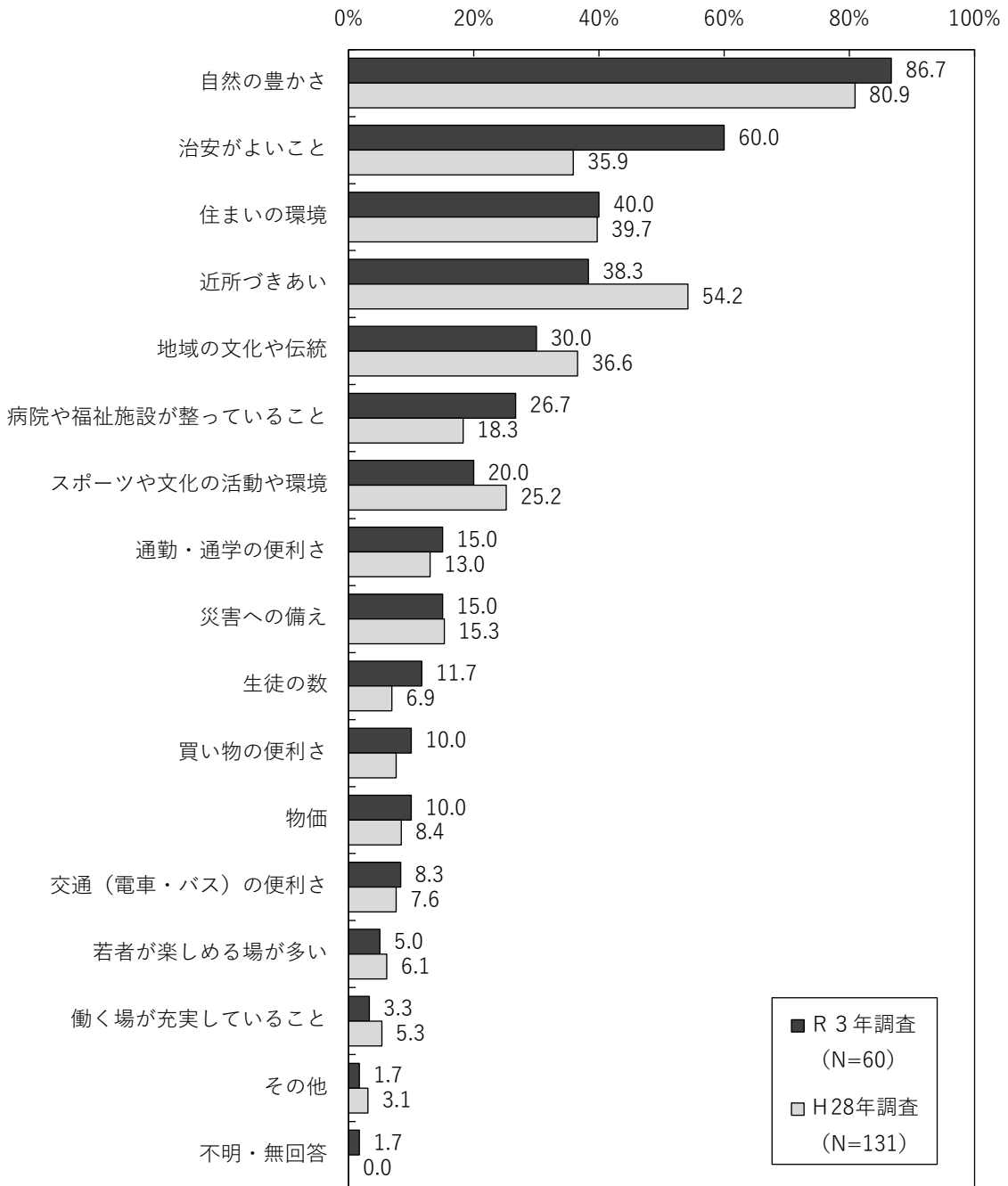
回答	件数
精神的に疲れた時	1
自然を感じた時	1

3. 紀美野町の印象について

(1) 紀美野町の良いところ〈複数回答〉

〔問6 紀美野町の良いところはどんなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)〕

紀美野町の良いところについては、「自然の豊かさ」が86.7%で最も多く、次いで「治安がよいこと」が60.0%、「住まいの環境」が40.0%となっています。前回調査と比べると、「治安がよいこと」が増加し、「近所づきあい」が減少しています。



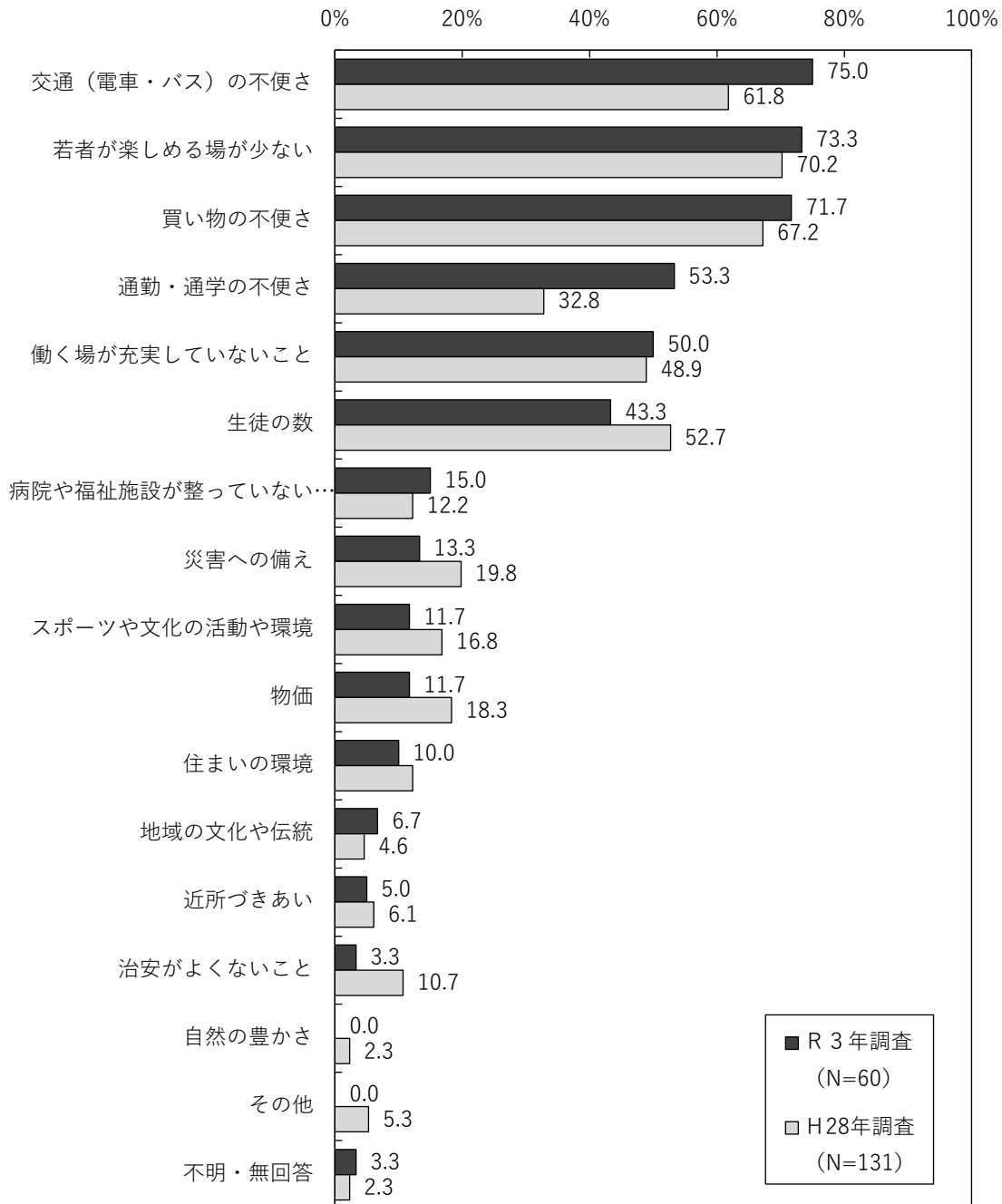
■その他回答

回答	件数
学校が平和	1

(2) 紀美野町の良くないところ〈複数回答〉

〔問7 紀美野町の良くないところはどんなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)〕

紀美野町の良くないところについては、「交通（電車・バス）の不便さ」が75.0%で最も多く、次いで「若者が楽しめる場が少ない」が73.3%、「買い物の不便さ」が71.7%となっています。前回調査と比べると、「交通（電車・バス）の不便さ」「通勤・通学の不便さ」が増加しています。



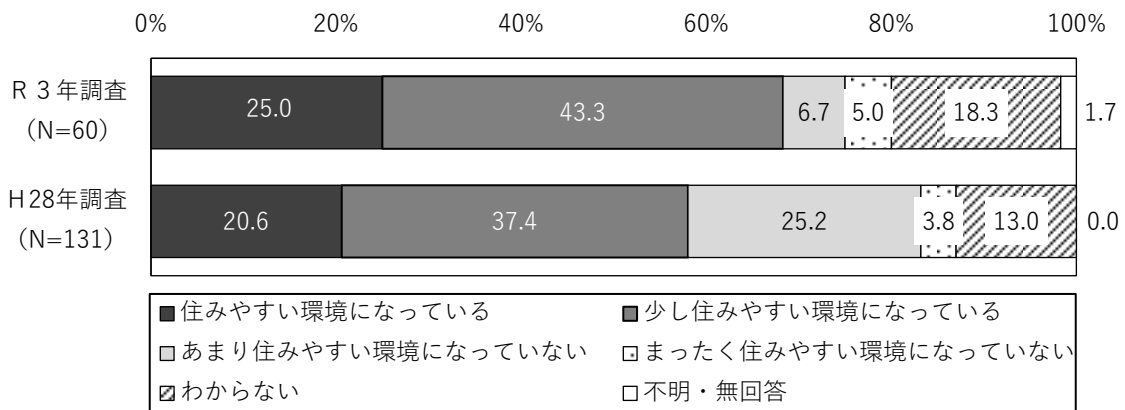
■その他回答

回答	件数
ゴミを野焼きしている	1

(3) 住んでいる地域の住みやすさ

〔問8 現在、あなたの住んでいる地域は、誰もが住みやすい環境になっていると思いますか。
(1つに○)〕

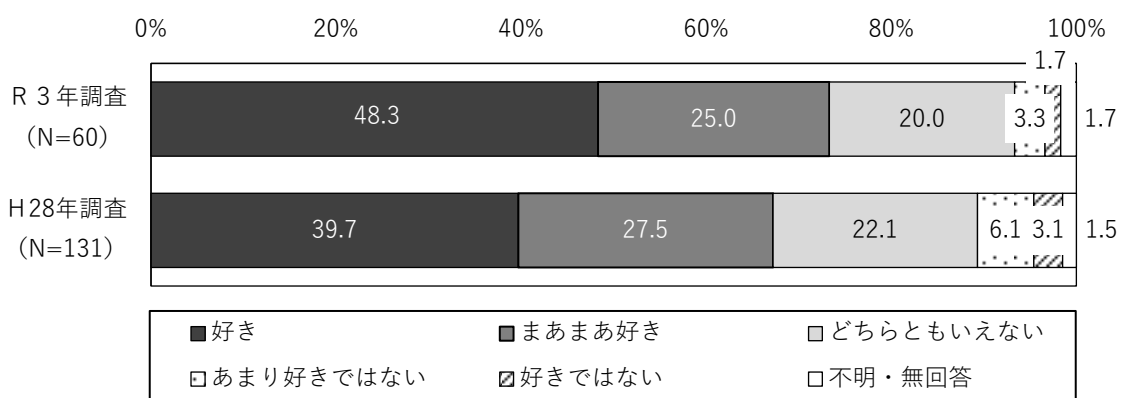
住んでいる地域は、誰もが住みやすい環境になっていると思うかについては、「少し住みやすい環境になっている」が43.3%で最も多く、次いで「住みやすい環境になっている」が25.0%となっています。前回調査と比べると、「あまり住みやすい環境になっていない」が減少し、「住みやすい環境になっている」または「少し住みやすい環境になっている」が増加しています。



(4) 紀美野町への好感

〔問9 あなたは、紀美野町が好きですか。(1つに○)〕

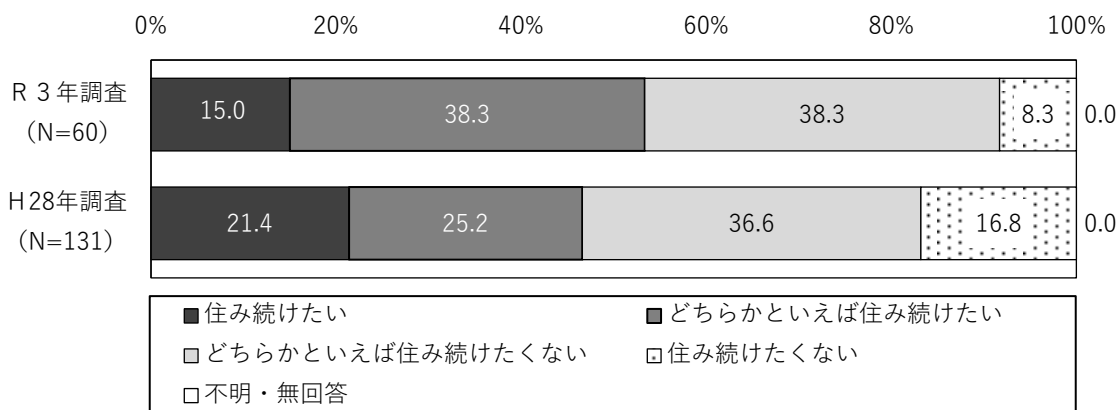
紀美野町が好きかどうかについては、「好き」が48.3%、「まあまあ好き」が25.0%、「どちらともいえない」が20.0%となっています。



(5) 学校卒業後の居留意向

〔問 10 あなたは、学校卒業後も紀美野町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)〕

学校卒業後も紀美野町に住み続けたいかについては、「どちらかといえば住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたくない」いずれも 38.3%で最も多くなっています。

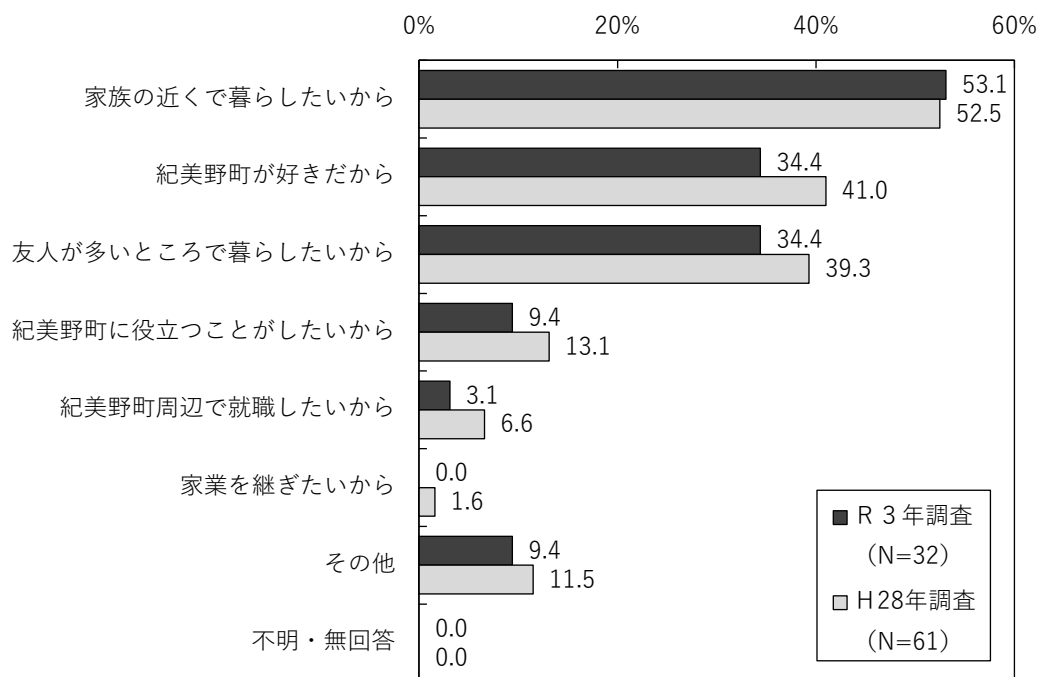


紀美野町に住み続けたいと思う人（問 10 で「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を選択）

(6) 住み続けたいと思う主な理由〈複数回答〉

〔問 11 紀美野町に住み続けたいと思っている方のみお答えください。住み続けたいと思う主な理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)〕

住み続けたいと思う主な理由については、「家族の近くで暮らしたいから」が 53.1%で最も多く、次いで「紀美野町が好きだから」と「友人が多いところで暮らしたいから」がいずれも 34.4%となっています。



■その他回答

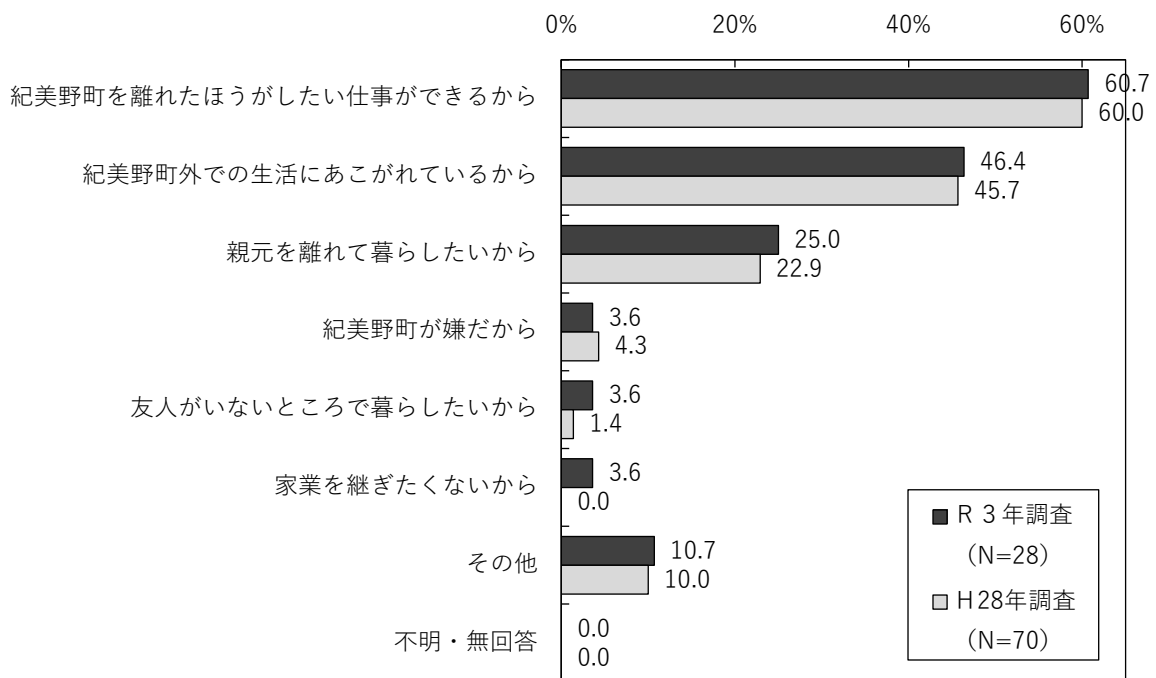
回答	件数
安心だから	1
先祖代々の土地を離れたくない	1
都会に行きたくない	1

紀美野町に住み続けたいと思わない人（問 10 で「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」を選択）

（7）住み続けたくないと思う主な理由〈複数回答〉

〔問 12 紀美野町に住み続けたくないと思っている方のみお答えください。住み続けたくないと思う主な理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）〕

住み続けたくないと思う主な理由については、「紀美野町を離れたほうがしたい仕事ができるから」が 60.7%で最も多く、次いで「紀美野町外での生活にあこがれているから」が 46.4%、「親元を離れて暮らしたいから」が 25.0%となっています。



■その他回答

回答	件数
いろいろな人に会ってみたい	1
紀美野町以外に住んでみたい	1

4. どのようなまちを目指していきたいか

(1) もし紀美野町長になったらどのようなまちを目指すか〈自由回答〉

〔問 13 あなたが、もし紀美野町の町長になったら、これからどのようなまちを目指していきますか。(キーワードやキャッチフレーズ、町の方針など、自由に書いてください。)]

複数意見の集約	件数
商業施設や楽しめる施設をつくる、増やす	14
イベントや祭りを行う	8
楽しい町をつくる	4
自然豊かなまち	5
町外から人が来るまち	3
子ども・若者が楽しめる場所を増やす	3
町のアピール・宣伝	3
交通機関の整備	2
子どもの意見の反映	2
若者の働く場を増やす	2
主な意見	
自然も大切にしながら、人々が生活するのに便利なスーパーマーケットを作る。そこで地域の人々が農作物などの商品を気軽に商売できるようにする。	
若者から高齢者まで楽しめる買い物する場所がほしい。福祉センター近くにコンビニがほしい	
若者が好きなゲームセンターや新しく体を動かして遊べる所を作りたい	
若い世代や高齢者が楽しめる施設を作り、紀美野町を豊かにしたい	
若者と高齢者が一緒に楽しめるイベントをする	
行事を町民全体で盛り上げ、笑顔で安心安全で自然いっぱいの町	
紀美野町の住民が集まって、小さなお祭りを開く(月に1回)	
自然豊かで、自然を体験できる町	
若者が楽しく活発に生きれる町	
みんなが楽しくて、便利な生活を送れるような町にしたい。若者がたくさん来てくれそうな政策を考え実行したい	
外国人もたくさん呼び込むことができる魅力的な町	
生石山かみさと天文台をアピールする	
ネットで紀美野町の宣伝をして人を呼ぶ。住みやすいように環境を整える	
公共交通機関を充実させる	
子ども達が自分達で町を作る勉強をするために、子ども議員を作り、子ども達だけの議会で独自予算(10~20万円)を付け、町をよりよくする制度をつくる	
若い人がしている仕事を町内に増やし、Uターンする人を増やし、人口減少を防ぐ	

誰もが住みやすく、町民に不安や心配をあたえない、そんな町にしていきたい
年齢や障害の有無、文化の違いなど関係なく、町民全体が過ごしやすい町
もっと子どもとふれ合う機会を作る
地域ごとに防災訓練する機会を増やす
紀美野町の公務員の給料を上げる（保育士も）。理由は他市町村に比べ低いから